

チ其國法ニ照ラシテ處分セサレハ止マザラント欲スヘキハ必然ナリ
 然ラサレハ我刑法ニ規定ナキ奇貨トシ我政府ニ對シ償金等ノ談判
 チ試ムルニ至リ爲メニ國際上ノ紛議ヲ惹起スニ至ルノ憂ヒチ免レス
 蓋シ是レ草案修正ニ及ンテ立法者カ本條及ヒ次條ヲ復活セシメタル
 所以ニシテ國際上ノ平和ヲ保維スルカ爲メニハ甚ダ必要ノ規定ナル
 チ知ルヘシ

本條ノ所爲ハ日本政府ノ許可ナクシテ私ニ兵器ヲ動シ以テ外國政府
 ニ抗敵シタル場合ヲ指シタルモノニシテ其所爲ハ即チ外國ニ對シ私
 ニ戰端ヲ開キタルモノ是レナリ而シテ戰端ヲ開ク云々ノ文字ハ如何
 ナル場合ヲ想像シタルモノナルヤ蓋シ日本ト外國トノ間ニ或ル葛藤
 チ生シ其結局ハ平和ニ歸スル乎將タ開戰ニ至ル乎未タ知ルヘカヲサ
 ル場合等ニ於テハ國內ノ人心激昂シ動モスレハ國威皇張若クハ國論

貫徹等ヲ目的トシテ現ニ兩國政府其談判中ニ在ルニモ拘ハラズ私ニ
 兵器ヲ動シテ戰端ヲ開クカ知キハ亦有リ易キノ所爲ナルヲ以テ此等
 ノ行爲ヲ指シタルモノナルヘシト雖モ私ニ戰端ヲ開クハ必シモ前例
 ノ如キ場合ニ於テノミ生スヘキニアラス外國ノ邦土ヲ僭竊スルノ目
 的ヲ以テ其政府ニ抗敵ヲ試ムル等ノ場合亦無シトスヘカラス故ニ本
 條ハ兵器ヲ動シテ外國政府ニ抗敵シタルノ所爲ハ其目的ハ本國ヲ利
 セントスルニ在ルト自己ヲ利セントスルニ在ルトヲ問ハズ總テ之ヲ
 適用スヘキハ論ヲ俟ダサルヘシ
 然レモ外國ニ對シ戰端ヲ開ク云々ノ意味ハ必ス外國政府ニ抗敵シタ
 ルコトヲ要ス假令ヘ兵器ヲ提携スルモ外國ノ海岸ニ寇シテ掠奪ヲ爲
 シ又ハ外國ノ近海ニ出沒シテ海賊ヲ爲スカ如キハ其人員多數ニシテ
 隊伍ヲ爲スモ之ヲ本條ニ問フヘキモノニアラス何トナレハ是等ノ所

爲ハ外國政府ニ抗敵シタルニアラス其目的ハ財物ヲ掠奪スルニ在ル
 テ以テ外國政府其犯人ノ處分ヲ要求スルトキハ之ヲ強盜罪若クハ竊
 盜罪ニ問フヘキモノナレハナリ又本條ノ行爲ハ必ス日本國土ヲ離レ
 テ遠征スルコトヲ要シ日本國內ニ於テ公使館ヲ侵シタル所爲又ハ公
 使ニ危害ヲ加ヘントシ又ハ加ヘタル所爲ノ如キハ本條ヲ以テ論スヘ
 キモノニアラス何トナレハ是等ノ所爲モ亦是レ外國政府ニ抗敵シタ
 ルモノト看做スコトヲ得サルノミナラス戰端ヲ開キタルモノト認ム
 ルコトヲ得サレハナリ本條ノ罪ハ之ヲ要スルニ左ノ三箇ノ條件ヲ具
 備スルニアラサレハ成立セス

第一日本國土ヲ離レテ外國ノ版圖内ニ入ルヲ要ス第二兵器ヲ提携ス
 ルコトヲ要ス第三戰爭ヲ以テ外國政府ニ抗敵スルコトヲ要ス此三箇
 ノ條件ノ一以上ヲ缺クノ所爲ハ本條ヲ以テ論スヘキニアラス故ニ本

條ハ專ラ遠征ノ所爲ヲ意味シタルモノト釋解セハ大過ナカルヘシ
 本條ノ末段ニ其豫備ニ止ル者ハ云々ノ明文アリ此豫備トハ如何ナル
 所爲ヲ指スヤ外國政府ニ抗敵スルノ目的ヲ以テ數人共謀シ已ニ兵器
 ヲ備ヘ船舶ヲ艦シタル所爲ノ如キハ豫備罪己ニ成立スヘキヤ又ハ右
 等ノ準備ヲ爲スモ未ダ解纜セサルトキハ豫備罪未ダ成立セサルヘキ
 乎蓋シ右等ノ準備ヲ爲スモ未ダ日本國土ヲ離レテ外國海岸ニ航着セ
 サルトキハ未ダ豫備罪成立セサルカ如シト雖モ我裁判例ニ據レハ未
 ダ航路ニ就カサルモノモ亦外國政府ニ對シ兵器ヲ以テ抗敵スルノ目
 的ニ出ルトキハ豫備罪ヲ以テ論スルカ如シ故ニ本條ノ豫備罪ハ未ダ
 日本國土ヲ離レサルモ其將ニ犯サントスルノ證憑充分ナルトキハ之
 ヲ成立セシムルモノト思考セサルヘカラス
 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開クノ所爲ハ國際上之ヲ罰セサルヘカラスト

雖モ本條ノ規定ハ蓋シ簡ニ失スルノ誹リヲ免レス何トナレハ單ニ本條ノ規定ノミニ依ラシムルトキハ苟クモ外國ニ對シテ私ニ戰端ヲ開キタル所爲アルトキハ其首魁若クハ教唆者タルト否トヲ問ハス皆同一ノ刑ニ處セサルヘカラサレハナリ本條ノ罪ト雖モ第百二十一條ニ掲クルカ如ク其罪狀ニ輕重ノ差アルヘキヲ以テ其刑ニモ亦輕重スル所アラシメテ至當トス然ルニ本條ノ罪ニ限リ其共謀者ハ何百人若クハ何千人ノ多數アルモ唯々其共謀ニ與シタルノ故ヲ以テ皆同一ノ刑ニ處スルハ權衡ヲ失スルモ亦甚シト云ハサルヘカラス故ニ改正草案者モ亦本條ノ規定ヲ以テ其當ヲ得サルモノトシ第百二十一條ノ標準ニ從ヒ其罪狀ノ輕重ニ因リ其刑ニモ亦輕重アラシメントス是レ至當ノ改正ナリト信ス

本條ノ規定ニ於テ尙ホ一ノ疑問ノ存スルアリ則チ外國人其政府ニ抗敵スル場合ニ於テ日本人其國事犯人ニ與シテ共ニ外國政府ニ抗敵シタルノ所爲ハ亦之ヲ本條ニ問フヘキヤ否ヤノ疑問是レナリ此所爲ハ外國政府ニ抗敵シタルノ事實アルモ自ラ首謀ト爲リテ抗敵シタルニアラズ外國ノ國事犯人ニ與シタルニ過キササルヲ以テ私ニ戰端ヲ開キタルモノト看做スコトヲ得ス故ニ外國政府之ヲ逮捕シ其國法ニ照ラシテ之ヲ處分スルニ放任シ其犯人日本ニ歸來スルモ我刑法ハ之ヲ問ハサルモノト論決シテ不可ナカルヘシ何トナレハ是等ノ所爲ハ國際上ニ影響スヘキモノニアラサレハナリ

第百三十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ罪ハ萬國公法ニ對スル罪ニシテ即チ局外中立ヲ破ルノ所爲ナ

此所爲ハ國際上ノ平和ヲ害スルノ結果ヲ免レス故ニ之ヲ罰スルノ必要アリ而シテ局外中立トハ甲國ト乙國トノ間ニ交戦アルニ際シ日本ハ甲乙孰レノ國ニモ同盟セス局外中立スルコトヲ布告シタル場合ナリ此場合ニ於テハ日本國民皆布告ニ從ヒ孰レノ國ニモ應援又ハ助勢スルコトヲ禁シラレタルニ拘ラス甲國若クハ乙國ニ應援スルニハ助勢シタルトキハ即チ國際上ニ加害スルノ所爲ナルヲ以テ本條ニ照ラシ之ヲ罰スヘキモノトス

局外中立ヲ破ルノ所爲ハ種々アルヘシト雖モ本條ニ該當スルモノハ一人ノ所爲ニ止ル場合ニ限ルモノト思考セサルヘカラス若シ二人以上共謀シテ之ヲ犯シタルトキハ前條ヲ以テ論セサルヘカラス何トナレハ外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開クノ所爲ハ局外中立ノ際ニ於テスルト平時ニ於テスルトノ區別ニ因リ其罪ニ輕重ヲ生スヘキノ謂ハレナク

ハナリ前條ノ罪ハ即チ重罪ヲ以テ論シ本條ハ輕罪ニ止ラシム是レ一人ノ所爲タルニ過キササルヲ以テナリ然レモ局外中立ハ單ニ交戦ニ與ルノ所爲ノミニ止ラス其範圍ハ廣キモノト思考セサルヘカラス故ニ交戦ニ與リ兵器ヲ執テ從事シタル者ニ就テハ一ノ所爲ニ止ルトキニ於テノミ本條ヲ適用スヘシト雖モ其他ノ所爲ニ就テハ二人以上共謀シテ犯ストキト雖モ猶ホ本條ヲ適用スヘキハ敢テ疑ヲ容レサルヘシ例ヘハ局外中立ニ就テ禁制シタル兵器彈藥又ハ石炭等戰時ニ必要ナル物品ヲ交戦國ノ一方ニ賣渡シタル等ノ所爲カ二人以上ノ共謀ニ出ルトキノ如キ是レナリ是等ノ所爲ハ直接ニ交戦ニ與リタルニアラス即チ其戰備用ノ補助ヲ爲シタルニ過キササルヲ以テ假令ヘ數人共謀ニ出ルモ私ニ外國ニ對シテ戰端ヲ開クモノト同視スルコトヲ得ス故ニ本條ヲ以テ論シ其刑ハ輕罪ノ處分ニ過キサラシム

政府カ局外中立ヲ布告スル場合ニ於テハ其禁制物等モ亦之ヲ明示シタルキニ其禁ヲ犯シタルノ所爲ハ總テ之ヲ局外中立ヲ破ルノ罪トシテ論スヘシ然レモ其明示セサルモノ即チ萬國公法上ニ掲クル所ノ禁制ヲ犯シタル者モ亦本條ヲ以テ之ヲ論スヘキヤ或ル論者ハ萬國公法上局外中立ニ關スル一般ノ規則ヲ犯シタル者ハ布告上禁令外ニ屬スルモ猶ホ之ヲ罰スヘシト論決セリ蓋シ萬國公法上ヨリ之ヲ論スルトキハ或ル論者ノ論決其當ヲ得タルカ如シト雖モ予ヲ以テ視レハ本條適用ノ場合ハ布告上ノ禁令ヲ犯シタル所爲ニ止ルモノト思考ス何トナレハ萬國公法上ニ於テ禁令セサルヘカラサルモノニシテ布告上ニ之ヲ脱漏セシメタルトキハ其責メ政府ニ在リテ國民ニ在ラサレハナリ況ンヤ萬國公法ノ何タルヲ知ラサル者亦多々アルヘキニ於テオヤ其眞ニ之ヲ知ラサリシ者ハ假令ヘ方國公法上ノ規則ヲ犯スモ是レ犯

罪ノ意思ナキモノナルヲ以テ第四十七條ニ依リ不論罪タルハ勿論ナリ故ニ本條適用ノ場合ハ局外中立ノ布告上ニ明示シタル禁令ニ違背シタルノ所爲ニ止ルモノト解釋シテ其當ヲ得タリト信ス

第三百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

本條ハ第二百二十條ト同一ノ法理ニ出ルヲ以テ特ニ説明ヲ下スノ必要ナシ

(改正草案現行法ニ於テ外國ニ與シテ本國ニ抗敵スル罪ト國際ニ關スル罪トチ一節内ニ規定シタルハ其當ヲ失スルコト辯ヲ俟タス同シク是レ外患罪ニ屬スト云フト雖モ賣國奴輩ト外國ニ對シテ抗敵スル者トチ同視スルカ如キハ假令ヘ其處刑ニ於テ常事犯ト區別スルモ刑法編纂ノ秩序ヲ得タルモノト云フヲ得ス故ニ國際ニ關スル

罪ヲ區別シテ特ニ之ヲ規定スルハ至當ノ編次ニシテ國際上ノ交通益々親密ヲ加フルニ及ンテハ最モ然ラシメサルヘカラス改正草案者ハ大ニ之カ改正ヲ加ヘントシ其要領ヲ論シテ曰ク「現行法ニ於テ國際ニ關スル罪ヲ規定シタリト雖モ外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開クト局外中立ノ布告ニ違背スルトノ二點ヲ掲ケタルニ過キス國交日ニ親密ヲ加フルノ今日ニ際シテハ外國ノ交誼ヲ害スルノ所爲又ハ外國使臣ノ職務ニ對シテ侮辱ヲ加フルノ所爲等モ亦之ヲ罰セサルヘカラス然ラサルハ之カ爲メ國際ノ前途ヲ妨害スルノ憂ヒチ來シ易シ故ニ是等ノ所爲ニ關スル規定ヲ設ケ以テ現行法ノ欠點ヲ補充スルハ甚々必要ナリ」ト即チ特ニ一章ヲ設ケテ國際ニ關スル罪ヲ規定シ外國ニ對シ私ニ遠征軍ヲ發スルノ所爲外國ニ對シテ媾和ヲ破リ又ハ其報復ヲ招クヘキ敵對ノ所爲局外中立ノ布告ニ違背スルノ所

爲及ヒ外國ノ君主皇族大統領又ハ駐在ノ外國使臣ニ對シ侮辱ヲ加フルノ所爲ヲ規定シ其條數六條ヲ設ケラレタリ是等ノ所爲ハ實ニ國際上ニ害アルヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラスト雖モ改正草案者カ外國ニ對シ媾和ヲ破リ又ハ其報復ヲ招クヘキ敵對ノ所爲トハ如何ナル所爲ヲ指シヤ漠然トシテ知ルニ由シナキノミナラス之ヲ規定スルハ徒ラニ刑法上ノ錯雜ヲ來スノミニシテ之ヲ適用スルノ場合蓋シ僅有絶無ナルヘシト思考ス故ニ予ヲ以テ視レハ之ヲ規定スルノ必要アルヲ發見セサルナリ唯々外國ニ對スル侮辱罪ハ國交ヲ維持スルニ於テ必要ナルヲ以テ之ヲ規定スルハ可ナリ然レモ其訴追ハ一般ノ侮辱罪ト同一ナラシメサルヘカラス改正草案者モ亦被害者又ハ其代表者ヲ告訴アルニ非レハ訴追スルコトヲ得ストノ一項ヲ附加セリ

改正草案者ノ草文ニ就テハ多少ノ修正ヲ要スルハ勿論ナリト雖モ外國ニ對シ遠征軍ヲ發スルノ所爲ニ就キ現行法第百二十一條ト同一ノ標準ヲ採リ又其豫備ノ場合ヲモ明示シタルハ予カ最モ賛成スル所ナリ即チ其草案ニ曰ク

第四百十六條 外國ニ對シ私ニ發シタル遠征軍ニ與シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 首魁及ヒ煽動者ハ二等有期徒刑ニ處ス
 - 二 樞要ノ職務ヲ爲シタル者及ヒ兵器、彈藥、金穀、船舶其他軍用ノ物品ヲ資給シタル者ハ三等有期徒刑ニ處ス
 - 三 其他ノ共犯人ハ六月以上三年以下無役禁錮ニ處ス
- 第四百十七條 兵隊ヲ招集シ又ハ兵器、彈藥、金穀、船舶其他軍用ノ物品ヲ準備シテ遠征ノ豫備ヲ爲シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各

二等又ハ三等ヲ減ス

此草案ノ如ク規定スルトキハ唯タニ刑ノ權衡ヲ失スルノ憂ヒナキノミナラス豫備ノ場合ニ於テモ亦疑義ヲ生スルノ憂ヒナカルヘシ故ニ本法改正ノ任ニ當ル者此點ニ注意スルハ必要ナリト信ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

靜謐ヲ害スル罪トハ何ソヤ國家ノ公安ヲ妨害シテ多少人心ニ危懼ノ念ヲ與フルノ所爲ヲ謂フニ外ナラス本章ハ即チ此罪ヲ九種ニ分ツテ規定セリ兇徒聚衆ノ罪、官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪、囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪、私ニ軍用ノ銃礮彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪、往來通信ヲ妨害スル罪、人ノ住所ヲ侵ス罪、官ノ封印ヲ破棄スル罪、公務ヲ行フヲ拒ム罪等是レナリ此罪中兇徒聚衆ノ罪、官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪ノ如キハ幾ント國事犯ノ部類ニ屬スルモノ、如シト雖モ

其實決シテ然ラス故ニ立法者ハ之ヲ常事犯視シ之ヲ罰スルニ有役ノ刑ヲ以テスヘキモノトス是レ其當ヲ得タルモノト云フヘシ國事犯ハ政府顛覆又ハ邦土潛竊ノ目的ニ出ルモノニシテ其政府ニ反對スル所爲ノ如キハ其是非果シテ孰レニ在ルヤ本章第一節第二節ニ掲クル所爲ノ如キハ其目的トスル所唯々一局部ノ官廳ヲ抗スルニ過キス之ヲ再言スレハ政治ノ一機關ヲ妨害シテ其運轉ヲ遮碍スルニ過キス是等ノ所爲ハ國憲ヲ害スルモノト同視スヘキニアラス是レ本章中ニ之ヲ規定シタル所以ナリ然レモ本章ニ規定シタル所爲ハ果シテ皆靜謐ヲ害スル罪ニ該當スルヤ否ヤニ至テハ大ニ疑ヒナキヲ得サルナリ改正草案者モ亦之ニ對シテ大改正ヲ加ヘ其編次ノ順序等ヲ變更セントセリ

第一節 兇徒聚集ノ罪

兇徒トハ多衆相集リテ暴舉暴動ヲ爲スモノ、謂ヒタルニ外ナラス故ニ兇徒ノ名稱ハ事跡ニ就テ下スニ過キスシテ初メヨリ兇徒ノ名アルニアラス良民ト雖モ暴動ニ與ミシテ多衆相集ルトキハ亦兇徒ヲ以テ目スヘシ然レモ徒兇ノ名稱ハ其所爲ニ就テ下スニ過キスシテ其人ニ就テ下スニアラス官吏ノ説諭ヲ受ケテ解散スルトキハ之ヲ罪トセス若シ兇徒ハ初メヨリ其人ニ下ス所ノ名稱ナリトセハ之ヲ解散セシムルコトヲ得ス必ス之ヲ罰セサルヘカラス由テ觀レハ本節ニ掲クル兇徒ハ所謂竹槍席旗ノ暴動ヲ爲スモノ、謂ヒニシテ一時ノ不平ヲ暴發スルニ過キサルモノトス本節ノ犯罪ハ之ヲ要スルニ四箇ノ條件具備スルニアサレハ成立セス第一相集ル者多衆ナルヲ要ス第二其目的ハ暴動ヲ爲シテ一時ノ不平ヲ漏ラスニ止ルヲ要ス第三其企謀ハ國事ニ關セサルコトヲ要ス第四

官吏ノ説諭ニ服セサルコトヲ要ス此四箇ノ條件ヲ具備セサルモノハ他罪ヲ成立セシムルモ本節ノ罪ヲ構成セズ

第三百三十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附和隨行シタル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ幾ント人ノ決意ヲ罰スルカ如キノ看アリト雖モ純然タル決意ノミチ罰スルニアラス兇徒多衆ヲ嘯聚シ又ハ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ云々ノ所爲ハ已ニ決意ヲ有形上ニ顯ハシタルモノト云ハサルヘカラス故ニ本條ハ決意ヲ罰スルモノト云フヲ得サルナリ然レモ他ノ犯罪着手トハ自ラ異ナル所アリ是レ官吏ノ説諭ヲ受ケテ解散スルトキハ其罪ヲ問ハサル所以ナリ

法文ノ明示スル所ニ依レハ假令ヘ兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀ルト雖モ官吏ノ説諭ヲ受ケテ解散シタルモノハ之ヲ罪視セス唯タ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサルモノニシテ始メテ其罪ニ論セラル、モノトス是レ何等ノ理由ニ出ルヤ蓋シ政略上ニ出ルモノニシテ他ニ理由ノ存スルモノアルニアラス夫レ官吏ノ説諭ヲ受ケテ解散シタルモノト仍ホ解散セサルモノトハ其決意ノ點ニ於テ毫モ差異アル所ナシト云フヲ以テ兩者共ニ之ヲ罰ストセン乎既ニ多衆ヲ嘯聚シタル以上ハ説諭ヲ受ケテ解散スルモ又ハ解散セサルモ等シク處罰ヲ免レサルヲ以テ寧ロ其企謀ヲ貫クニ如スカトシテ一層其害ヲ大ナラシムルニ至ルヘシ是レ説諭ニ服シテ解散スルモノハ其罪ヲ問ハス以テ間接ニ解散ヲ獎勵スル所以ナリ

本條ノ罪ハ既ニ略説シタルカ如ク四箇ノ條件具備スルトキニ於テ成

立スヘキノミ此條件ノ一以上ヲ欠クトキハ構成セラレサルモノナレ
ハ以下ニ其條件ヲ説明セン

第一多衆ノ兇徒ヲ嘯聚シタルコト 多衆ノ兇徒ヲ嘯聚シタリト認ム
ルニ足ルモノハ果シテ幾人以上ノ員數ヲ要スルヤ法文上之ヲ明示セ
サルヲ以テ其多衆ト認ムルト否トハ裁判官ニ一任セサルヲ得ス蓋シ兇
徒嘯聚ニハ現ニ多衆ナル場合ト多衆ナラサル場合トアルヘシト雖モ
其認メテ以テ兇徒多衆ヲ嘯聚シタルモノト看做スハ現場ノ情狀如何
ニ在ルヘシ例ヘハ僅々十數人ニ過キサルモ竹槍ヲ提テ席旗ヲ翻ヘシ
テ官廳ニ迫ルモノ、如キハ多衆嘯聚ト認メサルヘカラス之ニ反シテ
現ニ數百人ノ多衆アルモ團躰ヲ爲シタルニアラス多クハ處々ニ散在
シ官廳ニ迫リタル者ハ僅々數人ニ過キサル場合ノ如キハ多衆嘯聚ト
認ムルコトヲ得サルヘシ故ニ法律上之ヲ豫定スルコトヲ得ス是レ其

多衆嘯聚ト認ムルト否トハ裁判官ニ一任シタル所以ナリ然レモ裁判
官ハ現場ノ情狀ニ注意ヲ密ニスルハ甚ダ肝要ナリト思考ス然ラサレ
ハ唯々ニ人數ノ多寡ニノミ拘泥シ遂ニ裁判ノ錯誤ヲ來スナキヲ保セ
サレハナリ

第二嘯聚ノ目的ハ暴動ヲ爲スニ在ルコト 暴動トハ何ソヤ次條ニ官
廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ云々トアルヲ以テ視レハ
是等ノ所爲ヲ目的トシテ兇徒多衆ヲ嘯聚シタルモノハ即チ暴動ヲ謀
ルモノト認メサルヘカラス假令多人數相集ルモ單純ナル嘆願ヲ爲ス
ノ目的ニ出テ、官廳ニ喧鬧セントスルニアラス又ハ官吏ヲ強逼セン
トスルニアラス又村市ヲ騷擾セントスルニアラサルモノハ本條ヲ以
テ論スヘカラスシテ無罪ト論セサルヘカラス

第三暴動ノ精神國事ニ關係ヲ有セサルコト 暴動ノ擧グルヤ種々ア

ルヘシト雖モ概シテ富豪ニ逼リ賑恤ヲ強請シ或ハ官廳ニ救助ヲ強請シ又ハ官廳ノ或ル命令カ一村若クハ一郡ノ不利ニ屬スト云フヲ以テ其取消ヲ爲サシメンカ爲メ等ニ原因セサルハナシ故ニ凶年饑歲ニハ往々ニシテ貧民相集リテ暴動ヲ謀ルニ至ルヲアリ右等ノ目的ヲ以テ暴動ヲ謀ルモノハ即チ本條ヲ以テ論スヘキモノニシテ苟クモ國事ニ關係ヲ有スルモノハ暴動ヲ以テ視ルヘキニアラス故ニ兇徒多衆ヲ嘯聚シタル場合ニ於テ其目的ハ一時ノ強請若クハ一部ノ希望ヲ達セントスルニ在ル乎將テ政府顛覆朝憲紊亂ヲ爲サントスルニ在ル乎先ツ其區別ヲ明瞭ナラシムルヲ甚ダ肝要ナリ假令幾千幾万ノ多人數ヲ嘯聚スルモ政府顛覆朝憲紊亂ノ目的ニ出ルニアラサルモノハ即チ暴動ヲ謀ルモノナリ國事犯ニアラサルナリ單ニ暴動ヲ謀ルニ止ルモノハ官吏ノ説諭ヲ受ケテ解散セハ罪ト爲ラス之ニ反シテ國事犯ハ然ラス其豫

備ヲモ罰スルヲ以テ既ニ多衆ヲ嘯聚シタルトキハ着手ヲ以テ論スヘシ此ノ如ク暴動ト做スト國事犯ト做ストニ因テ罪ノ有無ニ大關係アルノミナラス處刑ニモ亦輕重ノ差ヲ生スヘシ是レ國事ニ關係ヲ有セサルヲ以テ本條ノ罪ヲ構成スルノ一條件ト看做ス所以ナリ然レモ暴動モ亦時トシテハ國事犯ニ陥ルヲナシトスヘカラス例ヘハ或ル強請ヲ爲スノ目的ヲ以テ暴動ヲ謀リ官廳固ク拒ンテ之ヲ容レサルヲ憤リ遂ニ進ンテ政府ヲ顛覆セント欲スルニ至ルカ如キ是レナリ斯ノ如キ場合ニ於テハ假令最初ハ暴動ノ目的ニ出ルモ其結果ハ變シテ國事犯ト爲リタルモノナルヲ以テ之ヲ國事犯ニ問フヘキハ論ヲ俟タヌ

第四官吏ノ説諭ヲ受ルト雖モ仍ホ解散セサルコト本條ノ罪ハ既ニ兇徒多衆ヲ嘯聚シ又其目的カ暴動ヲ爲スニ出ルモ唯タ是レノミヲ以テ成立スルニアラス官吏ノ説諭ヲ受ルト雖モ仍ホ解散セサルニ至リ

始メテ本罪ヲ成立ス而シテ解散セサル者トハ已ニ説諭ヲ受クルモ之ニ服セス依然トシテ多衆ヲ嘯聚シツ、アルノ謂ヒニシテ此所爲ハ即チ本條ノ罪ヲ構成ス若シ唯メニ解散セサルノミナラス尙ホ進ンテ次條ニ掲クル所爲ノ一以上ヲ實行スルトキハ最早本條ヲ以テ論セス次條ノ規定ニ依ラサルヘカラス故ニ本條ノ罪ト爲ルト否トハ一ニ官吏ノ説諭ヲ受ケテ解散スルト否トニ在テ存スト云ハサルヘカラス之ヲ換言スレハ説諭ニ服シテ解散スルトキハ良民ニ復スルヲ以テ之ヲ罰セス説諭ニ服セスシテ仍ホ解散セサルトキハ眞ノ兇徒ニ陷ルヲ以テ之ヲ罰スト云フカ如シ蓋シ暴動ニ與ミスル者ハ多クハ無智矇昧ノ愚民ニアラサレハ強迫ヲ受ケテ附加ト隨行スル者ナルヲ以テ法律ハ説諭ヲ受ケテ解散スル者ハ之ヲ罰セス以テ解散ヲ獎勵シ良民ニ復セシムルコトヲ望ムニ外ナラス而シテ本條ニ官吏トアルハ府縣知事警察官

及ヒ警察權ヲ有スル行政官吏ノ謂ヒニシテ其他ノ官吏ハ包含セサレモノト思考ス何トナレハ警察權ヲ有セサル官吏ハ暴徒ニ對シテ説諭ヲ爲シ之ヲ鎮撫スルノ權利ナク義務モアラサレハナリ故ニ暴動ヲ謀ルニ際シ町村吏員等之ニ説諭ヲ與フルモ仍ホ解散セサリシト云フヲ以テ本條ヲ適用スルコトヲ得ス地方長官又ハ警察官ノ説諭ヲ受クルモ仍ホ解散セサルキニ至テ本條ノ罪始メテ成立ス

以上四箇ノ條件ハ本條ノ罪ヲ構成スル元素ニシテ若シ其一以上ヲ欠缺トキハ其罪成立セス本條ノ罪ハ第二百一十一條ノ如ク首魁教唆者チ正犯ト爲スト雖モ附和隨行等ノ者ニ至テハ之ヲ區別セス等シク同一ノ罰金ニ處スルハ其權衡ヲ失スルノ嫌ヒナキニアラサルカ如シト雖モ本條ノ場合ハ唯メ兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リタリト云フニ過キスシテ未ダ暴動ニ着手シタルニアラス故ニ首魁及ヒ教唆者ヲ除ク

ノ外ハ其犯狀ニ等差アルモノト認ムルコトヲ得ス是レ同一ノ刑ヲ以テ之ヲ罰スル所以ナリ之ヲ要スルニ本條ノ行爲ハ次條ノ所爲ノ豫備タルニ過キスト雖モ既ニ兇徒ヲ嘯聚シタル有形的ノ事實アルヲ以テ其有形的ノモノニ就テ之ヲ罰スルニ過キサルナリ

第三百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又

ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役

ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其

情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下

ノ罰金ニ處ス

本條ハ前條ノ所爲ニ一步ヲ進メ既ニ暴動ニ着手シタル場合ヲ規定シタルモノナリ本條ノ所爲ハ官吏ノ説諭ヲ受ケタル後ニ於テスルト受ケサル前ニ於テスルトナ間ハス既ニ暴動ニ着手シタル以上ハ首魁教

唆者及ヒ煽動助勢者ヲ重罪ニ處スヘキモノトス是レ他ナシ本條ノ所爲ハ豫備ヨリ進ンテ着手ニ至リ即チ危險ヲ過キテ實害ヲ爲シタルモノナルヲ以テ其刑亦重カラシメサルヘカラサレハナリ然レモ其所爲ハ暴動ニ止ルヲ以テ附和隨行者ニ至テハ國事犯ノ場合トハ異ナリ其刑ハ舛刑ヲ科セス罰金ニ止ラシム

官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ云々トハ暴動ノ何タルヲ示シタルニ過キス其他暴動ヲ爲シタル者トハ官廳ニ喧鬧シ若シハ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シタルニアラサルモ凶年饑歲等ニ際シ救恤ヲ強求スルカ爲メ富豪ノ家ニ亂入シテ糧食ヲ奪掠シ財産ヲ毀損シタル所爲又ハ暴動ニ應セサル者ノ家屋ヲ燒燬シ又ハ暴動ニ抵抗シタル者ヲ殺死シタルカ如キノ所爲等ヲ謂フ其等ノ所爲アルトキハ即チ暴動罪ヲ以テ論シ本條ヲ適用スヘキモノトス然レモ家屋ヲ燒燬シ

又ハ人ヲ殺死シタル者ノ如キハ次條ニ問フヘキモノニシテ即チ數罪俱發ヲ以テ論シ其重キニ從テ處斷セサルヘカラス是レ内亂罪ト暴動罪トノ異ナル所以ニシテ内亂罪ハ兵器ヲ提携シ政府ニ抗敵スルモノナルヲ以テ戰略ノ結果トシテ家屋ヲ燒燬シ人ヲ殺傷スルハ避クヘカラサルモノナリ故ニ内亂罪ニ在テハ唯一ノ内亂罪ヲ成立セシムルニ過キスト雖モ暴動罪ハ然ラス一時ノ不平ヲ漏ラシ若クハ一部ノ希望ヲ達セントスルニ過キササルヲ以テ人ヲ殺死シ家屋船舶等ヲ燒燬スルニアラサレハ其目的ヲ達スルコト能ハスト云フニアラス故ニ暴動罪ニ在テハ人ヲ殺死シ家屋船舶等ヲ燒燬シタルノ所爲ノ如キハ別ニ一罪ヲ成立セシメ其重キニ從テ處斷スヘキモノトス

前條及ヒ本條ノ所爲ハ學說上犯罪ノ性質ヨリ之ヲ論スルトキハ未遂犯タルカ如シト雖モ法律ノ成文上ヨリ之ヲ既遂犯ト看做サルヘカ

ラス前條ノ場合ハ官吏ノ說諭ニ服スルト否トニ因リ罪ノ有無ヲ決スヘキモノナルヲ以テ固ヨリ未遂犯ヲ生スヘキノ理ナシ本條ノ場合ハ既ニ暴動ニ着手シタルノ所爲ヲ以テ直チニ既遂犯ト看做シテ之ヲ罰スルモノナリ其暴動ノ所爲ハ種々ニシテ固ヨリ一定セズ故ニ其着手ヲ以テ既遂ト看做サルヘカラス是レ他ナシ暴動罪モ亦内亂罪ト同シク其着手ヲ以テ既遂ト看做サルキハ言フヘカラサルノ危険ヲ生セシムルニ至ル例ヘハ官廳ノ或ル命令ニ對シテ暴動ヲ起シ其取消ヲ爲サシメント欲シテ能ハス中途ニシテ鎮壓セラレン乎之ヲ未遂犯トシテ其刑ヲ減等スルトキハ悔悟セズ更ニ一層過激ナル暴動ヲ企謀スルニ至ルカ如キ是ナリ又全ク其目的ヲ達セシムルトキハ之カ爲メ政令行ハレサルノ大害ヲ來スニ至ルヘシ故ニ暴動罪モ亦其着手ヲ以テ之ヲ既遂ト看做シテ罰セサルヘカラス是レ本條ノ所爲ハ學說上ヨリ

之ヲ論スルトキハ未遂犯ニ屬スルト雖モ成文上之ヲ既遂犯ト看做サ
シムル所以ナリ

第三百十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬

シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス

首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同シ

暴動罪ハ内亂罪ト全ク其目的ヲ異ニシ政府顛覆朝憲紊亂ニ出ルニア
ラス暴動ノ際他罪ヲ犯シタル者ハ數罪俱發ヲ以テ論セサルヘカラス
例ヘハ財物ヲ強奪シ鐵道ヲ損壞シ電線ヲ切斷シ通信ヲ妨害シ又ハ人
ヲ毆打創傷シタルカ如キハ暴動罪ト俱發シタル罪トシ其重キニ從テ
處斷セサルヘカラス其レ然リ暴動罪ニ於テハ數罪俱發ヲ適用スヘキ
ハ勿論タルニ拘ハラステニ本條ノ規定ヲ設ケタルモノハ何ソヤ他ナ
シ暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬スルノ所爲ハ

普通ノ殺人罪放火罪ト同視スヘキニアラス一層其刑ヲ重カラシメサ
ルヘカラサルノ理由アルヲ以テナリ況ンヤ首魁及ヒ教唆者ハ現ニ手
ヲ下スニアラスト雖モ其情ヲ知テ制セサルトキハ下手者ト同一ノ嚴
刑ニ處セシムルヲ特例ヲ設ルニ於テオヤ

暴動ノ際云々トハ暴動ニ與ミシタル者カ其勢ニ乘シテ人ヲ殺シ若ク
ハ火ヲ放ツヲ云フニ過キス暴動ニ關係セサル者カ暴動ニ際シテ單ニ
財物ヲ奪取スルカ爲メ人ヲ殺シ若クハ火ヲ放ツ所爲ノ如キハ普通ノ
強盜殺人罪又ハ放火罪ヲ以テ論スヘキハ言ヲ俟タズ何トナレハ右等
ノ所爲モ亦本條ヲ以テ論スヘシトセハ刑ノ權衡ヲ失スルニ至レハナ
リ故ニ暴動ノ際云々トハ暴動ト相牽連スル場合ニ限ル即チ暴動者カ
其勢ニ乘シテ人ヲ殺シ若クハ火ヲ放チタル者ニ對シテノミ本條ヲ適
用スヘキノミ

本條ノ殺人罪ハ謀殺故殺ノ別ヲ問ハス唯々人ヲ死ニ致シタルヲ以テ足ルモノトス然レモ過失殺又ハ毆打創傷ノ所爲ハ本條ノ殺人罪中ニ包含セス何トナレハ過失殺ハ偶然ノ結果ニ屬スルヲ以テ何レノ場合ト雖モ其刑ニ差等ヲ生スヘキノ道理ナシ又毆打創傷ニ就テハ本條之ヲ明示セサレハナリ毆打創傷ノ所爲ニ就テハ數罪俱發ヲ以テ論セサルヘカラス唯々毆打ニ因テ死ニ致シタル者ニ對シテノミ本條ヲ適用スヘキモノト思考ス凡ソ人ヲ殺死スルニハ種々ノ方法アリト雖モ毆打モ亦其一方法ト看做サルヘカラス殊ニ暴動ニ際シテハ最モ行ハレ易キ方法ナリトス例ヘハ一人ヲ殺スニ十數人集リテ之ヲ毆打シ或ハ鐵拳ヲ以テシ或ハ瓦礫ヲ以テセハ之ヲ殺スコト甚々容易ナリトスヘシ然ルニ其死ハ毆打ニ因ルト云フヲ以テ之ヲ普通ノ毆打殺ニ問ハ、常ニ宿怨ヲ懷ク者ノ如キハ暴動ヲ奇貨トシテ往々毆打ヲ以テ人ヲ

殺スニ至ルヘシ故ニ暴動ノ際人ヲ殺死スル者ハ其方法毆打ニ因ルト雖モ亦本條ヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラス況ンヤ本條ハ殺死ノ方法ヲ明示セス假令ヘ如何ナル方法ニ因ルモ唯々殺死シタル事實アル者ニ對シテ本條ヲ適用セシムルノ意タルヤ明カナルニ於テオヤ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シ云々トハ亦是レ暴動ノ勢ニ乘シ火ヲ放ツテ是等ノ有形物ヲ燒燬シタルノ所爲ヲ云フニ過キスト雖モ其家屋倉庫ハ人ノ住居シタルト否トヲ問ハス又其船舶ハ人ヲ乘載シタルト否トヲ拘ハラス苟クモ火ヲ放テ之ヲ燒燬シタルトキハ死刑ヲ免レス普通ノ場合ニ於テハ人ノ住居セサル家屋ヲ燒燬シタルトキハ無期徒刑ニ處シ乘載セサル船舶ヲ燒燬シタルトキハ重懲役ニ處セラル、ニ過キス暴動ノ際ニ於テスルモノハ然ラス唯々火ヲ放テ燒燬シタルノ故ヲ以テ死刑ニ處ス殺人ノ場合ニ於テ亦故殺ト謀殺トヲ問ハス唯々殺死

シタルノ事實ヲ以テ死刑ニ處ス斯ノ如ク普通ノ場合ト其刑ヲ異ニシ
 之ヲ嚴罰ニ處スルモノハ他ナシ暴動ノ際ハ犯スニ易フシテ防クニ難
 キヲ以テナリ故ニ本條ノ場合ハ例外ニ屬シ其刑ヲ重カラシメサルヘ
 カラス予カ前ニ理由アリテ存スト云ヒシモノハ即チ是レナリ又家屋
 船舶倉庫云々ニ就テ一言ヲ要スヘキモノナリ家屋船舶倉庫等トアル
 ナリテ視レハ唯々家屋船舶倉庫ノミナラス之ニ等シキモノヲ燒燬シ
 ダルトキモ亦本條ノ處刑ヲ免レス然レモ何々等ト云ヘル文字ノ範圍
 ハ甚々廣ク何レノ點ニマテ及ホスヘキヤ幾ント限界ナキカ如シト雖
 トモ家屋船舶倉庫ニ類似シタルモノニ止ルヘキハ敢テ疑ヒテ容レサ
 ルヘシ第四百四條ニ掲クル家屋及ヒ柴草肥料等ヲ蓄フル屋舎ヲ燒燬
 シ又ハ第四百六條ニ掲クル山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露積シタル柴
 草竹木ヲ燒燬シタル所爲モ亦之ヲ死刑ニ處スルニ至テハ假令暴動ノ

勢ニ乘シテ之ヲ爲シメリトスルモ刑ノ權衡ヲ得シメタルモノト云フ
 ヘカラス故ニ第四百四條及ヒ第四百六條ノ所爲ハ重懲役輕懲役ニ處
 スルニ止ラシメ既又ハ納屋等ヲ燒燬シタルモノ亦本條ヲ適用セサル
 モノト思考ス之ヲ要スルニ家屋船舶倉庫ニ類似シタルモノト認ムル
 ト否トハ裁判官ニ一任セサルヘカラスト雖モ貴重ノ財物ヲ貯藏シタ
 ル建物ヲ燒燬シタル場合等ニアラサレハ本條ヲ適用セサルヘシト信
 ス
 現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ハ死刑ニ處ストハ假令暴動ニ與ミスル
 モ現ニ下手及ヒ放シタル者ニアラサレハ本條ヲ適用セサルコトヲ明
 示シタルニ外ナラス然レモ其下手者及ヒ放火者ハ附和隨行ニ過キサ
 ル者ト雖モ之ヲ死刑ニ處シ其暴動ニ與リテ力アリシト否トチ問ハス
 是レ他ナシ暴動罪ハ内亂罪ト異ナリ數罪俱發ヲ適用スルヲ以テナリ

若シ其殺人放火ニ與ミシタル者二人以上アルトキハ數人共犯ヲ適用スヘキハ論ヲ俟タス

暴動ノ際人ヲ殺死スルノ所爲ニ就テハ尙ホ一ノ疑點ノ存スルアリ即チ警察權ヲ有スル行政官吏又ハ鎮撫トシテ出張シタル軍人等ニ對シ暴徒ヨリ暴行ヲ加ヘテ之ヲ殺死シタルハ本條ヲ適用スヘシト雖モ若シ右等ノ官吏又ハ軍人ヨリ倒マニ暴行ヲ暴徒ニ加ヘ拔劔又ハ發銃シタルトキ暴徒等之ニ對シテ反撃シ遂ニ殺死シタルモ亦本條ヲ適用スヘキ否ヤノ疑問即チ是レナリ予チ以テ視レハ前例ノ場合ハ正當防衛ノ性質ヲ有スルヲ以テ本條ノ正面ニ該當セス本條ハ單ニ一方ニ於テハ何等ノ行爲モ爲サ、ルニ暴徒ヨリ故ラニ殺死シタルトキニ於テノミ之ヲ適用スヘキモノト思考ス

第二項首魁及教唆者情ヲ知テ制セサル者云々トアルハ殺人若クハ放火ノ首魁及ヒ教唆者ヲ謂フニアラス暴動ノ首魁及ヒ教唆者ニシテ其暴徒中ニ殺人若クハ放火セントスル者アルヲ知テ之ヲ制止セサルトキハ下手者若クハ放火者ト同一ノ刑ニ處スト云フニ外ナラス暴動ニ際シ單ニ殺人若クハ放火ヲ教唆シタル者ノ如キハ第百五條ノ原則ニ照シテ處斷スヘキハ論ヲ俟タス此暴動ノ首魁及ヒ教唆者ハ現ニ殺人放火ニ與ミシタルニアラス唯タ其情ヲ知テ之ヲ制セザリシノ故ヲ以テ下手者及ヒ放火者ト同一ノ刑ニ處スルハ何ソヤ首魁及ヒ教唆者ハ暴動者ノ所爲ニ對シテ責任ヲ負フヘキモノナレハナリ然レモ暴動犯ノ首魁及ヒ教唆者内亂罪ノ首魁及ヒ教唆者ト同視スヘキニアラス故ニ暴動犯ニハ數罪俱發ヲ適用スルニモ拘ハララス苟クモ暴徒ノ爲シタル所爲ハ其情ヲ知ルト否トヲ問ハス悉ク皆其責任ヲ負ハシムルハ亦酷ニ失スト云ハサルヘカラス故ニ其情ヲ知テ制止セサルトキニ於テノ

ミ下手者ト同一ノ刑ニ處シ其情ヲ知ラサルトキハ無責任タラシムルモノトス

(改正草案)改正草案者ハ現行法ノ靜謐ヲ害スル罪ハ其草案第二編第九章ニ之ヲ掲ケ兇徒嘯聚罪ヲ改正シテ暴動罪ト爲シ之ヲ其第一節ニ編入セラレタリ尙ホ此點ニ就テハ後ニ至リ論出スル所アルヘシト雖モ其要點ヲ擧クレハ現行法ハ兇徒嘯聚ノ罪ヲ規定スルモ其罪ノ性質ヲ定メサルヲ以テ往々内亂罪ト混同スルコトナシトセス故ニ之ヲ暴動罪トシテ其罪質等ヲ明瞭ナラシムルヲ云フニ在リ實ニ現行法ニ依レハ内亂罪ト暴動罪トノ區別判然セス隨テ又裁判ノ錯誤ヲ來スノ憂ヒナキニアラサレハ之ヲ暴動罪トシテ規定スルハ其當ヲ得タリトスヘシ

又改正草案者ハ現行法第三百三十八條ニ改正ヲ加ヘ暴動ニ際シ殺傷

脅迫毀壞又ハ掠奪ノ所爲ハ其下手者及ヒ首魁煽動者ハ各本條ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷スヘキモノト規定セントス此改正ハ專テ刑ノ權衡ヲ得セシメントスルニ在ルヤ明カナリト雖モ予ヲ以テ視レハ暴動ノ際殺人又ハ放火ノ二罪ヲ犯ス者ニ至テハ現行法ノ精神ヲ存セシムルヲ得策トス何トナレハ暴動ノ際殺人又ハ放火スト雖モ其殺死ハ故殺ニ屬シ又其放火ハ人ノ住居セサル家屋ニ屬スルトキハ之ヲ無期徒刑及重懲役ニ處セシムルニ止ラシメハ宿怨等ヲ原因トシ往々暴徒ヲ奇貨トシテ殺死又ハ放火ヲ爲スノ危險ヲ招クニ至ルヘシ故ニ之ヲ嚴刑ニ處シ以テ危險ヲ防遏スルハ甚々必要ナリトス然レモ殺死及ヒ放火ノ二罪ヲ除クノ外ハ數罪俱發ヲ以テ論スヘキハ當然ナルカ故ニ各本條ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷セシムルハ予モ亦之ヲ是認ス

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

官吏ノ職權ハ法律ヲ以テ保護セサルヘカラス若シ官吏其職務ヲ行フニ當リ暴行脅迫ヲ以テ之ニ抗拒スル者アルモ措テ問ハストセン乎苟クモ己レニ不利ナルモノハ之ヲ拒ンテ憚ラサルニ至リ唯ダニ法律命令ヲシテ徒法空文ニ屬セシムルモノ、ミナラス政府ノ威權ヲ損シ延ヘテ社會ノ安寧ヲ害スルニ至ルヘシ是レ本節ノ規定ヲ設ケ一ハ以テ官吏ニ抗拒スルノ所爲ヲ罰シ一ハ以テ官吏ノ職權ヲ保護スル所以ナリ

第三百二十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者

亦同シ

本條ハ官吏將ニ其職務ヲ執行セントスルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ之ヲ妨害スルノ所爲ト暴行脅迫ヲ以テ強ヘテ當該官吏ノ爲スヘカラサル事件ヲ爲サシメタル所爲トヲ罰スルノ規定ニシテ第一項ハ即チ抗官罪ヲ示シタルモノナリ而シテ抗官罪ハ三箇ノ條件ヨリ成立ス

第一 官吏カ其職務ヲ以テ法律規則又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スル場合ナルヲ要ス

第二 暴行脅迫ノ所爲ヲ行ヒタルコトヲ要ス

第三 官吏ニ對シテ抗拒シタルノ所爲アルコトヲ要ス

以上三箇ノ條件具備スルニアラサレハ抗官罪ハ成立セス此三箇ノ條件ニ就キ其要點ヲ略説スレハ左ノ如シ

第一官吏其職務ヲ以テ法律規則又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スル

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪
第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

場合 官吏トハ如何ナル職任ニ在ル者ヲ指スヤ蓋シ執行權ヲ有スル官吏ノ謂ヒニシテ即チ警察官監獄吏收稅吏執達吏憲兵等ノ如キ人民ニ對シ直接ニ法律規則又ハ命令ヲ執行スル者是レナリ法律規則ヲ執行スルトハ警吏カ現行犯人ヲ逮捕シ若クハ受刑人ヲ實刑ニ就カシメ又ハ監獄吏カ囚人ノ取扱ヲ爲シ又ハ收稅吏カ納稅者ニ對シテ徵稅スル等ヲ云フ又官署ノ命令ヲ執行ストハ警吏カ豫審判事ノ命令ヲ以テ犯人ヲ捕縛シ收稅吏カ府縣知事ノ命令ヲ受ケテ商業帳簿ヲ檢査シ又ハ執達吏カ執行裁判所ノ命令ニ因リ強制執行ヲ爲シ又ハ憲兵カ將校ノ命令ニ從ヒ犯罪現場ニ臨ムカ如キヲ云フ是等ノ官吏ト雖モ其職務ヲ以テスルニアラス又ハ其職務ヲ以テスルモ法律規則又ハ命令ヲ執行スルニアラスシテ人民ニ對スルトキハ假令暴行脅迫ヲ受ルモ本條ノ罪ヲ成立セス又假令當該官吏タルモ一個人ノ資格ヲ以テ人民ニ對

スルトキハ亦本條ヲ以テ論スヘキニアラス是等ノ場合ニ於ケル暴行脅迫ハ他罪ヲ成立セシムルモ本條ノ問フ所ニアラス

第二 暴行脅迫ノ所爲 暴行ノ所爲トハ如何ナル所爲ヲ云フヤ必ス事ヲ腕力ニ訴ヘ粗暴ノ行爲ヲ憚ラス多少人ニ害ヲ加ヘタルノ所爲ヲ云フニ外ナラス例ヘハ歐打若クハ蹴踢スルカ如キ是レナリ脅迫トハ何ソヤ言語若クハ舉動ヲ以テ脅嚇シ若クハ強迫スルノ謂ヒニシテ例ヘハ余ニ從ハスンハ汝ヲ殺スヘシ若クハ汝ノ家ヲ燒クヘシト云フカ如キ是レナリ本條ノ罪ハ此暴行脅迫ノ所爲アルヲ以テ成立ス故ニ言語ヲ以テ執行ヲ拒ミ又ハ遁逃スルモノ、如キハ本條ノ罪ト爲ラス本條ノ罪ハ必ス腕力ヲ籍リテ脅迫シタルヲ要ス

第三 官吏ニ對シテ抗拒シタルノ所爲 抗拒トハ法律規則又ハ命令ノ執行ニ服セス之ヲ執行スル當該官吏ニ對シテ抗拒スルノ謂ヒタルヲ

以テ法律規則又ハ命令ノ執行ヲ受ル者ニアラサレハ抗拒ノ名稱ヲ下スコトヲ得ス故ニ第一ニ説明シタル執行權ヲ有スル官吏ト雖モ法律規則又ハ命令ヲ受クルノ義務ナキ者ニ對シテ之ヲ執行セントスルトキ又ハ法律規則若ハ命令ヲ執行スルニアラサルハ假令之ニ對シテ暴行脅迫ノ所爲ヲ加フルモ本條ヲ適用スルコトヲ得ス本條適用ノ場合ハ例ヘハ警吏カ現行犯人ヲ逮捕セントスルニ對シテ抗拒シ又ハ警吏カ豫審判事ノ令狀ヲ以テ犯人ヲ捕縛セントスルニ對シテ抗拒シ又ハ執達吏カ執行裁判所ノ命令ニ因リ強制執行ヲ爲サントスルニ對シテ抗拒シ又ハ收稅吏カ府縣知事ノ命令ヲ受ケ商業帳簿若クハ製造物ヲ檢査セントスル者ニ對シテ抗拒シ其執行ヲ爲ス丁ヲ得セシメサルノ所爲アルキ即チ是レナリ然レモ此抗拒ハ暴行脅迫ヲ以テ之ヲ爲シタルトキニアラサレハ本條ヲ適用スルコトヲ得ス本條ノ適用ニ就テ

ハ其範圍甚ダ廣キカ如何ニ解釋スル者アリ例ヘハ司法ノ官吏タル者カ人民ニ對シテ職務ヲ行フ場合ニ於テハ唯ダニ法律規則又ハ命令ヲ執行スル場合ノミナラス一般ノ場合ニモ適用スヘシ苟クモ職務ヲ行フ官吏ニ對シテ暴行脅迫ヲ以テ抗拒シタルトキハ總テ本條ヲ適用スヘシト此說一理アルカ如シト雖モ抗拒ノ文字ニ就テ立法者ノ意思ヲ忖度スルトキハ本條ハ法律規則又ハ命令ノ執行ヲ受クヘキ者ニ對シテノミ適用スルモノタルヲ知ルヘシ何トナレハ抗拒ノ意味ハ來ルモノニ對シテ之ニ抗シ之ヲ拒ムノ謂ヒタルニ外ナラサレハナリ故ニ我ヨリ進ンテ或ル請願ヲ爲シ其指令ヲ不當トシテ官吏ニ抗抵スルノ所爲ノ如キハ本條ニ包含セサル丁明カナリ若シ法律規則又ハ命令ノ執行ヲ受クルノ義務ナキ者ニシテ官吏ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ或ル事件ヲ抗拒シタルトキハ毆打スル者ハ毆打罪ヲ以テ論シ脅迫スル者ハ脅

迫罪ニ問フヘキノミ本條ヲ適用スルノ限リニ在ラサルナリ
 第二項ハ暴行脅迫ヲ以テ當該官吏ノ爲スヘカラサル事件ヲ強ヘテ爲
 サシメタル場合ヲ規定シタルモノナリ抑モ爲スヘカラサル事件トハ
 爲スノ必要ナク即チ爲スチ不可トスル事件ノ謂ヒナリ故ニ爲スチ禁
 シタル事件ハ勿論爲スチ不可トスル事件ヲ強ヘテ爲サシメタルトキ
 ハ本條ヲ以テ論セサルヘカラス例ヘハ收稅吏ヲシテ強ヘテ不正ノ檢
 査ヲ爲サシメ又ハ警察官ヲシテ強ヘテ無辜ノ人ヲ捕縛セシメ又ハ執
 達吏ヲシテ不正ノ調書ニ強ヘテ捺印セシメタルカ如キ是レナリ然レ
 是等ノ所爲ハ單ニ言語ヲ以テ之ヲ爲サシメタルニ過キサルトキハ
 本條ヲ適用セス必ス暴行脅迫ニ出ルコトヲ要スト雖モ本項ニ就テ一
 ノ疑點ノ存スルモノアリ官吏カ當然爲スヘキ事件ヲ爲サ、ル場合ニ
 於テ暴行脅迫ヲ以テ強ヘテ之ヲ爲サシメタルトキモ亦本條ヲ適用ス

ヘキヤ否ヤノ疑問是レナリ或ル論者曰ク假令官吏カ其爲スヘキ事ヲ
 爲サ、リシトスルモ人民ハ強ヘテ之ヲ爲サシムルノ權利ナシ然ルニ
 之ニ對シテ暴行脅迫ヲ加フルニ至テハ公權ヲ蔑如スル者ト云ハサル
 ヘカラス故ニ本條ヲ以テ之ヲ罰スヘキハ論ヲ俟ヌスト然レモ願ミテ
 法文ノ明示スル所ヲ視レハ其官吏ノ爲ス可ラサル事件云々トアリ此
 爲スヘカラサルト云ヒル文字ハ制限的ノ意味ヨリ出ルモノニシテ當
 然爲スヘキ事ヲモ包含スト云フチ得ス官吏ノ當然爲スヘキ事ヲ爲サ
 、ルハ畢竟スルニ怠慢ニアラサレハ故意ニ出ルノ嫌疑ヲ免レスシテ
 失職ト云フモ亦可ナリ假令之ニ對シテ暴行脅迫ヲ加フルモ強ヘテ爲
 スヘカラサルコトヲ爲サシメタル者ト同日ニ論スヘキニアラス然ル
 ニ彼是同一ノ刑ニ處スルハ唯タニ刑ノ權衡ヲ失スルノミナラス官吏
 ノ職務ヲ保護スルニアラスシテ官吏ノ怠慢若クハ失職ヲ保護スルノ

嫌ヒチ免レス故ニ予ハ官吏カ當然爲スヘキノ事ヲ爲サシムルニ對シ
暴行脅迫ヲ加ヘタル者ハ本條ノ例外ニ屬シ普通ノ殴打又ハ脅迫ヲ以
テ論スヘキモノト思考ス然ラサレハ爲スヘカラサル事件云々ノ法文
ニ矛盾スレハナリ要スルニ事ノ善惡ヲ問ハス爲スヘカラサル場合ニ
於テ之ヲ爲サシメタルトキニ限り本條ヲ適用スヘシトセハ大過ナカ
ルヘシ

然レモ本條ノ規定ハ不備ノ誹リヲ免レス本條第二項ノ如キハ制限的
ノ文字ヲ用非タルニ因リ種々ノ疑問ヲ生シ又實際ニ於テ適用ニ苦ム
ノ場合ヲ生スルナリ又暴行脅迫ニ就テモ二人以上共謀シテ之ヲ行ヒ
タル場合ト兇器ヲ携帯シタル場合トヲ區別シテ其刑ニ輕重スル所ナ
カラシメサルヘカラス然ルニ本條ノ規定ニ依レハ數人共謀シ又ハ兇
器ヲ携帯シタル場合ト雖モ之ヲ區別セス總テ同一ノ刑ニ處セシムル

モノ、如シ是レ法ノ不備ヨリ來ル所ノ結果ナリト云ハサルヘカラス
又本條ハ單ニ法律規則及ヒ命令ノ執行ニ關スル場合ノミヲ規定シ一
般官吏ニ抗スル場合ヲ規定セサルカ如キハ一大欠點ト云ハサルヘカ
ラス故ニ改正草案者ハ是等ノ不備ヲ補充スルアラントス是レ必要ノ
改正ナリ而シテ其改正ノ要點如何ハ本節ヲ講了スル時更ニ講說スル
所アルヘキナリ

第四百十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷
ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

本條ハ前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆打創傷シタル者ハ普通ノ毆打創
傷ヨリ一等ヲ加重スヘキコトヲ規定セリ蓋シ是レ一方ニハ官吏ヲ保
護シ他ノ一方ニハ公權ヲ鞏固ナラシムルノ目的ニ出ルヤ明カナリト
雖モ恐ラク其目的ヲ達スルコト能ハサルノミナラス又權衡ヲ失スル

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪 二百三十七
第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

ノ嫌ヒテ免レス歐打創傷ハ一ナリ官吏ヲ歐打創傷スルト通常人ヲ歐打創傷スルト何ゾ擇ハンヤ人或ハ云ン乎官吏ニ對シテ歐打創傷ヲ行フノ所爲ハ公權ヲ蔑如シ國安ヲ妨害スルモノト云ハサルヘカラス故ニ一等重キ刑ニ處スルハ當然ナリト然レモ尙不權衡ノ嫌ヒテ免レス本條ニハ單ニ毆打創傷ヲ規定スルノミニシテ故殺ノ場合ヲ想像セサレハナリ本條ノ規定ニ依レハ毆打傷創ノ場合ニハ各本條ニ照シテ一等ヲ加重スヘキモ毆打創傷ニ一步ヲ進メテ故殺ヲ爲シタル場合ニハ普通ノ故殺ニ問ハサルヘカラス是レ權衡ヲ失スルノ嫌ヒナシトスル乎毆打創傷ヲ罰スルニ一等ヲ加フル以上ハ故殺ニ就テモ亦一等ヲ加ヘテ可ナルニアラスヤ本條故殺ノ規定ヲ欠クハ予ノ了解ニ苦ム所ナリ然レモ本條ニハ故殺ノ規定ヲ設クルコト能ハサルノ理由アリ何ソヤ他ナシ故殺罪ハ無期徒刑ニ該當シ之ニ一等ヲ加フルトキハ死刑ニ處

セサルヘカラスト雖モ加減例ニ於テ加ヘテ死刑ニ入ルコトヲ許サ、ルハ第六十六條ノ明示スル所ナルヲ以テナリ蓋シ是レ本條ハ單ニ毆打創傷ノ場合ノミヲ規定シ故殺ニ及ホサル所以ナルヘシト雖モ亦立法ノ當ヲ得タルモノト云フヲ得サルヘシ若シ夫レ官吏ヲ故殺スル者アラン乎本條ハ之ヲ規定セサルヲ以テ普通ノ謀殺罪ニ問ヘ前條ノ罪ヲ犯スニ因テ故殺シタル者ニ對シテノミ第二百九十四條ヲ適用スヘシ若シ重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ故殺シタルトキハ第二百九十六條ヲ適用シ之ヲ死刑ニ處スヘキハ勿論マリ蓋シ實際ニ於テ抗官罪ヲ犯スニ因リ故殺ヲ行フ者ハ稀有ニシテ概シ第二百九十六條ニ該當スヘキヲ以テ故殺ノ場合ヲ規定スルノ必要ナキカ如シト雖モ謂ハレナク犯罪ノ嫌疑ヲ受ケタル者ノ如キハ拘引狀ノ執行ニ對シテ抗拒シ因テ

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪 二百三十九
 第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

故殺ヲ行フコトナキヲ必スヘカラス是等ノ場合ニ於テ法律ニ正條ナ
キカ爲メ之ヲ普通ノ故殺罪ニ問フハ實ニ權衡ヲ失スルノ嫌ヒヲ免レ
サレ且亦已ムヲ得サルノ結果ナリ故ニ改正草案者ハ是等ノ點ニ就テ
モ改正ヲ加ヘントセリ

第四百十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ
以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上
五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖書又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱
シタル者亦同シ

本條ハ官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スルノ罪ニ屬セシメタリト雖モ第百
三十九條トハ大ニ異ナル所アリ第一官吏ノ身體ニ對シテ加害スルト
官吏ノ名譽ニ對シテ加害スルトノ差アリ第二官吏カ法律命令ヲ執行

スルニ抗拒スルト加害者自ラ進ンテ加害スルトノ差アリ第三單ニ執
行官吏ニ對スルト一般官吏ニ對スルトノ差アリ第四官吏ノ職務ヲ行
フノ場合ト官吏ノ職務ニ對スルトノ差アリ之ヲ要スルニ第百三十九
條ハ法律命令ノ執行ヲ抗拒スルカ爲メ當該官吏ノ身體ニ對シテ加害
シタル場合ヲ規定シ本條ハ官吏タル資格ニ屬スル名譽ニ對シテ加害
シタル場合ヲ規定シタルモノナリ故ニ苟クモ官吏タル資格ヲ有スル
者ニ對シテ其名譽ヲ害シタルトキハ本條ヲ適用ス唯々其加害ノ所爲
ハ毫モ官吏タル資格ニ關セス單ニ其人ノ名譽ヲ害シタルニ過キサル
トキハ假令被害者ハ官吏タルモ本條ヲ適用セス
本條ハ二箇ノ官吏侮辱罪ヲ規定シタルモノニシテ即チ形容若クハ言
語ヲ以テ侮辱スルト文書圖書等ヲ以テ侮辱スルトノ二者是レナリ第
一項左ノ四條件ニヨリテ成立ス第一官吏ノ職務ニ對スルコトヲ要ス

第二官吏ノ目前ニ於テスルコトヲ要ス第三官吏ヲ侮辱スルコトヲ要ス第四侮辱ハ形容若クハ言語ヲ以テスルコトヲ要ス
 第一官吏ノ職務ニ對スルコト 官吏ノ職務ニ對スルトハ如何ナル場合ヲ指スヤ例ヘハ行政官カ人民ニ對シテ或ル指令ヲ爲シ又ハ裁判官カ訴訟ヲ審理シテ之ヲ裁判スル場合等ニ於テ其指令ハ壓制ナリトシテ罵詈訶其裁判ハ殘酷ナリトシテ誹謗スルノ類ヲ謂フ乎職務其者ニ對シテ侮辱スル場合ハ是等ノ所爲ニ過キサルヘクシテ實際ハ絶無ナルカ如クナレトモ又々儘ナギニシモアラス故ニ之ヲ罰スルノ規定ヲ設スルハ必要ナリトスルモ其區域甚々狹隘ニシテ官吏ノ資格及ヒ官吏ノ資格ヲ以テ職務ヲ行フ者ニ對シテ侮辱スル者ハ本條ヲ以テ罰スルコトヲ得サルノ不都合ヲ生ス何トナレハ本條ノ目的ハ官吏ヲ保護スルニ在ルニモ拘ハラス唯々其職務ニ對シテ侮辱シタル者ノミヲ罰シ

官吏ノ資格又ハ官吏ノ資格ヲ以テ職務ヲ行フ者ニ對シテ侮辱シタル者ハ措テ問ハスト云フニ至テハ前後矛盾ノ結果ヲ免レサレハナリ況ンヤ職務其者ニ對シテ侮辱スル者ハ幾ント絶無ニシテ官吏ノ資格及ヒ官吏ノ資格ヲ以テ職務ヲ行フ者ニ對シテ侮辱スル者居多ナルニ於テオヤ既ニ職務其者ニ對シテ侮辱シタル者ハ之ヲ罰スヘシトセハ官吏ノ資格及ヒ官吏ノ資格ヲ以テ職務ヲ行フ者ニ對シテ侮辱シタル者ハ最モ之ヲ罰セサルヘカラス官吏ハ立法行政司法ノ別ヲ問ハス政府ヲ代表シ公權ヲ行フ者ナリ然ルニ之ニ對シテ侮辱スルモノハ嘗タニ官吏其人ノ名譽ヲ毀損スルノミナラス公權ヲ蔑如スルモノナリ國家ノ公權ニシテ之ヲ蔑如スルモ尙ホ措テ問ハストセハ又何ヲ以テ社會ノ秩序安寧ヲ保維センヤ遂ニ官府ノ威嚴ハ蹂躪セラル、ニ至ルヘシ故ニ草案第六十九條ニハ「官吏ノ職務ヲ行フニ當リ又ハ其職務上ニ

對シ形容若クハ言語ヲ以テ公然不敬ノ所爲アル者云々ノ明文ヲ掲ケ
 唯々官吏ノ職務上ニ對シテ侮辱シタル者ヲ罰スルノミナラス官吏ノ
 職務ヲ行フニ當リ侮辱シタル者ヲモ罰シ即チ官吏ノ資格及ヒ官吏ノ
 資格ヲ以テ職務ヲ行フ者ニ對シテ侮辱スル者ハ總テ之ヲ罰セシメン
 トセリ立法者カ之ニ修正ヲ加フルニ及ヒ單ニ職務ニ對シ云々ト改メ
 草案ノ大半ヲ削除シタルハ蓋シ何等ノ理由ニ出ルヤ得テ知ルヘカラ
 スト雖モ立法者ノ意思モ亦官吏ノ資格及ヒ官吏ノ資格ヲ以テ職務ヲ
 行フ者ニ對シテ侮辱スル者ヲ罰スルニ在ルヤ敢テ疑ヒテ容レサルヘ
 シ何トナレハ若シ立法者ノ意思他ニ在リトセハ予ハ本條ヲ設クルノ
 必要アルヲ知ラサレハナリ故ニ本條ノ法文ハ單ニ職務其者ニ對シテ
 侮辱シタル者ノミヲ罰スルニ止ルカ如シト雖モ法理上ヨリ官吏ノ資
 格及ヒ官吏ノ資格ヲ以テ職務ヲ行フ者ニ對シテ侮辱シタル者ヲ罰ス

ルノ意味ニ解釋セサルヘカラサルナリ
 前述ノ如ク解釋スレハ官吏タル資格ヲ有シ職務ヲ行フ者ニ對シテ侮
 辱シタルトキハ其官ノ何タルヲ問ハス當然本條ヲ適用シテ可ナリト
 信ス又官吏ノ資格ニ對シテ侮辱シタル者ヲ罰ストセン乎其侮辱ハ官
 署内ニ於テシタルト官署外ニ於テシタルトヲ問ハス苟クモ其資格ニ
 對シテ侮辱シタルトキハ本條ノ處罰ヲ免レヌ例ヘハ途上ニ於テ内閣
 員ニ對シ虐政ヲ行ヒ人民ヲ惱マスト誣言シテ之ヲ侮辱シ又ハ裁判官
 ニ對シ賄賂ヲ貪リ法ヲ枉ケタリト罵詈シテ之ヲ侮辱シタルトキノ如
 キ是レナリ之ヲ要スルニ官吏ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ侮辱ノ關ス
 ル所其職務上ニ係ルト否トヲ問ハス又其職務上ニ關シテ侮辱シタル
 トキハ職務ヲ行フ場合ナルト否トヲ問ハス總テ本條ヲ適用セサルヘ
 カラス唯々一個人トシテ侮辱シタルトキハ被害者ハ官吏タルノ故チ

以テ本條ヲ適用スルコトヲ得ス例ハ官吏ニ對シ其醜行ヲ訴ヘテ之ヲ侮辱シ又ハ愚弄嘲罵シテ之ヲ侮辱シタル場合ノ如シ是等ノ所爲ハ官吏ノ資格ニ對シテ侮辱シタルニアラサルヲ以テ普通ノ誹毀罪ニ問フヘキモノトス

第二官吏ノ目前ニ於テスルコト 官吏ノ目前ニ於テストハ官吏ト相對シタルトキノ謂ヒタルヲ以テ面接シテ侮辱シタルニアラサレハ本條ノ罪ハ成立セサルナリ然レモ目前ノ文字ハ近接ノ意味ニ由來スルヲ以テ必シモ面ト面ト相對スル場合ニ於テノミ侮辱罪成立スト云フニアラス換言スレハ官吏ノ現在スル處ト云フニ異ナラス然ラサレハ目以テ見ルヘク耳以テ聞クヘキ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スルモ罪ト爲ラサルノ不都合ヲ生スルニ至ルヘシ例ハ戶外若クハ人ノ背後ニ立テ侮辱シタル場合ノ如キハ假令大聲ヲ發シテ罵詈嘲弄スルモ之

ヲ罰スルコトヲ得サルヘシ故ニ目前ノ二字ハ廣ク之ヲ解釋シ官吏ノ現在スル處ニ於テ侮辱スル者ハ面接スルト否トヲ問ハズ本條ヲ適用スヘキモノト思考セサルヘカラス
目前ノ意味ハ畢竟スルニ近接ノ謂ヒタルニ外ナラサルヲ以テ日本官吏ハ痴愚ナリ無識ナリト放言スルカ如キハ侮辱罪ヲ成立セシムヘキニアラス何トナレハ其侮辱ハ漠然タルノミナラス或ル官吏ニ面接シテ侮辱ヲ加ヘタルニアラサレハナリ又假令目前ニ於テスルモ公然侮辱スルニアラサレハ其罪成立セス即チ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタルノ所爲ハ獨リ面接シタル官吏ノミ之ヲ認メタルニアラス傍ラニ人アリテ之ヲ認メタルヲ要ス法庭ニ於テ裁判官ヲ侮辱シ警察署ニ於テ警察官ヲ侮辱シタルカ如キ是レナリ官署外ニ於テ侮辱シタリトキト雖モ第三者ノ傍ラニ在ルヲ要ス何レノ場所ト雖モ第三者アラサル

トキハ侮辱罪ハ決シテ成立セサルナリ是レ他ナシ侮辱ハ官吏ノ名譽ト政府ノ威嚴トヲ損害スルヲ以テ其罪ヲ成立セシムルモ畢竟スルニ被害者ハ第三者トノ間ニ於ケル毀譽褒貶ノ關係ニ因テ侮辱其者ヲ成立セシムルモノナレハナリ二人相對スルモノミニシテ第三者アラサルトキハ假令何等ノ誹毀譏謗若クハ罵詈訕弄ヲ爲スモ名譽威嚴ハ毫モ損害セラレサルナリ何トナレハ其侮辱ハ唯々被害者ト加害者トノ間ニ認メラル、ノミニシテ第三者ニ對シテハ其名譽ト威嚴ハ依然トシテ存在シ第三者ノ我ニ對スル待遇ニ影響セサレハナリ第三者ノ我ニ對スル待遇ニシテ毫モ影響ヲ受ケサル以上ハ侮辱其者ハ存セサルハ是レ侮辱罪ノ性質ノ然ラシムル所ニシテ法理上亦然ルヘキモノトス是レ草案ニ公然不敬云々ノ明文ヲ掲ケタル所以ニシテ今之ヲ削除スト雖モ公然侮辱シタルニアラサレハ本條ノ罪ハ成立セサルナリ

目前云々ニ就テ尙ホ一ノ疑問アリ距離遠隔ノ地ニ於テスルモ書柬等ヲ送致シテ侮辱シタルノ所爲ハ本罪ノ成立スヘキヤ否ヤノ問題はレナリ文書ヲ送テ侮辱スルモノハ侮辱シタルノ事實ハ明確ナリトスルモ猶ホ是レ公然ニ侮辱シタリト云フヲ得ス故ニ侮辱罪ハ成立セサルナリ何トナレハ侮辱ノ事項ヲ文字ニ寫シテ明確ナラシムルト雖モ之ヲ知ル者ハ唯一ノ被害者ノミナルヲ以テ其名譽威嚴ハ毫モ毀損セラレサレハナリ即チ成文上侮辱ハ形容若クハ言語ノ一ヲ以テスルトキニ於テノミ成立スルコトヲ明示シ文書ヲ以テスル場合ヲ規定セサルナリ故ニ文書ヲ以テスルモノハ唯々之ヲ郵送シタル所爲ヲ罰セサルノミナラス假令ハ官吏ノ面前ニ於テスルモ罪ト爲ラス然レモ文書ヲ以テ侮辱スルモノモ亦其方法ニ因リ多少侮辱ノ結果ヲ生スル場合ナシトスヘカラス例ヘハ同一ノ侮辱事項ヲ筆寫シテ之ヲ配布スルカ

如キ是レナリ文書ヲ以テ侮辱スルモノハ之ヲ刊行スルニアラサレハ其罪成立セサルハ第二項ノ規定ニ於テ明カナリ故ニ刊行ニ換フルニ筆寫ヲ以テスルモノハ假令ヘ數千百枚ヲ配布スルモ本條ヲ適用スルコトヲ得ス亦是レ法律不備ノ一結果タルカ如シ

文書ヲ以テ侮辱スルモノニ就テハ佛國刑法モ亦嘗テ之ヲ規定セサリシヲ以テ往々之ヲ實行スルニ至リ或ル論者ハ以テ官權ヲ蔑如シ威嚴ヲ毀損スルモノナリ宜ク之ヲ罰スヘシト主張シタリト雖モ當時ノ輿論ハ之ヲ排却シ文書ヲ以テ侮辱スルモノ、如キハ元是レ卑劣ノ所爲ニシテ獨リ小人輩ノ爲ス所タルニ過キサレハ未ダ以テ名譽威嚴ヲ毀損スルニ足ラサルナリ故ニ之ヲ法律ニ問フノ價値ナシ寧ロ之ヲ不問ニ付シテ自ラ反省セシムルニ如カスト此說竟ニ採用セラレタリト雖モ後其弊害甚シキニ至リ已ムヲ得スシテ之ヲ罰スルコト、ナレリ是

ヲ以テ論者ハ文書ヲ以テ侮辱スルモノモ亦之ヲ罰スヘシト曰ク文書ヲ以テスルモノハ形容若クハ言語ヲ以テスルモノヨリモ其罪重シト云ハサルヘカラス何トナレハ形容若クハ言語ヲ以テスルモノハ概ネ一時ノ感情ニ誘ハレ唐突輕忽ニ出ルニアラサルハナシ文書ヲ以テスルモノハ然ラス熟考深慮ノ後ニ於テスルヲ以テ其惡意ハ一層大ナリト云ハサルヘカラス然ルニ唐突輕忽ニ出ルモノハ之ヲ罰シ熟考深慮ニ出ルモノハ却テ之ヲ不問ニ付スルハ權衡ヲ失スルモ亦甚シ故ニ文書ヲ以テスルモノモ亦之ヲ罰シテ可ナリト此說洵ニ理アリ然レモ文書ヲ以テスルモノハ皆之ヲ罰スヘシトセハ侮辱罪ノ性質ニ於テ其當ヲ失スト云ハサルヘカラス何トナレハ一片ノ郵書ヲ送テ侮辱シタルモノ、如キハ第三者ノ與リ知ラサル所ナルヲ以テ公然侮辱シタルモノト云フヲ得サレハナリ故ニ予キ以テ視レハ文書ヲ以テスルモノハ

其刊行シタルト否トヲ問ハス之ヲ被害者以外ニ配布シタルトキニ於テ侮辱罪ヲ成立セシムルヲ以テ其當ヲ得タリト信ス改正草案者モ亦其配布ヲ以テ侮辱罪成立ノ一條件ト爲サントスルモノ、如ク然リ

第三官吏ヲ侮辱スルコト 官吏トハ如何ナル地位ニ居リ如何ナル資格ヲ有スル者ノ謂ヒナルヤハ第三十一條第二號ノ下ニ於テ既ニ説明シタルヲ以テ爰ニ贅セスト雖モ官吏トハ單ニ官廳ニ出テ、職務ヲ行フ者ノミナラス今日ハ公吏議員モ亦包含スルモノト思考セサルヘカラス而シテ官吏ヲ侮辱ストハ侮辱セラレタル者ハ必ス官吏タルコトヲ要スト云フニ外ナラス官吏ナラサル者ヲ侮辱シタルトキハ本條ノ間フ所ニアラス又官吏タリト雖モ官署外ニ於テ一個人トシテ之ヲ侮辱シタルニ過キサルトキハ亦本條ヲ適用セス何トナレハ官吏ノ職務ニ對シテ侮辱シタルニアラサレハナリ

第四形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スルコト 侮辱ハ官吏ノ名譽及ヒ政府ノ威嚴ヲ毀損スルニ足ルヘキノ所爲ヲ謂フニ外ナラス本條ハ之ヲ二箇ニ區別シ形容若クハ言語ノ二者トセリ形容トハ例ヘハ殴打又ハ蹴倒スルカ如キノ狀ヲ倣シ又言語トハ痴愚ト罵リ酷吏ト詈ルカ如キモノニシテ手足ヲ籍リテ愚弄シ口舌ヲ以テ誹毀スルノ所爲ハ公然之ヲ爲スニ因テ侮辱ト爲リ本條ヲ以テ罰スヘキモノトス要スルニ形容若クハ言語ハ官吏ヲ侮辱スルノ方法タルニ過キササルヲ以テ苟クモ官吏ノ資格及ヒ官吏ノ資格ヲ以テ職務ヲ行フ場合ニ於テ之ヲ行フトキハ其形容若クハ言語ハ職務上ノ秘密ヲ摘發スルト品行上ノ醜事ヲ許クトヲ問ハサルハ勿論何等ノ事項ニ係ルモ侮辱罪ハ成立ス

本條第一項ノ意義ハ以上ノ講述ヲ以テ其要領ヲ了解スルニ足ルヘシト信ス故ニ是レヨリ第二項ニ講入スヘキナリ予ハ先ツ第二項ノ罪ヲ

構成スルニ就キ第一項ニ要スル條件ハ悉ク皆之ヲ要スルヤ否ヤヲ觀
 ルニ第一ノ官吏ノ職務ニ對スルト第三ノ官吏ヲ侮辱スルトノ二條件
 ナ要スルノミニシテ第二ノ官吏ノ目前ニ於テスルト第四ノ形容若ク
 ハ言語トハ之ヲ要セス然レ他ニ一ノ條件ヲ要セリ即チ刊行ノ文書
 圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テスルコト是レナリ此一條件ハ第二項ノ罪
 ナ構成スルニ欠クヘカラサルモノトス而シテ此條件ノ存スルトキハ
 官吏ノ目前ニ於テスルコトヲ要セサレトキハ「其目前ニ非スト雖モ」ト
 アルヲ以テ知ルヘシト雖モ此法文ノ意味ハ目前ニ於テスルトキハ其
 罪成立セスト云フニアラス目前ニ於テスルトキハ勿論目前ニ於テセ
 サルトキト雖モ亦其罪成立スト云フニ在リ故ニ刊行文書圖畫又ハ公
 然ノ演說ヲ以テスルトキハ何レノ場合ト雖モ侮辱罪成立スルモノト
 解釋セサルヘカラス

刊行ノ文書圖畫トハ活版石版銅版木版及ヒ蒔莢版等ヲ以テ印刷シタ
 ル文書圖畫ノ謂ヒニシテ是等ノモノハ廣ク配布シ易ク隨テ名譽威嚴
 ナ毀損スルノ結果ヲ生スルヲ以テ既ニ之ヲ刊行シタルトキハ官吏ノ
 目前ニ於テスルニアラスト雖モ侮辱罪ヲ構成シ第一項ノ罪ト同一ノ
 刑ヲ以テ之ヲ罰スヘキモノトス文書圖畫ニ就テハ前段既ニ説明シタ
 ルカ如ク筆寫ニ成レルモノト雖モ數千百枚ヲ配布スルトキハ刊行シ
 タルモノト同一ノ結果ヲ生スル場合アリト雖モ本條ヲ適用スルコト
 ナ得ス故ニ法網ヲ脱セントスル者ハ故ラニ刊行方法ニ依ラズ若干紙
 ニ筆寫シテ之ヲ各人ニ配布スルノミナラス公衆ノ目ニ觸レ易キ壁上
 又ハ板塀等ニ帖布スルモノアリ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スルモノ
 ハ之ヲ罰シ斯ノ如キ狡猾手段ニ依ルモノハ公然侮辱ヲ爲スト雖モ之
 ナ不問ニ付スルハ權衡ヲ失スルノ甚シキモノニシテ之ヲ要スルニ法

律ノ欠點ト云ハサルヘカラス是等ノ點ニ就テハ改正草案ヲ論スルト
 キニ於テ詳論スヘキナリ
 公然ノ演説トハ公衆ニ對シタル演説ノ謂ヒニシテ此演説ヲ以テ侮辱
 シタルモノハ刊行ノ文書圖書ヲ以テスルモノト同ク侮辱罪ヲ成立ス
 然レモ公然ノ意味ハ範圍甚ダ廣ク且ツ公然ニ似テ公然ナラサル場合
 ト公然ナラサルカ如クニシテ公然ナル場合アリ會場ヲ定メ之ヲ豫告
 シテ演説スルモノハ純然タル公然ノ演説ニシテ豫告セスシテ開會ス
 ルモノト雖モ公衆ニ對シテ演説シタルモノハ總テ公然ノ演説ト認め
 サルヘカラス然レモ公然ト否トハ傍聽者ノ多寡ニ關スルニアラス親
 族朋友等ノ集會シタル席ニ於テ演説シタルモノ、如キハ公然タルモ
 ノト認めムルコトヲ得ス何トナレハ面識ナキ者ノ現在セサル集會ハ一
 家ノ會合ト同視スヘキモノナレハナリ故ニ懇親會ノ席上等ニ於テ爲

シタル演説ハ朋友知己ノ集會タルニ過キサレハ假令多人數集會スル
 モ法理上公然タルモノト認めムルコトヲ得ス之ニ反シテ僅々ノ人員集
 ルニ過キササルモ曾テ面識ナキ者ナルトキハ之ニ對シテ爲シタル演説
 ハ公然タルモノト認めサルヘカラス之ヲ要スルニ公然タルモノト認
 ムルト否トハ裁判官ニ一任スルヲ以テ其認定如何ニ在リト知ルヘシ
 本條ノ侮辱之ヲ列擧スレハ形容言語及ヒ刊行ノ文書圖書又ハ公然ノ
 演説ヲ以テスルモノニ過キス是レ論者ノ非難ヲ免レサル規定ニシテ
 實ニ欠點ト認めヘキモノ少カラス故ニ改正草案者ハ其欠點ヲ補ハン
 トシテ數箇ノ條件ヲ添附シタリ讀者ノ爲メ其二三ノ欠點ヲ左ニ掲ケ
 テ之ヲ略説スヘシ
 普通ノ誹毀罪ハ第三百五十八條ノ規定ニ依レハ唯ダニ刊行ノ文書圖
 書又ハ公然ノ演説ヲ以テ誹毀シタルノ所爲ヲ罰スルノミナラス雜劇

偶像ヲ作為シテ誹毀シタルノ所爲ヲモ罰スルハ同條第二號ノ規定スル所ナリ形容言語ヲ以テ侮辱スルモノト雜劇偶像ヲ以テスルモノト孰レカ最モ惡ムヘキヤ雜劇偶像ヲ以テスルモノハ其惡意一層深シト云ハサルヘカス何トナレハ雜劇偶像ヲ以テスルモノハ一時ノ感情ニ出ルニアラス熟考深慮ノ結果ニ出ルヲ以テナリ然ルニ本條ハ之ヲ規定セズ侮辱罪ノ規定ハ官吏ヲ保護スルニ在ルニ拘ハラズ雜劇偶像ヲ以テ侮辱スルモノハ措テ問ハスト云フカ如キハ保護ノ實ヲ失スルモノト云ハサルヘカラス故ニ刊行セサル文書圖書ヲ配布シテ侮辱スルモノト雜劇偶像ヲ以テ侮辱スルモノトノ二者ハ之ヲ侮辱罪中ニ編入スルハ官吏ノ名譽ト政府ノ威嚴トヲ保護スルニ就キ甚ダ必要ナルヲ信スルナリ改正草案者モ亦此二點ニ注目シ本法ノ改正ヲ待テ之ヲ侮辱罪トシテ規定セント欲スルハ亦洵ニ故アリト云フヘシ

刊行セサル文書圖書及ヒ雜劇偶像ヲ以テ侮辱スルモノハ官吏ノ職務ニ對シテ之ヲ爲スト雖モ其明文アラサルヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得サルハ明カナリ然レモ第三百五十八條第二號ノ規定ニ照シ誹毀罪トシテ之ヲ論スルトキハ其罪成立スヘキハ敢テ疑ヒテ容レサルヘシ唯タ本條ノ侮辱罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ論スルニアラス當然公訴ニ因テ其罪成立スルト第三百五十八條ノ誹毀罪ハ被害者ノ告訴ヲ要スルトノ區別アルニ過キスシテ官吏ノ資格ヲ有スル者ト雖モ普通ノ權利ヲ失フニアラス唯タ告訴ノ手續ヲ要スルノミニシテ名譽ヲ回復スルコトヲ得ヘシト思考ス或ル論者ハ之ヲ非難シ本條ハ單ニ官吏ヲ保護スルニ在ルヲ以テ其職務ニ對シテ侮辱シタル者ヲ罰スルノミ苟クモ本條ニ明示セサルノ所爲ハ縱令ヘ誹毀ノ結果ヲ免レサルモ之ヲ普通ノ誹毀罪ニ問フコトヲ得スト此說ヤ本條ニ拘泥シテ法理ヲ誤ルモノ

ト云ハサルヲ得ス本條ハ官吏ノ名譽ト政府ノ威嚴トヲ保護スルノ目的ニ出ルハ明カナリト雖モ本條ヲ以テ普通ノ權利ヲ抹殺スルノ謂ハレナシ官吏ノ資格ヲ有スル者ハ普通ノ權利ノミヲ有スルニ止ラス其官吏タル資格ニ對シテモ亦特別ノ保護ヲ受クルト云フニ過キス豈ニ官吏タルノ故ヲ以テ普通ノ權利ヲ喪失スルノ理アラシヤ故ニ刊行セサル文書圖書又ハ雜劇偶像ヲ以テ侮辱シタル者ハ唯ダ本條ヲ適用スルコトヲ得サルノミ第三百五十八條ヲ適用スルコトヲ得ルト斷言スルニ躊躇セサルヘシ

既ニ第三百五十八條ハ官吏ノ職務ニ對シテ誹毀シタル者ニモ適用スヘシトスル乎其名譽ヲ回復シ得ヘキカ故ニ特ニ之ヲ侮辱罪中ニ規定スルノ必要ナキカ如シト雖モ本條ノ刑ト第三百五十八條トハ輕重ノ差アルヲ以テ到底權衡ヲ失スルノ結果ヲ免レス本條ノ侮辱罪ヲ罰ス

ルニハ一月以上一年以下ノ重禁錮ト五圓以上五十圓以下ノ罰金附加トヲ以テス第三百五十八條第二號ノ誹毀罪ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ヲ以テ之ヲ罰スルニ過キス附加ノ罰金ハ彼此同一額ナリト雖モ躰刑ニ至テハ短期ニ於テハ十五日長期ニ於テハ六月ノ大差アリ由テ觀レハ誹毀罪ノ刑ハ侮辱罪ノ刑ノ半ハチ科スルニ過キス同ク是レ侮辱ヲ加ヘタリト雖モ形容言語又ハ刊行ノ文書圖書若クハ公然ノ演說ヲ以テスルモノハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處セラレ刊行セサル文書圖書又ハ雜劇偶像ヲ以テスルモノハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ止ラシムルモノハ實ニ權衡ヲ失スト云ハサルヘカラス況ンヤ雜劇偶像ヲ以テスルモノハ之ヲ形容言語ヲ以テスルモノニ比スレハ其惡意一層大ナルニ於テオヤ故ニ雜劇偶像ヲ以テスルモノモ亦侮辱罪ヲ以テ之ヲ論シ其權衡ヲ得セシムルハ至當ナリト信ス

又官吏ノ職務ニ對シテ侮辱ヲ加ヘタルモノモ亦普通誹毀罪ト同ク事
 ノ有無ヲ問ハサルハ其當ヲ失スルノ嫌ヒナシトセズ唯ダニ當ヲ失ス
 ルノミナラス時トシテハ官吏ノ不正行爲ヲ保護スルト一般ナル不都
 合ノ結果ヲ來スコトナシトセズ草案ニハ本條ノ侮辱罪ニ就キ事實ノ
 證明ヲ許スノ規定アリ立法者ハ如何ナル意思ヲ以テ之ヲ削除シタル
 ヤ知ルヘカラスト雖モ蓋シ普通ノ誹毀罪ニ對比シテ其權衡ヲ得セシ
 ムルノ旨趣ニ出ルモノ、如シ然レモ普通ノ誹毀罪ト侮辱罪トハ同一
 視スヘキニアラス侮辱罪ハ宿怨ニ出ルモノナキニアラスト雖モ其過
 半ハ不平ニ出ルモノト推測セサルヘカラスト何トナレハ官吏ノ職務執
 行ニ對シテ不當若クハ不正ト思惟スルニアラサハレ侮辱ヲ加フル者
 ナカルヘシト思考スレハナリ果シテ然ラハ侮辱罪ニハ事實ノ證明ヲ
 許シテ可ナルニアラスヤ例ヘハ行政官ニシテ公有財産ニ對シテ不正

ノ行爲アリ又ハ裁判官ニシテ賄賂ヲ收受シテ當事者ノ一方ヲ曲庇シ
 タル事實アリト假定セン乎之ニ對シテ侮辱シタル者モ亦事實ノ有無
 ヲ問ハス侮辱罪ヲ以テ罰スルトキハ官吏カ不正ノ行爲ハ之カ爲メニ
 抹殺セラレテ其非行ヲ遂了スルコトヲ得セシムルニ至ルヘシ斯ノ如
 キハ官吏ヲ保護スルニアラスシテ官吏ノ不正行爲ヲ保護スルノ嫌ヒ
 ナ免レズ是レ豈ニ不都合ナリト云ハサルヘケンヤ斯ノ如キハ政府ノ
 威嚴ヲ保護スルニアラスシテ寧ロ之ヲ失墜スルモノト云フモ亦不可
 ナカルヘシ今之ニ對シテ事實ノ證明ヲ許サン乎其證明ニ因テ官吏ノ
 不正行爲發覺スルトキハ唯ダニ無辜ヲ罰スルノ憂ヒヲ避クルニ於テ
 益アルノミナラス政府ノ公權ヲ汚瀆スルノ弊ヲ防クニ於テモ亦益ア
 リト云フヘシ故ニ侮辱罪ニ關シテ事實ノ證明ヲ許サ、ルハ亦是レ一
 ノ欠點タルヲ免レス況ンヤ今日ハ新聞演說ニ於テモ亦事實ノ證明ヲ

許スニ於テオヤ

論者或ハ云シ乎侮辱罪ニ事實ノ證明ヲ許サハ不正行爲アルノ官吏ヲシテ處罰ヲ脱セシムルノ弊害ヲ防遏スルニ就テハ或ハ益スル所アルヘシト雖モ不正行爲アラサル官吏ニ就テハ毫モ益スル所アラサルノミナラス其事實ヲ證明スルカ爲メ種々ノ事項ヲ引用シ之カ爲メ廉潔ナル官吏ノ名譽ヲ幾分カ毀損スルニ至ルノ憂ヒチ免レス何トナレハ其結局ハ廉潔ニ歸スルハ勿論ナルモ一時信用ヲ害スヘキヲ以テナリ故ニ侮辱罪ニ事實ノ證明ヲ許スハ名譽威嚴ヲ保護スルニ於テ甚ダ不利ナリト此說一理アルカ如シト雖モ不正行爲アラサル官吏ニシテ事實證明ノ爲メ一時名譽ヲ毀損セラル、カ如キノ傾向アルハ其官吏ノ爲メ不利ナルカ如シト雖モ廉潔ハ則チ到底廉潔ナリ假令一時之ヲ掩蔽セラル、カ如キアルモ日ナラスシテ復タ明光ヲ放ツヘキハ言ヲ俟

マサルナリ其不利ヤ僅少ニシテ且ツ後害ナキモノト云フヘシ之ニ反シテ不正行爲ノ事實アル官吏ニシテ事實ノ證明ヲ許サ、ルカ爲メ其非行ヲ遂了スルノ弊害ニ至テハ大ナリト云ハサルヘカラス之カ爲メ止マニ政府ノ公權ヲ汚瀆スルノミナラス人民ニ不利ヲ與フルノ結果ヲ免レス況ンヤ斯ノ如キハ背德ノ責メ之ヲ通常人ニ比スレハ一層大ナルニ於テオヤ之ヲ要スルニ廉潔ナル官吏ノ受クル不利ハ一人ニ止マリ不廉潔ナル官吏カ與フル所ノ不利ハ一般人民ニ影響ス其利害關係ノ相距ルコト豈ニ彼此日ヲ同フシテ論スヘキモノナランヤ故ニ社會ハ一個人ノ不利ヲ措テ一般人民ノ不利ヲ問ハサルヘカラス社會刑罰權ノ性質ニ於テ然ラシメサルヘカラスハ喋々チ俟テ後チ知ラサルナリ予チ以テ之ヲ視レハ普通ノ誹毀罪ニ關シテ事實ノ證明ヲ許サソヨリモ侮辱罪ニ關シテ事實ノ證明ヲ許スハ社會ノ公益ヲ保護スル

カ爲メ最モ必要ナリト信ス故ニ侮辱罪ニ事實ノ證明ヲ許スノ規定ナ
 キハ亦是レ一ノ欠點トシテ早晚之ヲ補ハサルヘカラサルナリ
 又本條ハ官吏ノ職務ニ對シテ侮辱シタルモノヲ罰スルニ止リ官署ニ
 對シテ侮辱シタルモノニハ本條ヲ適用スルコトヲ得ヘキヤ否ヤハ亦
 是レ一ノ疑問タリ例ヘハ官署ノ門前又ハ官署ノ室内ニ於テ佞官汚吏
 ノ巢窟ナリト罵リ又ハ無智無識ノ偷祿奴輩ナリト嘲ルカ如キ是レナ
 リ侮辱罪ハ政府ノ威嚴ヲ保護スルニ在リトスルノ點ヨリ之ヲ論スル
 トキハ官署ニ對シテ侮辱シタルモノニモ亦本條ヲ適用スヘキハ疑ヒ
 ナ容レサルヘシ草案ニハ官署ニ對シテ侮辱スルノ罪ヲ掲ケシカ立法
 者ハ之ヲ削除セラレタリト雖モ立法者ノ意思ハ其官署ノ文字ヲ削除
 シタルハ蓋シ官吏ト云ヒハ當然官署ヲモ包含スルモノト看做シタル
 ニ外ナラス官吏ハ其職務ヲ行フニ當リテハ其官署ヲ代表スルヲ以テ

其官吏ニ對シテ侮辱シタルモノハ官署ヲ侮辱シタルニ異ナラス此理
 ナ以テ推スルハ官署ニ對シテ侮辱シタルモノハ當然本條ヲ適用セザ
 ルヘカラス又實際ノ裁判例ニ於テモ官署ニ對シテ侮辱シタルモノヲ
 侮辱罪ニ問フモノ、如シ既ニ某新聞紙カ衆議院ニ對シ刊行ノ文書ヲ
 以テ侮辱ヲ加ヘタルノ新例アリ故ニ官署ニ對シテ侮辱シタルノ所爲
 ハ官吏ノ職務ニ對シテ侮辱シタルト同一ニ論シ本條ヲ適用スヘキモ
 ノト論決シテ不可ナキヲ信ス

(改正草案)改正草案者ハ抗拒罪ト侮辱罪トヲ區別シ之ヲ一節中ニ併
 掲セズ特ニ官ニ抗スル罪ヲ規定シ其第一節ニ官吏公吏議員ノ職務
 ナ行フヲ妨害スル罪ヲ掲ケ其第二節ニ官吏公吏議員ヲ侮辱スル罪
 ナ掲ケラレタリ此區別ハ其當ヲ得タリトスヘシ職務ノ執行ヲ妨害
 スルノ所爲ト官吏ヲ侮辱スルノ所爲トハ全ク罪ノ性質ヲ異ニスル

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三節 靜謐ヲ害スル罪 二百六十七
 第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

ヲ以テ之ヲ一節中ニ併掲スルハ混同錯雜ノ嫌ヒチ免レスシテ現行
 法ハ簡略ニ失スルモノト云ハサルヘカラス況ンヤ今日ハ公吏ナル
 モノチ生シ又議員ナルモノ出ルヲ以テ妨害罪ト侮辱罪トチ區別シ
 テ之ヲ規定スルハ唯タニ立法上ノ混同錯雜チ避ルノミナラス時ノ
 必要ニ於テ然ラシメサルヘカラサルナリ
 現行法ハ職務妨害罪ニ於テ法律命令ノ執行ニ對シテ暴行脅迫チ行
 フ者チ罰スルニ止マリ公事ニ關シ官署公署ニ對シテ暴行脅迫チ行
 フ者チ罰スルノ規定ナシ亦是レ一ノ欠點タルチ免レス殊ニ議會ノ
 開設アル今日ニ於テハ往々多衆チ聚合シテ議會ニ對シ暴行脅迫チ
 加フルカ如キモノチ出スナキチ保スヘカラス故ニ改正草案者ハ左
 ノ法文チ掲ケ以テ是等ノ欠點チ補ハントス

第一百五十三條 多衆チ集合シテ公事ニ關シ官署公署議會ニ對シ

暴行脅迫チ爲シタル者ハ云々

此規定ハ甚々必要ナリ人智ノ發達ニ從ヒ政治思想モ亦發達スヘキ
 ハ理勢ノ然ラシムル所ナリ隨テ又官署公署又ハ議會ニ對シ公事ニ
 關シテ暴行脅迫チ爲スノ憂ヒナシトセス故ニ之レカ規定チ設クル
 ハ時ノ必要ニ於テ當チ得タリトス且ツ單ニ官吏ノ職務執行ニ對シ
 テ妨害チ加フルモノチ罰シ公事ニ關シテ暴行脅迫チ爲スモノハ之
 チ普通ノ脅迫罪ニ問フハ權衡チ失スト云ハサルヘカラス故ニ此規
 定チ設クルハ時ノ必要ニ感スルト法ノ欠點チ補フトニ於テ必要ナ
 リト信ス

又現行法ハ暴行脅迫チ罰スト雖モ兇器チ攜帶スル者ト否トチ區別
 セス之ヲ同一ノ刑ニ處スルハ亦是權衡チ得タリト云フチ得ス兇器
 チ攜帶スル者ハ唯タニ危險ノ存スルノミナラス罪チ犯シ易クシテ

防キ難シ故ニ其刑ハ一等加重スヘキハ當然タリ是レ予カ既ニ論出
 スル所ニシテ改正草案者モ亦兇器ヲ携帯スル者ハ一等加重スルノ
 制ニ改メントス又三人以上共謀シテ犯シタルトキモ亦加重例ヲ適
 用セントス共犯ハ亦是レ犯シ易フシテ防キ難シ故ニ一等加重スル
 ハ其當ヲ得タリトスヘシ
 又現行法ハ官吏ヲ毆打創傷シタル者ハ各本條ニ照シ一等ヲ加フル
 モ故殺ニ關スル規定ナキハ亦是レ權衡ヲ失スルノ嫌ヒアルハ既ニ
 之ヲ論述セリ改正草案者モ亦現行法ノ當ヲ得サルニ注目シ毆打創
 傷ノ規定ニ於テ「官吏公吏議員ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス」ノ明文
 チ掲ケ以テ其權衡ヲ得セシメントス現行法ニ於テ毆打創傷ニハ一
 等加重スルニ拘ハラス故殺ニハ加ヘテ死刑ニ入ルコトヲ得サルヲ
 以テ普通ノ故殺罪ニ問ハシムルハ實ニ權衡ヲ失スルノ嫌ヒアルヲ

免レス故ニ死刑ヲ用ユルハ固ヨリ望ム所ニアラスト雖モ既ニ毆打
 創傷ニ加重スル以上ハ故殺モ亦一等加重スルノ旨趣ヲ以テ之ヲ死
 刑ニ處スルハ己ムヲ得サルノ改正ナリトス
 改正草案者ハ侮辱罪ニ關シテモ亦大ニ改正ヲ加ヘントシテ曰ク現
 行法第四百十一條ニ依レハ官吏ノ目前ニ非サル侮辱ニ就テハ刊行
 ノ文書圖畫ヲ以テ侮辱シタル者ヲ罪トシ刊行ニアラサル者ハ之ヲ
 不問ニ措キタルカ如シ誹毀罪ニ就テハ文書圖畫ヲ以テスル者ハ刊
 行シタルト否トナ同ハサルニ獨リ官吏侮辱罪ノミ刊行ノ文書圖畫
 ヲ要ストスルハ現行法ノ缺點ニ屬シ其間ニ罪ノ有無ヲ區別スヘキ
 ノ理ナキヤ明カナリ故ニ之ヲ修補セサルヘカラス又官吏公吏等ニ
 對シ其職務上ノ不法アリトシテ指摘シタル場合ニ於テ果シテ其事
 實アリトセハ之ヲ世上ニ發表シテ公衆ノ注意ヲ惹クハ當然ノ事ニ

シテ固ヨリ罪トシテ論スヘキモノニアラス故ニ此場合ニ於テハ新聞紙條例ニ於ケルカ如ク事實ノ證明ヲ許シ其證明ヲ爲シ得サルトキ始メテ之ヲ侮辱罪トシテ處分スルヲ至當トス故ニ此規定ヲ新設スルハ甚ダ必要ナリト右二箇ノモノハ早晚之ヲ刑法上ニ規定セサルヘカラサルハ學說ノ歸向スル所ニシテ予モ亦既ニ之ヲ詳論セリ故ニ予ハ此二箇ノ規定ヲ設クルハ最モ贊成スヘキ所ナルノミナラス法理上之ヲ設ケサルヘカラサルヲ信シテ疑ハス而シテ改正草案者ハ其第五百五十六條ニ於テ侮辱罪ヲ規定シ「文書圖書又ハ偶像ヲ配布シ販賣シ公衆ノ縦覽ニ供シ若クハ數人ニ示シ又ハ雜劇ヲ演シテ犯シタルトキ」ノ一項ヲ加ヘタリ是レ實ニ現行法ノ缺點ヲ補修スルモノナリ而シテ事實ノ證明ヲ許スニ就テハ「官吏公吏議員ニ對シ其職務上不法ノ所爲アリトシテ指摘シタル者事實ヲ證明スルコト能

ハサルトキ云々」ノ明文ヲ掲ケントス亦是レ必要ノ修正ナリ又改正草案者ハ官署公署又ハ議會ニ對スル侮辱ヲモ規定シ左ノ條文ヲ設ケントス

第五百五十八條 官署公署又ハ議會ニ對シ前二條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本刑ニ一等ヲ加フ

本條ノ罪ハ其官署公署又ハ議會ノ許諾アルニ非レハ訴追スルコトヲ得ス

現行法第四百一十一條ニ依ルモ官署公署等ニ對シテ侮辱シタル者ハ罪トシ論スヘキハ既ニ説明シタリト雖モ法文ノ正面ヨリ論スルトキハ官吏ノ職務ニ對シ云々トアルニ過キサルヲ以テ其適用上ニ於テ往々疑義ヲ生シ易シ故ニ官署公署又ハ議會云々ノ明文ヲ掲クルハ一層之ヲ明瞭ナラシムヘクシテ此補修モ亦必要ナリト信ス

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スルノ罪ヲ以テ靜謐ヲ害スル罪ノ一トシテ之ヲ本節ニ規定セラレタルハ蓋シ内ニシテハ法律ノ執行ヲ蔑如シ外ニシテハ社會ニ危險ヲ生スルヲ以テナリ本節ニ掲クル罪ハ此二罪ニ止ラス囚徒ヲ逃走セシムル罪ヲモ掲ケラレタリ要スルニ本節ノ罪ハ囚徒逃走罪人藏匿ニ關スル總テノ犯罪ヲ規定シタルニ外ナラス

第四百二十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六ヶ月以下ノ

重禁錮ニ處ス

若シ獄舎器具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者ハ三
月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

本條ハ囚徒逃走ノ場合ヲ規定シタルニ過キヌト雖モ第一項ノ場合ト
第二項ノ場合トハ其逃走方法ヲ異ニシ隨テ其刑ニ輕重ノ差ヲ生ス第

一項ハ護送又ハ出役ノ際ニ於テ看守又ハ押丁ノ目ヲ偷ンテ逃走シ
又ハ看守若クハ押丁カ怠慢若クハ遺忘ニ因リ獄舎ノ戸扉ヲ放開ニ
付シタルトキ等ニ於テ逃走スル場合ヲ規定シタルモノニシテ此逃走
モ亦罪トシテ之ヲ罰セシム是レ果シテ其當ヲ得タルモノト云フヘキ
乎

已決囚徒ニシテ逃走スル者ハ幾分カ德義上ノ責ヲ免レヌト雖モ之ヲ
シテ法律上ノ責メヲ負ハシムルハ嚴酷ニ失スルノ嫌ヒナキニアラサ
ルカ如シ抑モ不羈自由ノ境界ヲ欲シテ鉄柵圍繞ノ苦楚ヲ厭フハ人生
自然ノ情ナリ是レ止マニ人類ノミ然ルニアラス鳥獸魚介ノ類ト雖モ
亦然リ彼ノ堅牢ナル獄舎ヲ建設シテ周圍ニ丈餘ノ高牆ヲ繞ラシ内ニ
ハ脱スルコトヲ得ス外ニハ越ユルコトヲ得サラシムルモノハ何ソヤ
囚徒ノ逃走ヲ豫防スルカ爲メタルニ外ナラス若シ囚徒ニシテ逃走ス

ル者ナカラシメハ堅牢ナル獄舎ハ無用ノ長物タリ然レ凡人ハ自由ヲ望ミ拘束ヲ厭フノ情アルヲ以テ其爲シ得ヘキノ限リハ如何ナル方法ヲ以テスルモ脱獄セントスルハ囚徒皆然リ否ナ人情ノ常ナリト云ハサルヘカラス偶々從容トシテ死ニ就クカ如キ者ナキニアラスト雖モ此ノ如キハ萬人ニ一人ヲモ望ムヘカラスシテ例外ニ屬スト云ハサルヘカラス果シテ然ラハ囚徒ノ逃走ハ天性ノ然ラシムル所ト云フモ不可ナカルヘシ然ルニ此所爲テ罪トシテ之ヲ罰スルハ果シテ苛酷ノ處分ニアラストスル乎草案起稿者ハ爰ニ視ル所アリテ其第七十二條第一項ニ「已決ノ囚徒獄舎獄具又ハ護送器具ヲ破壊シテ逃走シタル者ノ明文ヲ掲ケ其之ヲ罰スルハ破壊手段ヲ用キタルトキニ限ラシメ本條第一項ノ場合ハ之ヲ規定セス蓋シ是レ萬人ニ望ムニ僅カニ一人ニ望ムヘキノ例外的事ヲ以テスルハ酷ニ過ルヲ以テナリ改正草案者モ

亦本條第一項ヲ以テ苛酷ノ處分ト做シ之ヲ削除セントセリ實ニ是レ開明ノ今日ニ存セシムヘキノ利アラスト思考ス

第二項ハ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ逃走シタル場合ナルヲ以テ之ヲ罰スルハ至當ニシテ論スヘキノ點ナシ

本條ハ無期刑ノ囚徒ニ對シテハ執行スルコト能ハサルノ規定ナリト雖モ裁判官ハ本條ノ規定ニ從ヒ其逃走ニ際シテハ逃走罪ヲ宣告セサルヘカラス此場合ニ於テハ之ヲ執行スルコト能ハリルヲ以テ監獄則ニ照シテ懲戒スヘキモノトス故ニ無期刑ノ囚徒逃走ニ就テハ一方ニハ逃走罪ヲ成立シ他ノ一方ニハ懲戒處分ヲ受ケ宛カモ一罪ニシテ二箇ノ刑ヲ受クルカ如キノ奇觀ヲ呈スト雖モ是レ己ムヲ得サルノ結果ナリトス

第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論セ

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 辯護ヲ害スル罪
第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

ス其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス
 本條ニ所謂己決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スモ再犯ヲ以テ論セストハ逃走
 罪ヲ以テ再犯ト看做スヘカラスト云フノ意味ナル乎曰ク然ラス逃走
 罪ハ必ズ前ニ一罪ヲ犯シ其刑期中ニ在ル者ニシテ逃走シタルトキニ
 於テ成立スルモノナリ故ニ再犯タルコト論テ俟タス逃走罪ハ既ニ裁
 判確定シタル罪ニ對シテ再犯タリ然ラハ再犯ヲ以テ論セストノ法文
 ハ如何ナル意味ニ解釋スヘキヤ曰ク逃走罪ハ囚徒ニアラサレハ犯ス
 ニト能ハサル一種特別ノ罪ナルヲ以テ酌量ヲ加ヘ現ニ處刑ヲ受ケタ
 ル罪ニ對シテハ再犯ナルモ之ヲ再犯トシテ論セス初犯ト看做シテ加
 重例ヲ適用セスト云フニ外ナラス或ハ此法文ヲ解釋シ再犯ノ故ヲ以
 テ刑ヲ加重セスト云フノ意味タリ否ラサレハ逃走罪ハ數罪俱發ヲ以
 テ論セサルヘカラス數罪俱發ヲ以テ論スルトキハ一ノ重キニ從テ處

到セサルヘカヲサルヲ以テ逃走罪ニ對シテハ其刑ヲ科スルコト能ハ
 サル場合アルヘシ例ヘハ逃走罪ハ他罪ニ比シテ輕キ場合是レナリ故
 ニ再犯ヲ以テ論セストハ再犯ノ故ヲ以テ刑ヲ加重セラルノ意味ニ解
 釋セサルヘカラスト然レ已決囚ニ就テハ其處刑ヲ受ケタル罪ハ裁
 判既ニ確定シテ執行セラル、モノナルカ故ニ其刑期中逃走罪ヲ犯ス
 モ數罪俱罪ヲ以テ論スヘキニアラサルハ法理上固ヨリ然リトス法文
 ノ再犯ヲ以テ論セストハ再犯タルモ猶ホ之ヲ初犯ト看做スト云フノ
 意味ニ解釋セサルヘカラスト其歸着スル所ハ孰レヨリ論入スルモ再犯
 タリト雖モ加重例ヲ適用セスト云フニ過キスト雖モ其正面ヨリ論ス
 ルトキハ再犯ヲ以テ論セス即チ初犯ニ看做シテ其刑ヲ加重セスト解
 スルヲ以テ妥當スヘシ

逃走罪ハ既ニ處刑ヲ受ケタル罪ニ對シテ再犯タルコト明カナルニ拘

テス其刑ヲ加重セサルモノハ何ソヤ再犯加重ハ前罪ノ處刑未ダ懲戒ノ効ヲ奏スルニ足ラサルニ因テ再ヒ罪ヲ犯スニ至レリ故ニ前刑ヨリ一等重カラシメテ之ヲ懲戒セサルヘカラスト云フニ在リ而シテ逃走罪ハ法理上ヨリ論スルトキハ再犯タルヲ免レスト雖モ其逃走罪ヲ犯スヤ前ニ一罪ヲ犯シ獄舎ニ繋留セラル、中ニ於テ犯スモノニシテ若シ前ニ一罪ヲ犯シタル事實アラスンハ入獄スルノ謂ハレナク又逃走スルノ理モナシ且ツ囚徒ノ逃走ハ既ニ前條ニ於テ論述シタルカ如ク寧ロ自然ノ人情ヲ出ルトモ云フヘクシテ大ニ恕スヘキモノアリ然ルニ之ニ對シテ再犯加重例ヲ適用スルハ酷ニ過クルヲ以テナリ況ンヤ一罪ノ刑期未ダ滿了セサルモノハ果シテ其刑以テ懲戒ノ効ヲ奏スルニ足ラサルヤ否ヤ未ダ知ルヘカラサルニ於テオヤ是レ逃走罪ハ再犯タルニ拘ハラヌ立法者ハ宥恕ヲ加ヘ再犯ヲ以テ論セス明文ヲ掲ゲ

タル所以ナリ然レモ再犯ヲ以テ論セサル場合ハ唯一ノ逃走罪ニ限レリ若シ他ノ罪ヲ犯シタルトキハ再犯加重ヲ以テ論スヘキハ勿論ナリ其刑期限内再ヒ逃走シタル者ニ對シテハ初犯ト看做スコトヲ得ス是レ他ナシ逃走罪ハ原犯ニ對シテハ再犯トシテ論セサルモ初犯ノ逃走罪ニ對シテハ再犯ナリ之ヲ換言スレハ既ニ逃走罪ニ對シテ處刑ヲ受ケタルモ猶ホ未ダ悔悟セス再ヒ逃走シタルモノハ加重スヘキノ理由アルヲ以テナリ然レモ其刑期云々トアルヲ以テ視レハ刑期限外ニ屬スルモノハ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス例ヘハ竊盜罪ヲ犯シ其刑期限内ニ於テ再ヒ逃走シタルモノハ再犯ヲ以テ論スヘキモ竊盜犯ノ刑期滿了ノ後チ他罪ヲ犯シテ處刑ヲ受ケ其刑期限内ニ於テ又逃走シタルモノハ假令竊盜犯ノ刑期限内ニ逃走シタルノ事實アルモ之ヲ再犯トシテ論スルコトヲ得ス何トナレハ其刑期云々トハ現ニ執行セテレ

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪
第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

ツ、アル刑期ノ謂ヒタルコト明カナレハナリ故ニ逃走罪ニ就テ再犯加重ヲ適用スルハ二箇ノ條件具備スルコトヲ要ス第一已決ノ囚徒ナルコト第二原犯ノ刑期限内ニ再ヒ逃走スルコト是レナリ此條件ノ一チ欠クモノハ再犯トシテ論スルコトヲ得サルナリ

第四百四十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第四百四十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

未決ノ囚徒トハ刑事ノ被告人タルモ未決裁判ヲ受ケサル囚徒及ヒ已ニ裁判ヲ受クルモ其裁判未タ確定セサル囚徒ノ謂ヒナリ又入監中トハ現ニ犯罪ノ嫌疑ニ因リ監獄ニ繋留セラレツ、アルノ謂ヒナルヲ以テ入監中ト看做スコトヲ得サル場合ニ於テ逃走スルモノハ其ノ罪成立セス例ヘハ警察署ノ拘留場ヨリ逃走シ又ハ監獄署ニ護送セラレ

途中ニ於テ逃走スルカ如キ是レナリ是等ノ場合ハ入監中ト看做スヘカラス唯ダ監獄署ヨリ裁判所ニ到ルノ途次又ハ法廷ヨリ逃走シタルモノ、如キハ逃走罪ヲ以テ論セサルヘカラス何トナレハ假令現ニ監倉内ニ在ラストスルモ入監中ノ身分ナルヲ以テ監倉ヨリ逃走シタルモノト看做スヘキハ當然ナレハナリ

未決囚徒ト雖モ入監中ニ逃走シタル者ハ第四百四十二條ノ例ヲ適用ス然レモ逃走者再ヒ逮捕セラレテ裁判ヲ受ケ若シ原犯ノ罪ニシテ無罪ト爲リタルトキハ唯一ノ逃走罪ノミニ就テ罰セラレ若シ原犯有罪ト爲リタルトキハ原犯ト逃走犯トヲ數罪俱發ニ問ヒ其重キニ從テ處斷セラル、ハ本條但書ノ明示スル所ナリ原犯無罪ト爲リタルニ拘ハラズ逃走罪ハ單獨ニ成立シ第四百四十二條ノ例ニ照シテ之ヲ罰スヘシト云フニ至テハ條理ニ悖ルノ嫌ヒナキニアラサルカ如シト雖モ社會ノ

必要上ヨリ觀察スルトキハ之ヲ罰セサルヘカラスルノ理由アリテ存
 スルヲ知ルヘシ一旦犯罪ノ嫌疑ヲ受テ正當ノ手續ヲ經テ獄舎ニ繫留
 セラル、者ハ假令其心中ニ不滿ヲ感スル所アルモ謹慎法ヲ守リ以テ
 公明ノ裁判ヲ待タサルヘカラス然ルニ事此ニ出テスシテ逃走スルカ
 如キハ一方ニハ國家ノ法律ヲ蔑如シ他ノ一方ニハ裁判權ノ安全妨害
 スルモノニシテ之ヲ罰セサルトキハ社會ノ秩序安寧ヲ維持スルコト
 能ハサレハナリ

逃走罪ハ原犯無罪ト爲ルニ拘ハラズ猶ホ之ヲ罰セサルヘカラスルハ
 前述ノ如シト雖モ本條ノ但書ハ妥當ヲ失スルノ嫌ヒヲ免レス例ヘハ
 詐欺取財ノ嫌疑ヲ受テ監倉ニ投セラレタル者逃走シタル場合ニ於
 テ其詐欺取財ハ全ク誣告ニ係リ純然タル良民ニ歸シタルトキハ逃走
 罪ハ單獨罪ノミ數罪俱發例ヲ適用セント欲スト雖モ他罪ナキヲ奈何

セン是レ法文ノ妥當ヲ失スルヨリ來ル所ノ結果ナリト云ハサルヘカ
 ラス蓋シ立法者ハ未決囚ノ有罪ヲ想像シテ數罪俱發云々ノ規定ヲ揭
 ケタルヘシト雖モ既ニ有罪ノ場合ヲ想像シテ之ヲ規定スル以上ハ其
 無罪ノ場合ヲモ想像セサルヘカラス然ルニ無罪ノ場合ヲ想像セサル
 ヲ以テ時トシテ不都合ノ結果ヲ來マスノ憂ヒナシトセス然レト原犯
 無罪ト爲リタル場合ニ於テハ數罪俱發例ヲ適用スルコト能ハサルノ
 故ヲ以テ逃走罪ハ成立セスト云フニアラス原犯有罪ト爲リタルトキ
 ハ數罪俱發ヲ以テ處斷シ若シ原犯無罪ト爲リタルトキハ單獨ニ逃走
 罪ノミヲ罰スヘキナリ

爰ニ又注目スヘキハ入監中ノ三字是レナリ此入監ハ正當ノ手續ヲ經
 テ入監ヲ命セラレタル者ノ謂ヒナリ若シ法定ノ令狀ヲ發シテ入監セ
 シメラレタルニアラス又ハ舛刑ニ該當セサル罪ノ嫌疑ヲ以テ入監セ

シメラレタル者ノ如キハ假令逃走スルモ罪トシテ論スヘキニアラス
何トナレハ不法ノ入監ニ遇フテ逃走スルモノハ正當防衛ト看做スヘ
クシテ罪ト爲ラサルハ論ヲ俟タサレハナリ不法ノ入監ハ即チ不正ノ
監禁ニシテ其之ヲ爲シタル官吏ハ第二百七十八條及ヒ第二百七十九
條ノ罪ヲ犯シタルモノナリ故ニ入監者ハ獄舎獄具ヲ毀壞シテ逃走シタ
ルトキト雖モ正當防衛ト看做サ、ルヘカラス此場合ニ於テハ逃走罪
ハ決シテ成立セサルモノト思考ス

第四百十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第四百十二
條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

未決囚ト已決囚トヲ問ハス三人以上通謀シテ逃走シタルトキハ第百
四十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フハ何ノ理ソヤ他ナシ三人以上通謀
スルトキハ犯シ易フシテ防キ難ク社會ノ危險一層大ナレハナリ故ニ

三人以上ノ通謀ニ出ルトキハ皆正犯ヲ以テ論シ各一等加重スヘキモ
ノトス此規定ニ依レハ獄舎ヲ毀壞シテ逃走シタル場合ニ於テ二人ハ
現ニ獄舎ヲ破リ一人ハ手下シタルニアラサルモ由テ以テ逃走シタ
ルトキハ其下手者ト否トヲ問ハス唯ダ通謀シタルノ故ヲ以テ各一等
加重ノ處分ヲ免レス然レモ通謀ハ本條ノ主眼ニシテ看守又ハ押丁カ
怠慢若クハ遺忘ニ因リ獄舎ノ戸扉ヲ閉鎖セサルカ如キ場合ニ於テ逃
走シタルトキハ三人以上アルモ本條ヲ適用スルコトヲ得ス何トナレ
ハ是等ノ所爲ハ通謀シタルニアラス各箇ニ逃走シタルモノト認ムル
ヲ當然トスレハナリ

又天災其他ノ事變ニ際シ獄舎ヲ毀壞シテ逃走シタル場合ニ於テハ假
令三人以上ノ通謀ニ出ルモ第七十五條ニ依リ罪ト爲ラス唯ダ歸リ來
ラサルトキニ於テ逃走罪成立スヘキモ第四百十二條第一項ニ該當ス

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪
第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

ルノミ獄舎毀壞ノ所爲ハ罪トシテ論セス

第四百十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第四百十二條乃至第四百十五條ハ囚徒他ノ幫助ヲ借ラス自ラ逃走スル場合ヲ規定シ本條以下ハ他人囚徒ヲシテ逃走セシムル場合ヲ規定シタルモノナリ即チ前條マテハ逃走罪ニシテ本條以下ハ逃走幫助罪ナリ逃走幫助ハ何人之ヲ犯スモ其罪直チニ成立ス囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器具ヲ給與シトハ囚徒ヲ逃走セシムルノ目的ヲ以テ破獄ノ用又ハ看守押丁等ニ暴行脅迫ヲ加フル等ノ用ニ供スル兇器其他ノ器具ヲ入監ノ囚徒ニ給與スレノ謂ヒニシテ

兇器其他ノ器具トハ刀劔若クハ鑿鋸等ノ利器ヲ云フニ外ナラス此所爲ハ即チ逃走幫助罪ヲ構成シ又逃走ノ方法ヲ指示スルノ所爲モ亦其罪ヲ構成ス而シテ逃走ノ方法トハ其範圍甚々廣キカ如シト雖モ確然タル方法ヲ指示シタルノ所爲ヲ云フニ過キス例ヘハ鉄格子ノ幾本目ハ脆弱ナリ之ヲ折テ潛出スヘシ又ハ天井板ノ幾枚目ハ薄フシテ破リ易シ之ヲ破テ脫逃スヘシト云フカ如キ漠然タル方法ハ之ヲ指示スル由罪ト爲ラス何トナレハ斯ノ如キハ毫モ逃走幫助ノ實ヲ爲サ、レハナリ兇器其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示スルノ所爲ハ囚徒自ラ逃走スルノ意思アリテ之ヲ要求シタルニ因ルト否トチ問ハス苟クモ其事實アルトキハ其罪直チニ成立ス本條前段ノ所爲ハ有形的ノ所爲タリト雖モ要スルニ逃走罪ノ豫備タルニ過キス豫備ノ所爲ハ第一百一十一條ニ依リ其刑ヲ科セスシテ可ナル

カ如シ然ルニ立法者ハ之ヲ一罪トシテ罰スルノミナラス囚徒逃走罪ノ刑ヨリモ數等重キ刑ヲ科スルハ何ソヤ又實際上ヨリ之ヲ觀ルキハ本條ノ所爲ハ逃走罪ノ共犯ト看做スヘキモノニシテ其所爲ハ犯罪ヲ幫助スルニ過キサレハ從犯ヲ以テ論スルヲ至當トスルニモ拘ハラス一ノ正犯トシテ之ヲ罰スルハ何ソヤ是レ他ナシ獄中ニ在テ繋留セラレ、者ト獄外ニ在テ自由ヲ有スル者トノ感情ハ日チ同フシテ論スヘキニアラサルノミナラス逃走幫助ノ所爲ハ一大危險ヲ存スルヲ以テナリ獄中ニ在テ苦楚ヲ嘗ル者ハ一意唯々出獄ヲ之レ望ムヲ以テ假令逃走スルモ亦大ニ恕スヘキモノアリ故ニ其刑ハ輕カラシメテ可ナリ之ニ反シテ獄外ニ在ル者ハ毫モ苦痛ヲ感セサルニモ拘ハラス故意ニ器具ヲ給與シ又ハ方法ヲ指示シテ逃走ヲ容易ナラシムルハ實ニ國家ノ法律ヲ蔑如スルノミナラス社會ノ安寧ヲ妨害スル亦大ナリトス

若シ是等幫助ノ所爲アラサルトキハ囚徒ハ獄則ヲ謹守シテ刑期ノ滿了ヲ待ツモノト推測セサルヘカラス然ルニ囚徒ヲ逃走セシムルカ爲メ幫助手段ヲ行フノ所爲ハ一方ニハ囚徒ノ謹慎ヲ破ラシメ他ノ一方ニハ社會ノ危險ヲ招カシム是レ其所爲ハ犯罪ノ豫備タルニ過キサレモ一罪トシテ之ヲ罰シ且ツ逃走罪ノ刑ヨリモ數等重カラシムル所以ナリ然レモ豫備ノ所爲ヲ正犯トシテ罰スルハ唯一ノ逃走幫助罪ニ限レリ他ノ犯罪ノ爲メニ兇器ヲ給與シ又ハ犯罪方法ヲ指示スルノ所爲ハ共犯例ニ照シ從犯ヲ以テ論スヘキハ言ヲ俟タズ而シテ本條後段ニ規定スルカ如ク幫助ヲ爲シタルニ因テ逃走ヲ致サシメタルモノハ即チ犯罪ノ目的ヲ達シ其害一層大ナルヲ以テ其刑一等ヲ加フルハ刑ノ權衡上其當ヲ得セシムルニ外ナラス

第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助

ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

本條ノ所爲ハ例ヘハ護送ノ途次ニ於テ囚徒ヲ劫奪シ又ハ逃走囚徒ニ
追跟シ來レル者等ニ對シ暴行脅迫ヲ加ヘ以テ其逃走ヲ幫助スルノ謂
ヒニシテ亦是レ事實上ヨリ觀ルルハ逃走犯ノ從犯タルニ過キスト雖
モ其害ハ前條ノ所爲ニ比スレハ一層大ナリト云ハサルヘカラス何ト
ナレハ前條ノ所爲ハ器具ヲ給與シ又ハ方法ヲ指示シタルニ過キスシ
テ自ラ手ヲ下シテ幫助シタルニアラス本條ノ所爲ハ然ラス自ラ手ヲ
下シテ逃走ヲ幫助シタルモナレハナリ故ニ其刑モ亦一等重カラシ
メサルヘカラス又其劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ逃走ヲ助ケタル場合
ニ於テ其囚徒カ重罪囚ニ係ルハ其害隨テ又一層大ナルヲ以テ之ヲ

嚴罰ニ處セサレヘカラス是レ重罪囚ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ其
逃走ヲ助ケタル者ハ亦重罪ヲ以テ之ヲ論シ輕懲役ニ處スル所以ナリ
本條ノ適用ニ關シテ一ノ疑問アリ劫奪又ハ暴行脅迫等ノ方法ニ依ラ
ス看守又ハ押丁ニ賄賂ヲ贈ル等ノ方法ヲ以テ逃走ヲ助ケタル者ハ如
何ニ處斷スヘキヤノ疑問是レナリ論者或ハ曰ク是等ノ所爲ハ第四百
十二條第一項ノ從犯トシテ論スヘシト然レモ第四百十二條第一項ハ
囚徒自ラ逃走シタル場合ヲ規定シタルモノニシテ之ヲ助ケテ逃走セ
シメタル場合トハ大ニ其關係ヲ異ニセリ故ニ第四百十二條第一項ノ
從犯トシテ之ヲ論スルハ其當ヲ得スト雖モ是等ノ所爲ニ關スル明文
アラサルヲ以テ論者ノ說ノ如ク第四百四十二條第一項ノ從犯トシテ論
セサルヲ得サルヘキ歟姑ク疑ヒテ存シテ後ノ識者ヲ待ツ

第四百四十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシメタ

ル時ハ亦前條ノ例ニ同シ

本條ハ囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者ヲ故意ニ囚徒ヲ逃走セシメタル場合ヲ規定シタルモノナリ是等ノ官吏ハ其職務上最モ注意シテ逃走ノ危険ナカラシムヘキノ責任アルニ拘ハラス故意ニ逃走セシムルカ如キハ其所爲最モ惡ムヘキ所爲ナレハ常人ノ刑ニ比シテ一層重カラシメサルヘカラス是レ前條ノ例ニ照シテ之ヲ罰スル所以ナリ

本條ノ所爲ハ其方法如何ヲ問ハス總テ前條ノ例ヲ適用スルハ權衡ヲ失スルノ嫌ヒナシトスル乎即チ單ニ逃走セシメタルモノト暴行脅迫ヲ以テ逃走セシメタルモノトハ其刑ニ輕重スル所アラシメテ可ナルカ如シ例ヘハ看守又ハ護送スル者二人以上アリタル場合ニ於テ其一人ハ賄賂收受又ハ其他ノ事情アリテ囚徒ヲ逃走セシメント要スルモ他ノ一人之ヲ肯ンセサルヨリ遂ニ暴行脅迫ヲ加ヘタルカ如キ是レナ

リ主任者一人ニシテ一己ノ意見ヲ以テ逃走セシメ又ハ主任者二人以上アルモ通謀シテ逃走セシメタルハ暴行脅迫ヲ以テ逃走セシメタルトキヲ區別セズ同一ノ刑ニ處スルハ權衡ヲ失スト云ハサルヘカラス亦是レ法ノ不備ヨリ生スル所ノ結果ナルヲ以テ須ラク改正ヲ要スヘキノ點ナリト思考ス

本條適用ニ關シテ尙ホ一言スヘキモノアリ本條ハ囚徒ヲ逃走セシメタル既遂犯ヲ罰スル規定ナリ故ニ兇器ヲ給與シ又ハ方法ヲ指示シタルニ過キスシテ其所爲豫備ニ屬スルトキハ常人ト同ク第四百四十六條ヲ以テ罰スヘキモノト信ス

第四百四十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

重罪ノ未遂犯ハ總テ之ヲ罰スト雖モ輕罪ノ未遂犯ハ特別ニ記載スル

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪 第二百九十五
第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

ニアラサレハ罰スルコトヲ得サルハ第一百十三條第一項ノ規定ニ於テ明カナリ本條ハ即チ特別ノ記載ニ屬スルモノニシテ他ニ説明ヲ下スノ必要ナシ

第一百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ懈怠ノ責任ヲ負ハシムルノ規定ニシテ即チ囚徒ノ逃走ハ看守者又ハ護送者ノ懈怠ニ因テ生シタル結果ナルヲ以テ看守者又ハ護送者ハ刑法上ノ責任ヲ免レスト云フニ外ナラス然レモ懈怠アリタル場合ニ於テノミ責任ヲ生スヘクシテ第一百四十二條第二項及ヒ第一百四十七條ノ場合其他不可抗力ニ原因スルトキハ其責任ナキハ論ヲ俟タス

本條ハ第一百四十八條ノ場合ト異ナリ無意犯ニ屬セリ故ニ囚徒逃走ノ事實アルトキハ當然懈怠ト看做シテ處罰ヲ免レス若シ懈怠ニアラスト主張スルトキハ看守又ハ護送者ハ之ヲ證明セサルヘカラス有意犯ノ場合ニハ舉證ノ責メ檢察官ニ在リト雖モ無意犯ノ場合ニハ舉證ノ責メ被告人ニ在リ故ニ懈怠ノ場合ニハ看守又ハ護送者之ヲ證明スルニアラサレハ處罰ヲ免レス

第一百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルコトヲ知テ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ハ十一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル一等ヲ加フ

本條以下三條ハ囚徒逃走ニ關スル罪トハ全ク其性質ヲ異ニシ囚徒ヲ藏匿シ及ヒ罪證物件ヲ隱蔽スル罪ヲ規定スルモノニシテ本條ハ即チ

罪人若クハ隠避ニ關スル罪ナリ

藏匿若クハ隠避スル罪ハ犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ被監視人ナルコトヲ知テ之ヲ爲シタルトキニ於テ成立シ之ヲ知ラスシテ藏匿若クハ隠避スルトキハ無罪ナリ然レモ藏匿若クハ隠避ノ所爲ハ犯人ヲシテ其刑罰ヲ脱セシメントスルノ意思ニ出ルノ謂ヒタルヲ以テ犯人タルヲ知ラス曾テ友誼アルノ故ヲ以テ同居セシメ又ハ旅費ヲ給與シテ某地方ニ赴カシメタル場合等ニ於テハ固ヨリ藏匿若クハ隠避ノ名稱ヲ下スノ謂ハレナシ故ニ藏匿若クハ隠避ト認ムルニハ犯罪人又ハ逃走ノ囚徒ヲシテ其刑罰ヲ脱セシムルノ意思アルヲ要ス何トナレハ其刑罰ヲ脱セシムルノ意思ナキトキハ之ヲ藏匿若クハ隠避スルノ必要アラサレハナリ又犯罪人又ハ逃走ノ囚徒ナルコトヲ知ルト雖モ一時ノ飢餓ヲ救フカ爲メ食糧ヲ給與シタル所爲ノ如キハ罪トナラス何トナ

レハ人ヲ救助スルノ所爲ハ慈善ニ出ルモノニシテ毫モ惡意アルニアラサレハナリ

本條ニ所謂犯罪人トハ確定裁判ヲ經タルノ犯人ヲ指示シタルモノナリ乎犯罪人ノ名稱ハ確定裁判ヲ經タル者ニアラサレハ下スコトヲ得サルヘシ故ニ犯罪ノ嫌疑ヲ受ケ令狀ヲ發シテ逮捕セラレントシ又ハ搜索セラル、者ヲ藏匿若クハ隠避スルモ罪トシテ論スルコトヲ得サルモノト思考ス何トナレハ假令犯罪ノ嫌疑ヲ受ルモ確定裁判ヲ經サル者ハ其罪ノ有無未ダ知ルヘカラサルヲ以テ之ヲ藏匿若クハ隠避スルモ罪ト爲ルヘキノ理アルサレハナリ故ニ良民ヲ同居若クハ慈愛シタルノ結果ニ歸着スル場合アルヘキヲ想像スヘシ由テ觀レハ犯人藏匿若クハ隠避罪ハ時トシテ未必條件ヲ附スル罪トモ云フヘキ奇怪ノ場合ヲ生スルニ至ルヘシ蓋シ是レ法文其當ヲ失スルヨリ招ク所ノ結

果ニシテ亦是レ改正ヲ要スヘキノ點ナリトス
 單ニ犯罪人ナル文字ニ拘泥シテ解釋スルトキハ前述ノ如キ結果ヲ呈
 スト雖モ本條ニ所謂犯罪人トハ刑事被告人ノ謂ヒタルコト疑ヒテ容
 レサルヘシ佛文草案ニハ被告人トアリ之ヲ修正シテ犯罪人ト改メマ
 リト雖モ其精神ハ依然トシテ存スルモノト信ス否ラサレハ往々前述
 ノ如キ奇怪ノ場合ヲ生スルノミナラス實害亦少小ナラサレハナリ苟
 クモ犯罪ノ嫌疑又ハ事跡アリテ司法權上之ヲ逮捕シ又ハ搜索スル者
 ナルコトヲ知リツ、藏匿若クハ隱避スルノ所爲ハ司法權ノ行使ヲ妨
 害スルモノニシテ即チ社會ニ加害スルノ責メヲ免レス故ニ此所爲ハ
 罰セサルヘカラス藏匿若クハ隱避セラレタル者ハ確定裁判ヲ終ルニ
 アラサレハ其罪ノ有無未ダ知ルヘカラストスルモ司法權ノ行使ヲ妨
 害シタルノ所爲ハ之ヲ一罪トシテ罰セサルヘカラス然ラサレハ犯人

ヲ藏匿若クハ隱避スル者比々然ト踵ヲ接スルニ至リ又何ヲ以テ能ク
 社會ノ秩序安寧ヲ保維センヤ故ニ刑事ノ被告人タルコトヲ知テ之ヲ
 藏匿若クハ隱避スルノ所爲ハ本條ヲ適用シテ之ヲ罰セサルヘカラス
 立法者ノ意思亦此ニ在リテ存スルヲ疑ハス

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメンコトヲ圖リ其罪證ト爲ル
 可キ物件ヲ隱蔽シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ
 二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ所爲ハ罪證ト爲ルヘキ物件ヲ隱蔽シタルノ所爲ニシテ犯人ノ
 意思ハ罪人ヲシテ刑罰ヲ免カレシメントスルニ在リ
 他人ノ罪ヲ免カレシメンコトヲ圖リ云々トハ其正面ヨリ之ヲ解釋ス
 ルトキハ他人ノ犯罪ヲ免カレシメントスルノ意思ヲ以テ罪證物件ヲ
 隱蔽シタルノ所爲ヲ罰スルニ止ルカ如シ然レモ犯罪ノ嫌疑アリテ逮

捕又ハ搜索セラル、若シテ其罪ヲ免カレシメントスルノ所爲例ヘ
 ハ竊盜犯ノ罪ヲ免カシレメンカ爲メ其贓物ヲ隠蔽シ又ハ持兇器強盜
 犯ノ罪ヲ免レシメンカ爲メ其兇器ヲ隠蔽シタルカ如キハ正ニ是レ犯
 罪ヲ免カレシメンコトヲ圖リテ隠蔽シタルモノト認定スヘシト雖モ
 其罪已ニ成立シタル者ノ爲メニ其罪證物件ヲ隠蔽スルノ所爲ハ罪ヲ
 免カレシメンコトヲ圖リテ然ルモノト云フヲ得ヌ何トナレハ罪已ニ
 成立スルトキハ何人ト雖モ之ヲ免カレシムルコトヲ爲シ得サレハナ
 リ例ヘハ殺人罪ニ就キ其罪ハ已ニ成立シタルモ之ヲ謀殺ト認ムヘキ
 ヤ將タ故殺ト認ムヘキヤ未タ判決セラレサル前ニ於テ謀殺ト認ムル
 ニ足ルヘキ罪證物件ヲ隠蔽シタルノ所爲ノ如キハ罪ヲ免カレシムル
 ノ意思ニ出ルモノト認ムルコトヲ得ヌ何トナレハ殺人罪ハ已ニ成立
 シ唯タ謀殺ニ問フヘキヤ將タ故殺ト爲スヘキヤ未タ決定セサルノミ

ニシテ其殺人罪タルノ罪ハ到底免カレシムルコトヲ得サレハナリ故
 ニ他人ノ罪ヲ免カレシメンコトヲ圖リ云々トハ專ラ其刑罰ヲ免カレ
 シメンコトヲ圖ルモノヲ罰スルノ意味ニシテ其刑罰ヲ免カレシメン
 コトヲ圖ルカ逮捕ヲ免カレシメンカ爲メ其罪證物件ヲ隠蔽スルノ所
 爲モ亦本條ヲ以テ罰スルモノト解釋セサルヘカラス然レトモ隠蔽ノ
 所爲ハ他人ノ罪ヲ免カレシムルカ爲メニ出ルモノ、ミチ罰シ自己ノ
 罪ヲ免カレンカ爲メ自ラ其罪證物件ヲ隠蔽スルノ所爲ハ罪トシテ論
 スヘキモノニアラス何トナレハ自己ノ爲メニ自ラ罪證物件ヲ隠蔽ス
 ルハ人情ノ然ラシムル所ニシテ法律ノ問フヘキモノニアラサレハナ
 リ
 本條ノ適用ニ關シ一ノ注意ヲ要スルモノアリ罪證隠蔽罪ト贓物寄藏
 罪トノ區別ヲ明ラカニスルコト是レナリ例ヘハ竊盜物ヲ隠蔽シタル

ノ所爲ハ其刑罰ヲ免カレシメントスルノ目的ニ出ルコトアリ又ハ之ヲ隠蔽シテ犯人及ヒ自己ヲ利セントスルノ目的ニ出ルコトアリ此區別ヲ明カニセサルトキハ往々刑ノ權衡ヲ失スルノ結果ヲ來スニ至ルヘシ例ヘハ全ク犯人及ヒ自己ヲ利セントスルニアラス唯々其刑ヲ免カレシメントスルノ意思ニ出テタル者ヲシテ贓物ニ關スル罪ニ問フトキハ罪ト刑トノ權衡ヲ得隠蔽罪ノ刑ハ輕フシテ贓物罪ノ刑ハ重シ同一ノ竊盜物ニシテ隠蔽罪ト贓物罪トヲ成立セシムルヲ以テ本條適用ノ場合ニ於テ犯人ノ意思如何ヲ明審スルハ最モ肝要ナリトス其同一ノ竊盜物ニ關シ一ノ所爲ハ其刑輕ク他ノ所爲ハ其刑重キハ權衡ヲ失スルノ嫌ヒナキニアラサルカ如シト雖モ贓物ヲ以テ己ヲ利セントスルノ所爲ト惡事ナカラモ他人ノ罪ヲ免カレシメントスルノ所爲トハ同視スヘカラス是レ隠蔽罪ノ刑ハ贓物罪ノ刑ヨリモ輕カラシメタ

ル所以ナリ

第一百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

人ノ感情ニ於テ他人ニ對スルト親屬ニ對スルトハ同一ナラス其厚薄相拒ルハ自然ノ人情ニ基因ス故ニ罪人藏匿又ハ罪證隠蔽ノ所爲アルモ其親屬ニ係ルトキハ其罪ヲ論セス是等ノ所爲ハ畢竟スルニ親屬相愛スルノ感情自ラ制シ難キニ出ルモノニシテ惡意ヲ以テ社會ニ加害スルノ目的ニ出ルモノト推測スルコトヲ得ス故ニ法律ハ措テ問ハサルナリ然レモ其罪ヲ論セサルハ前第二條ノ犯罪ニ止マリ假令親屬相愛スルノ感情ニ出ルモ故意ヲ以テ囚徒逃走罪ヲ幫助スルノ所爲ハ實害ヲ社會ニ加ヘタルモノナルヲ以テ罪トシテ之ヲ罰スヘキハ勿論ナリ

又罪證隱蔽ノ場合ニ於テ犯人ハ親屬ノ故ヲ以テ其罪ヲ免カレシメン
トスルノ意思ニ出テタリト主張スルモ其實贓物ヲ以テ自己ヲ利セン
トスルノ意思ニ出ルトキハ本條ヲ適用スルノ限リニ在ラス即チ贓物
ニ關スル罪ニ就テハ其親屬ニ係ルト否トヲ問ハサルナリ
本條ニ所謂其罪ヲ論セストハ第七十五條ニ定メタル不論罪トハ其意
味ヲ異ニセリ不論罪ハ罪トシ論セサルノ意味ニシテ本條ノ場合ハ罪
アルモ宥恕シテ其刑ヲ科セサルノ意味ニ解釋セサルヘカラス不論罪
ハ固ヨリ法律上ノ責任ナキモノナリ本條ノ場合ハ然ラス法律上ノ職
任アルモ其刑ヲ宥恕全免スト云フニ外ナラス論者或ハ云ハン乎其罪
ヲ論セスノ法語ハ彼此同一ナリ然ラハ其意味モ亦同一ニ解釋セサル
ヘカラスト然レモ其罪ヲ論セスノ法語ハ我刑法中處々ニ散見シ各本
條皆其意味ヲ同フセス故ニ文字ニ拘泥セス專ラ犯罪ノ性質ニ基因シ

テ之ヲ解釋セサルヘカラス然ラサレハ往々不都合ノ結果ヲ來タシ罪
アルモ之ヲ罰スルコトヲ得サルノ奇觀ヲ呈スルニ至ルヘシ若シ本條
ノ所爲ハ法律上ノ責任ナキモノトセハ實ニ奇怪ノ場合ヲ生スルコト
ナシトセス例ヘハ罪人ヲ藏匿スル場合ニ於テ之ヲ覺知シタル者アリ
テ之ヲ摘發セントスルヤ之ヲ防止センカ爲メ暴行ヲ加ヘテ遂ニ故殺
シタルトハ如何之ヲ第二百九十六條ニ問フコトヲ得サルニ因リ故殺
罪ニ處スルノ外ナカルヘシ故殺罪ノ刑ハ無期徒刑ニシテ第二百九十
六條ニ定メタル重罪輕罪ヲ犯スカ爲メニ人ヲ故殺シタル者ノ刑ハ死
刑ナリ無期徒刑ト死刑トハ其相距ル甚々遠キニモ拘ラス唯々法文ノ解
釋如何ニ因テ死刑ヲ免ガシムルニ至ルハ不都合ト云ハサルヲ得ス故
ニ本條ニ其罪ヲ論セストアルハ罪トシ論セスト云フノ意味ニアラス
シテ罪ハ罪タルモ親屬ノ關係アルニ因リ之ヲ宥恕シテ其刑ヲ科セサ

ルノ意味ニ解釋セサルヘカラス論者又或ハ云フ乎果シテ然ラハ其罪ヲ論セスノ法語ヲ掲グルハ其當ヲ得ス宜シク宥恕シテ本刑ヲ科セスト明記シテ可ナルニアラスヤ然ラサレハ不論罪ト宥恕全免トノ區別明瞭ナラズト眞ニ然リ法文ノ正面ヨリ觀ルトキハ不論罪ト宥恕全免トノ區別實ニ明瞭ナラス故ニ本條モ亦修正シ論者ノ言ノ如ク宥恕シテ本刑ヲ科セスト改ムルヲ以テ妥當トス親屬ノ關係ニ因リ其罪ヲ論セサル場合ハ第三百七十條第三百九十八條及ヒ本條ノ三箇ノ場合ナリ第三百七十八條及ヒ第三百九十八條ノ場合ハ眞ノ不論罪即チ罪トシ論セサル場合ニシテ本條ノ場合トハ大ニ其性質ヲ異ニセリ然ルニ彼此同一ノ法語ヲ掲グルハ實ニ其當ヲ失スト云ハサルヘカラス故ニ早晚修正ヲ加ヘラサルヘカラス然ラサレハ解釋上ヨリ往々不都合ノ結果ヲ來スノ憂ヒチ免レス

(改正草案)改正草案者ハ囚徒逃走罪及ヒ罪人藏匿罪ヲシテ抗官罪ヲ規定スル章中ノ第五節ニ掲ケラレタリ蓋シ罪ノ性質ヨリ論スルトキハ現行法ニ於テ之ヲ靜謐妨害罪ノ第三節ニ掲ケタルハ其順序ヲ得サルモノ、如シ猶ホ之ヲ靜謐妨害罪ノ一トスルモ公務抗拒罪、官封破棄罪等ノ上ニ置クハ其當ヲ失スル嫌ヒチ免レス編次ノ順序ハ姑ク措キ改正草案者ハ逃走罪、藏匿罪ニ大修正ヲ加ヘントシ予輩ノ心ヲ得タリト信スルモノ亦少カラス爰ニ其修正要點ヲ擧クレハ左ノ如シ

改正草案者ハ逃走罪ノ修正ニ關シ説明シテ曰ク「現行法ハ獄舎獄具等ヲ毀壞セス又暴行脅迫ヲ爲サズ單ニ逃走シタル者ヲ罪トスルハ甚々不當ナリ凡ソ自由ヲ欲シ苦痛ヲ遭レントスルハ人情ノ常ナルヲ以テ之ヲ罪トシ論スルハ道理ノ許サ、ル所ナリ囚徒ノ逃走ハ畢

竟スルニ獄舎獄具ノ不完全若クハ看守者ノ不注意ニ職由スルニ外ナラス其責却テ官ニ在リト云ハサルヘカラスルニモ拘ハラヌ其責ヲ囚徒ニ歸スルハ當テ失スルト云ハサルヲ得ヌ故ニ單純ノ逃走ハ之ヲ罰スヘカラスト即チ逃走ヲ罰スル場合ハ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シタル場合ニ限ラシメントス單純ノ逃走ヲ罰スルノ不當ナルハ予モ亦既ニ論セリ單純ノ逃走ハ實ニ其責官ニ在ルヲ以テ之ヲ罰スルノ謂ハレナシ故ニ此規定ヲ削除スルハ至當ノ修正ナリト信ス

囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタルノ所爲ヲ罰スルニ現行法ハ兇器ヲ携帯シ又ハ二人以上ニテ犯シタル場合ヲ規定セス如何ナル方法ニ依ルモ同一ノ刑ニ處スルハ權衡ヲ失スト云ハサルヘカラス兇器ヲ携帯シ又ハ二人以上ニテ犯スモノハ犯シ

易フシテ防キ難シ故ニ一加重シテ之ヲ罰セサルヘカラス改正草案者モ亦此點ニ注目シ二人以上ニテ犯シタルトキ又ハ兇器ヲ携帯シテ犯シタルトキハ一箇毎ニ一加重ヘテ之ヲ罰セントス亦是レ其當ヲ得タリト信ス

又看守者又ハ護送者カ囚徒ヲ逃走セシムルノ所爲ヲ罰スルニ現行法ハ唯一ノ刑ヲ以テシ其獄舎獄具等ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シ若クハ是等ノ所爲ヲ助ケテ逃走セシメタル場合ヲ問ハサルハ欠點ト云ハサルヲ得ヌ又看守者又ハ護送者カ囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル所爲ニ關シテ何等ノ規定モナシ亦是レ一ノ欠點タリ改正草案者ハ是等ノ所爲ニ關スル規定ヲモ設ケ以テ現行法ノ欠點ヲ補修セントス又現行法第百五十條ノ犯罪人云々トアルヲ改正シテ逃走ノ囚徒又

ハ追捕中ノ被告人ナルコトヲ知テ云々トシ第百五十二條ノ罪證隱蔽ニ於テ罪證ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽毀棄シ又ハ其性質形狀ヲ變更シ云々トシテ一層之ヲ密ニシ第百五十三條ニ於テ其罪ヲ論セストアルヲ修正シテ「犯人又ハ被告人ノ親屬ニ係ルトキハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ヲ免ス云々」トス

以上數箇ノ修正ハ現行法ノ不備ヲ補充スルニ就キ必要ノ修正ニシテ殊ニ單純逃走ヲ無罪トシテ看守者又ハ護送者ノ逃走幫助罪ヲ密ニスルハ欠クヘカラサル修正ナリト思考ス

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪

前節ノ罪ト本節ノ罪トハ同シク刑ノ執行ヲ遁カル、罪ニ屬スト雖モ前節ノ罪ハ身體ニ關スル刑即チ有形上ノ執行ヲ遁ル、罪ニシテ本節ノ罪ハ權利ニ關スル刑即チ無形上ノ執行ヲ遁ル、ノ罪ナリ

本節ノ罪ハ附加刑ノ執行ヲ遁ル、ニ在リト雖モ私ニ剝奪公權停止公權ヲ行ヒ及ヒ監視規則ニ違背シタルノ所爲ヲ罰スルニ過キス此所爲ハ道理上罪トシテ論スヘキモノナルヤ又如何ナル場合ニ於テ執行ヲ遁レタル事實アリト認ムヘキヤ元是レ無形ノ執行ナルヲ以テ其認メテ以テ執行ヲ遁レタルモノト爲ス場合ハ其責獨リ執行ヲ遁レタル者ノミニ歸セシムルコトヲ得ス他ニモ其責ヲ及ホスヲ至當トスル場合アルヲ想像スヘシ例ヘハ公權剝奪者カ官吏公吏ト爲リ又ハ勳章位記ヲ受テ又ハ議員ト爲リタルカ如キヲ以テ執行ヲ遁レタルノ所爲ト爲スヘキ乎其公權ヲ行ヒタル者獨リ罪アリ之ヲ行ハシメタル者即チ推薦者又ハ選舉者ハ責メナシトスルハ實ニ奇怪ナリト云ハサルヘカラス其罪ノ性質上ヨリ論スルトキハ被薦者ト推薦者トハ共犯ナリト云フモ不可ナカルヘシ蓋シ其獨リ被薦者ヲ罰スル者ハ推薦セラレトキ

ニ際シ自身ノ舊惡ヲ暴露シテ之ヲ辭セサリシハ背徳加害ノ所爲ナリトスルニ在ル乎然レモ自身ノ舊惡ヲ隱蔽スルハ人類普通ノ感情ニ出ルニモ拘ハラヌ之ヲ罪トシ論スルハ寧ロ法律ハ人ニ責ルニ普通ノ感情ヲ破ルヘシト云フヲ以テスルニ異ナラス是レ豈ニ法律ノ要義ヲ得タルモノト云フヲ得ンヤ被薦者中ニハ或ハ剝奪公權又ハ停止公權ノ附加刑ヲ受ケタルノ故ヲ以テ氏名ヲ詐稱シ其推薦ニ應スル者ナキニアラサルヘシト雖モ身分詐稱ハ別ニ一罪ヲ成立スルヲ以テ其明文ニ照シテ之ヲ罰セハ可ナリ故ニ予ハ本節ノ所爲ヲ罪トシテ論スルハ法理ニ適スルモノト云フヲ得サルナリ彼ノ監視者カ其規則ニ違背シ所轄警察署ニ出テ、其調査ヲ受ケサルノ所爲モ亦罪トシテ之ヲ論スルニ至テハ酷ニ失スト云ハサルヲ得ス監視ニ就テハ讀者ハ既ニ利害ノ關スル所ヲ了解セラレタルヘシ則チ其警察署ニ出テ謹慎ヲ表セサル

ノ所爲ハ法律ヲ蔑視スルカ如シト雖モ亦是レ人ニ對シテ自己ノ舊惡ヲ表白シ人ヲシテ故ヲニ其記憶ヲ繼續セシムルニ異ナラス然ルニ之ヲ罰セントスルハ情ニ於テ忍ヒサル所ナルニアラスヤ
論者或ハ云ン乎私ニ剝奪公權又ハ停止公權ヲ行ヒタルノ所爲ヲ罪トシ罰セサルトキハ社會ニ實害ヲ加フルニ至ルヘシ例ヘハ私ニ其公權ヲ行ヒタルノ結果トシテ他人ニ利害ノ關係ヲ及ホシタル場合ノ如キ是レナリト然レモ剝奪公權又ハ停止公權ノ處分ヲ受ル者ニシテ私ニ其權ヲ行ヒタルトキハ其行爲ハ法律上當然無効タルヲ以テ他人ニ實害ヲ加フルノ憂ヒナキモノト推定シテ可ナリ假令偶々實害ヲ受ケタル者アリトスルモ斯ノ如キハ不注意ノ結果ト云ハサルヘカラス故ニ附加刑ノ執行ヲ遁レタル所爲ヲ罰スルノ必要ハ徹頭徹尾之レナシト斷言スルニ躊躇セサルヘシ然ルニ我立法者カ本節ノ規定ヲ設ケタル

ハ果シテ何等ノ必要ニ基因スルヤ得テ知ルヘカラスト雖モ予ヲ以テ之ヲ視レハ之ヲ廢止スルヲ以テ寧ロ法理ニ適合スルモノト云フヘシ改正草案者モ亦將ニ之ヲ廢セントスルハ洵ニ故アリトス世ノ論者以テ如何ト爲ス

第五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ單純ニ剝奪公權又ハ停止公權ヲ行ヒタルノ所爲ヲ罰スルニアラス私ニ行使シタルトキニ於テノミ其罪成立ス而シテ私ニトハ如何ナル意味ヲ有スルヤ蓋シ公權ヲ剝奪若クハ停止セラレタルコトヲ秘シ我ヨリ進ンテ其權ヲ行フノ謂ヒニシテ詐僞ノ意味ヲ含蓄ス例ヘハ履歷書ニ罪ヲ犯シタルコトヲ記セスシテ官吏公吏又ハ學校教師ト爲

リ又ハ舊惡ヲ秘シテ裁判所ニ於テ證人ト爲リ又ハ議員ト爲リ若クハ選舉スルカ如キ是レナリ是等ノ所爲ハ私ニ公權ヲ行ヒタルモノナルヲ以テ本條ニ問ハサルヘカラス之ニ反シテ我レヨリ求メタルニアラス官署又ハ公署等ヨリ推薦セラレテ官吏若クハ公吏ニ任シ又議員ニ選舉セラレ又ハ裁判所ヨリ命セラレテ證人ト爲リタル場合等ニ於テハ罪トシ論スヘカラス何トナレハ是等ノ場合ハ我レヨリ進ンテ私ヲ行ヒタルニアラサレハナリ之ニ反シテ假令我レヨリ進ンテ行ヒタルニアラストスルモ官吏若クハ公吏ニ推薦セントスル者又ハ裁判官ヨリ罪ヲ犯シタルコトヲキヤ否ヤト問ハン曾テ罪ヲ犯シタルコトヲシト答ヘテ任官又ハ證人ト爲リタル場合ニハ本條ヲ適用スヘキモノト思考ス何トナレハ其實ヲ告ケサルノ所爲ハ即チ詐僞ニシテ私ニ公權ヲ行ヒタルモノト看做スヲ至當トスレハナリ證人ノ場合ニ於テ舊犯

罪ノ有無ヲ問ハレ公衆ニ對シテ其實ヲ告ルハ恥辱ナリトシテ之ヲ告ケサル所爲ノ如キハ之ヲ罰スルニ忍ヒサルノ情狀アリト雖モ到底詐僞ノ性質ヲ免レサルヲ以テ本條ニ照シテ之ヲ罰スルハ己ムヲ得サルナリ

爰ニ本條ノ罪ト第四百四十二條ノ罪即チ囚徒逃走罪トヲ對比スルニ囚徒逃走罪ハ身軀ニ關スル刑ノ執行ヲ遁ル、モノニシテ有形上ニ屬シ附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪ハ權利ニ關スル刑ノ執行ヲ遁ル、モノニシテ無形上ニ屬シ其罪孰レカ最モ重シトセハ前者ハ重クシテ後者ハ輕キカ如キノ觀アルニ拘ハラヌ第四百四十二條ノ刑ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニシテ本條ノ刑ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ其長期ニ於テ六月ノ大差アリ斯ノ如ク彼是顛倒スルカ如キノ規定アルモノハ何ソヤ蓋シ左ノ二箇ノ理由アルニ基クモノ、如シ

第一公權ヲ剝奪若クハ停止セラレタル者ヲ監督シテ謹慎其刑ニ服セシムルハ頗ル難事ニシテ獄舎ニ繋留スル者ト逃走ヲ防クトハ同日ノ論ニアラス然ルニ其監督ノ困難ナルヲ奇貨トシテ其執行ヲ遁レントスルハ其狀惡ムヘキモノアルノミナラス此種ノ犯罪ヲ豫防スルカ爲メニハ其刑ヲ重クセサルヘカラサルコト亦猶ホ官吏ノ犯罪ハ常人ノ犯罪ヨリ一層其刑ヲ重クスルノ必要アルカ如シ第二人ノ自由ヲ欲スルハ天性ノ然ラシムル所ナルヲ以テ囚徒ノ逃走ハ大ニ恕スヘキノ情狀アリ之ニ反シテ詐僞手段ヲ以テ剝奪公權若クハ停止公權ヲ行フノ所爲ハ其情狀惡ムヘキモノアリ蓋シ本條ノ罪ヲ罰スルニ逃走罪ヲ罰スルヨリ一層重カラシムル所以ナリト思考ス

本條ノ罪ハ果シテ逃走罪ヨリ重カラシムルヲ以テ至當ト爲ス乎其刑モ亦重カラシムルハ其當ヲ得タリトスヘキモ公權云々トアル以上ハ

其性質ハ國事犯ノ部類ニ屬スルニモ拘ハラズ之ヲ常事犯ノ刑ニ處スルハ何ノ理ソヤ草案第百八十二條ニハ輕禁錮ニ處ストアリ予ハ草案ノ規定ヲ以テ其當ヲ得タルモノト信ス然レモ附加刑ノ執行ヲ遁ル罪ハ既ニ詳論シタルカ如ク元來之ヲ罪トシテ罰スルハ法理ニ反スルノ嫌ヒヲ免レサルモノ、如シ故ニ前述ノ如ク之ヲ罰スルノ理由アリトスルモ一方ヨリ之ヲ論スルトキハ到底穩當ヲ失スルモノト云ハサルヘカラス

爰ニ本條ヲ講スルニ臨ミ尙ホ一言スヘキモノアリ他ナシ公權ヲ剝奪若クハ停止セラレタル者ナルコトヲ知テ官吏若クハ公吏ニ推薦シタル者ハ從犯ヲ以テ論スヘキヤ否ヤノ疑問是レナリ予ハ從犯ヲ以テ論スヘキモノト思考ス何トナレハ是等ノ所爲ハ共犯ノ性質ヲ具備スルモノナルヲ以テナリ其推薦セラレタル者ハ固ヨリ私ニ公權ヲ行ヒタ

ルノ責ヲ免レス隨テ其情ヲ知テ推薦シタル者モ亦其責ヲ負フヘキハ法理上當然ノ結果タルヘシト信ス

第百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背ストハ例ヘハ一月二回所轄警察署ニ出テ調査ヲ受クヘキニ之ヲ怠リ又ハ恣マ、ニ旅行スルコトヲ許サ、ルニ旅行シテ一定ノ住所ニ居ラサルカ如キ所爲ヲ云フニ外ナラス是等監視規則ニ違背シタル者ハ本條ヲ適用シテ之ヲ罰スヘシト雖モ其警察署ニ出テ調査ヲ受ケシムルカ如キハ公衆ニ對シテ受刑人ナルコトヲ表セシムルト一般ニシテ之カ爲メ假令再犯ヲ豫防スルノ効アリトスルモ益々信用ヲ失ハシムルノ結果ヲ免レスシテ世人ニ嫌疑セラレ爲メニ就業ノ途ヲ失ヒ飢渴ヲ支フルコト能ハスシテ終ニ再ヒ

罪ヲ犯スニ至ラシムルノ憂ヒヲ免レサレハ予屢々之ヲ論述セリ故ニ予ハ本條ノ規定ハ之ヲ廢スヘシト主張スルモノナリ若シ廢スヘカラストセハ監視規則ヲ改正スルハ甚ダ必要ナリ信ス然ラサレハ規則違犯者ノ跡ヲ絶ヌシムルコト能ハサルノミナラス再犯豫防ノ目的モ亦之ヲ達スルノ期ナカルヘシト思考ス

第二百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス

本條ハ第四百十三條ト同一ノ意味ニ解釋セサルヘカラス前二條ノ罪ハ前ニ一ノ犯罪アリテ然シテ後起ルヘキ犯罪ナリ故ニ其刑期限内再ヒ犯シタルトキニアラサレハ再犯ヲ以テ論スヘキニアラス而シテ再犯ヲ以テ論スヘカラストハ再犯タルニハ相違ナシト雖モ猶ホ之ヲ初犯ト看做シテ其刑ヲ加害セスト云フニ外ナラス尙ホ第四百十三條ノ

講說ヲ參看スヘシ

第五節 私ニ軍用ノ銃礮彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

銃礮彈藥ハ國安保護ノ軍備ニ供スル要具ナリ而シテ國安保護ノ責務ヲ負フモノハ政府ナリ故ニ銃礮彈藥ノ製造ハ獨リ政府ノ特權ニ歸セシメサルヘカラス銃礮彈藥ハ軍備上欠クヘカラスルノ要具ナリト雖モ危險ヲ存スル亦是レヨリ大ナルハ莫シ若シ銃礮彈藥ノ製造ヲシテ人民ノ自由製造ニ放任セハ國事犯其他ノ危險ヲ招キ易キハ實例ヲ待テ後チ知ラサルナリ又其製造權ヲ政府ノ專有ニ屬セシムルモ其所有權ヲシテ人民ノ自由ニ放任セハ亦是レ危險ヲ招キ易シ何トナレハ政府ノ製造ニ係ルモノハ之ヲ藏シテ自由販賣ヲ禁スヘキモ外國ヨリ輸入スルモノニ至テハ之ヲ防遏シ得ヘカラスレハナリ故ニ危險ヲ豫防

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪 第五節 私ニ軍用ノ銃礮彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

シ國安ヲ保維スルニハ銃礮彈藥ノ私製ヲ禁スルト同時ニ其所有ヲモ禁シ此二禁ヲ犯スモノハ之ヲ罰セサルヘカラス是レ本節ノ規定アル所以ナリ

第一百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供

スル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

陸海軍ノ用ニ供スル銃礮彈藥其他破裂質ヲ具フル物品ノ製造輸入及ヒ販賣ヲ罰スルハ即チ危險ヲ豫防スルニ外ナラスト雖モ陸海軍ノ用ニ供スル銃礮彈藥トハ陸海軍ノ用ニ供セラルヘキ物質ヲ有スル銃礮

彈藥ノ謂ヒタルニ過キス故ニ獵銃短銃又ハ空氣銃ノ如キモノハ之ヲ製造輸入若クハ販賣スルモ法律ノ問フ所ニアラス其他破裂質ヲ有スル物品トハ爆發物規則ニ掲クル爆裂藥爆裂彈及ヒ彈丸製ノ烟火ノ如キ是レナリ是等ノ物品ハ動モスレハ破裂シ易キ危險アルノミナラス爆裂彈ノ如キハ往々國事犯者ノ一利器ニ供セラル、チ以テ其製造輸入及ヒ販賣ヲ罰セサルヘカラス之ヲ要スルニ軍用ノ銃礮彈藥及ヒ爆發彈ノ如キハ國ノ禁制物ニ屬スルハ唯々ニ特別法ヲ以テ之ヲ規定スルノミナラサルハ第六十條ノ規定ニ照シテ明カナリ故ニ其製造輸入及ヒ販賣スル者ハ之ヲ罰セサルヘカラスト雖モ其之ヲ罰スルハ官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得サル者ニ限ラシメ危險豫防ノ取締ヲ爲スチ以テ足レリトスヘシ全ク其製造輸入及販賣ヲ禁スルニ至テハ亦商工業ノ進歩ヲ妨碍スルニ至ルヘシ即チ航海ヲ業トスル者ハ海賊ノ難ニ

備フルニ銃礮彈藥ヲ要シ天然ノ堅牢物ヲ破碎スル工事ニハ爆發藥ヲ要シ火藥ノ如キモ亦其營業ニ因リ欠クヘカテサルノ必要アリ故ニ本條ノ規定ハ保安上ノ取締ヲ嚴ニスルニ止リ其他ハ特別法ノ規定ニ從ハシムルモノトス之ヲ換言スレハ本條ハ特別法違背ノ制裁ヲ示スニ外ナラス

本條第一項ノ末文ニ掲ケタル輸入云々ニ就テハ往々疑問ヲ惹起スル場合アリ凡ソ禁制物ニ係ルモノハ關稅局ニ於テ之ヲ検査シ其官許ヲ得サルモノハ陸揚ヲ許サルヘシト雖モ錯誤若クハ詐偽ニ因リ稅關ヲ通過シタルトキ又ハ陸揚ニ際シ禁利物ナルノ故ヲ以テ其陸揚ヲ差止メラレタルトキノ如キハ如何蓋シ荷クモ輸入シタルモノハ秘密ト公然トチ問ハス當然之ヲ罰スヘシト雖モ己ニ港岸マテ運搬シ將ニ陸地ニ接セントスルトキ禁制物ナルコトヲ發見セラレ其陸揚ヲ差止メ

ラレタルトキノ如キハ純然タル輸入ト看做ストチ得ス未遂犯ヲ以テ論シテ可ナルカ如シト雖モ關稅局ヨリ陸揚ヲ差止メラレタルカ如キハ未遂犯ノ條件タル意外ノ障礙又ハ舛錯ト云フチ得ス故ニ右等ノ場合ニハ本條ヲ適用スルコトヲ得サルナリ草案者ボアソナード氏モ亦無罪ナリト主張セリ又關稅ヲ納完シテ陸揚ヲ爲シタルモノニ對シテハ公訴ヲ起スノ權アリトスヘキヤ予ハ公訴權アリト斷言スルニ躊躇セス何トナレハ關稅ヲ納完スルモ法律ノ明文ヲ動スコトヲ得サレハナリ若シ關稅官吏ノ共謀ニ係ルトキハ其官吏ハ共謀ヲ以テ論スヘキハ言チ俟マス蓋シ官吏ノ共謀ニ係ルト又ハ關稅ヲ納完スルト否トチ間ハス苟クモ禁制物ヲ輸入スル者ハ法律上ノ責任ヲ負フヘキハ當然タリ是レ法律適用ノ原理ニ於テ然ルハ版權免許ヲ得タルノ書籍ト雖モ條例ニ抵觸スル記事論文タルモノハ猶ホ之ヲ罰スルニ異ナラス

又本條ハ常事犯ニ對シテ適用シ第百二十五條ニ掲クル内亂ノ豫備ニ係ルモノハ製造輸入及ヒ販賣ノ區別ヲ問ハス之ヲ内亂ノ豫備罪トシテ之ヲ論シ本條ヲ適用セス

第百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

本條ハ職工又ハ雇人カ備主又ハ店主ノ使令ニ從ヒ前條ノ罪ヲ侵シタル所爲ヲ罰スル規定ニシテ前條ノ罪ノ從犯タルカ如シト雖モ從犯ノ性質ヲ帶ルモノニアラス即チ備主又ハ店主ノ使令ニ服從セサルトキハ忽チ解備セラレテ活路ヲ失フ等ノ關係アルニ因リ己ムヲ得スシテ罪ヲ犯スニ至レルモノト推測セサルヘカラス故ニ本條ノ所爲ハ一種ノ正犯ト看做スヘキモノニシテ是レ各本刑ニ二等ヲ減スル所以ナリ若シ本條ノ所爲ハ從犯ヲ以テ論スヘキモノトセハ第百九條ノ原則ニ

從ヒ其刑一等ヲ減スルニ止ラシメサルヘカラス其刑二等ヲ減スルモノハ即チ事實ヨリ觀察スルモ職工トシテハ銃礮彈藥等ヲ製造シ雇人トシテ之ヲ販賣シタル場合ハ犯罪ノ所爲ヲ實行シタルモノナレハ正犯タルコト勿論タリ然レモ本條ノ罪ハ使令者アリテ始メテ犯シ得ルモノナリ且ツ勞役者ハ使令ニ供シテ製造又ハ販賣スルモ其製造物又ハ販賣物ニ依テ利益ヲ得ル者ニアラス其目的ハ多少ノ賃銀ヲ得ント欲スルニ過キス故ニ其所爲ハ正犯タリト雖モ亦大ニ恕スヘキモノアリ是レ立法者カ本條ノ罪ヲ以テ其犯罪ノ例外ニ置キ其刑ヲ減輕シタル所以ナリ然ルニ法文上正犯ノ文字ヲ掲ケタルハ蓋シ其當ヲ得サルモノニシテ此文字ニ拘泥シテ解釋ヲ下ストキハ本條ノ所爲ハ從犯視セサルヘカラサルノ結果ヲ來シ大ニ意味ヲ誤ルニ至ルヘシ
前條ノ犯罪ニ關シ職工又ハ雇人タル者ハ本條ヲ以テ處斷スヘシト雖

モ單ニ器具ヲ給與シテ犯罪ヲ補助シタルノ所爲ハ第九條ニ照シ從
犯ヲ以テ論セサルヘカラス果シテ然ラハ從犯ノ刑却テ正犯ヨリ重キ
ノ結果ヲ呈スルニ至ルヘシ即チ從犯ハ前條ノ正犯ヨリ一等ヲ減セラ
ル、ニ過キサルヲ以テ本條ノ正犯タルノ勞役者ノ刑ヨリ一等重カラ
シメサルヘカラス是レ權衡ヲ失スルノ嫌ヒヲ免レスト雖モ成文法ノ
結果ニ屬シ默シテ止ムノ外アラサルナリ

第五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂
犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ前二條ノ罪ニハ未遂犯例ヲ適用スルコトヲ明示シタルニ過キ
スシテ説明ヲ要スルノ點ナシ唯々輸入ノ未遂犯ニ就テハ往々ニシテ
疑問ヲ生スヘキヲ以テ予ハ既ニ之ヲ論セリ宜シク第五十七條ノ解
說ヲ參看スヘシ

第六十條 第五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者

ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

凡ソ危險ノ害アル物品ハ唯々ニ其製造販賣ヲ禁スルニ止ラス其所有
ヲモ禁セサルヘカラス然ラサレハ之ヲ密藏シテ往々危害ヲ社會ニ加
フルニ至ルヘシ是レ官命ヲ受ケ又ハ官許ヲ得スシテ私ニ第五十七
條ニ記載シタル物品ヲ所有スル者ヲ罰スル所以ナリ

本條ニ所有トアルハ民法上ニ定メタル所有權トハ異ナルモノト思考
ス即チ民法上ノ所有及ヒ占有ヲモ包含スルモノト解釋セサルヘカラ
ス然ラサレハ現ニ之ヲ所持スルモ所有ニアラス占有ナリト主張スル
トキハ之ヲ罰スルコトヲ得スシテ爲メニ危險ヲ胚胎スルノ憂ヒヲ免
レス故ニ所謂所有トハ所有及ヒ占有ヲ包含スルモノト解釋シ苟クモ
私ニ之ヲ所持スル者ハ其所有ト占有トヲ問ハズ本條ヲ適用ヒサルヘ

カラス立法者ノ意モ蓋シ亦此ニ在リテ存スルモノト思考ス

第六十一條 第五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル
器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒
收ス

我刑法ハ既ニ危險物ノ製造ヲ禁シタリ既ニ之ヲ禁シタル以上ハ製造
用ニ供スル器械ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收セサルヘカ
ラス然ラサレハ密造ノ憂ヒヲ免レス而シテ法律ニ於テ禁制シタル物
件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收スルコトヲ得ルハ第四十四條ノ明
示スル所ニシテ特ニ本條ヲ設クルノ必要ナキカ如シト雖モ第五十
七條ニ記載シタル物品ハ禁制物ト看做スヘキモ其製造器械ニ至テハ
禁制物ト同視スルコトヲ得ス故ニ第四十四條ヲ適用シテ之ヲ沒收ス
ルコトヲ得ス又第四十三條ヲ適用セント欲スルモ犯罪ノ用ニ供シタ

ル物件ニアラサレハ之ヲ沒收スルコトヲ得サルカ故ニ若シ移轉シテ
犯人外ニ屬スル人ノ所有ニ歸シタルトキハ之ヲ沒收スルコトヲ得ス
是レ本條ノ特設アル所以ニシテ即チ總則ノ例外ニ屬スルモノナリ然
レモ其沒收ハ單ニ其製造用ニ供スヘキモノニ限リテ之ヲ行フノミ假
令ヘ其製造用ニ供シタルモ他ノ物品ノ製造用ニモ亦供シ得ヘキモノ
ハ之ヲ沒收スルコトヲ得ス又實ニ之ヲ沒收スルノ必要アラサルナリ
是レ單ニノ文字ヲ挿入シテ其制限ヲ示シタル所以ナリ
爰ニ本節ノ講説ヲ終ルニ臨ミ一言スヘキモノアリ本法定定ノ當時ハ
未ダ特別法ノ設備アラサリシヲ以テ本節ノ規定ヲ要シタリト雖モ是
等ノ禁制物ニ關スル取締及制裁ハ既ニ特別法ニ規定シテ之ヲ盡クシ本
節ノ規定ハ幾ント徒法ニ屬シ復タ之ヲ適用スヘキ場合アラサルナリ唯
タニ本節ノ罪ノミナラス傳染病豫防規則ニ關スル罪、危害品及ヒ健康

ヲ害スヘキ物品製造ノ規則ニ關スル罪等モ亦既ニ特別法ヲ以テ之ヲ規定セリ故ニ今日ハ本節ノ規定ヲ存セシムルノ必要アラサルナリ
 改正草案者モ亦本節ノ規定等ヲ目シテ無用ノ徒法ト做シ之ヲ全廢セ
 ントシテ曰ク「規則犯ノ如キハ其性質上ヨリ之ヲ論スルトキハ罪ト爲
 ルヘキノ所爲ニアラス特ニ規則ノ發希アリタルニ因リ始メテ罪トシ
 罰セラル、モノナリ而シテ特別法タル大概ハ社會一時ノ必要ニ基因
 シテ之ヲ設定スルニ過キサリヲ以テ常ニ一定不變ノ規定メラシムル
 コトヲ得ス故ニ是等ノ所爲ヲ普通犯罪ト同視シテ之ヲ刑法中ニ規定
 スルハ其當ヲ得ス且各種ノ規則ニ於テ其規定スル所或ハ重大ナルモ
 ノアリ或ハ輕微ナルモノアリ隨テ其違犯ノ所爲ニモ亦輕重ノ區別ア
 ルハ論ヲ俟タス然ルニ現行刑法ノ如ク各種ノ規則犯ニ就テ單純ナル
 一二ノ條文ヲ設ケ以テ其所犯ノ重大ナルト輕微ナルトヲ問ハス之ヲ

同一ニ處分セントスルハ適當ノ規定ニアラス故ニ規則ニ關スル犯罪
 ハ悉ク之ヲ削除シ各規則ニ就テ其處罰ヲ規定スヘキナリト改正草案
 者ノ說洵ニ理アリ故ニ本節ノ規定ノ如キハ本法改正ノ日ヲ待テ削除
 スルヲ得策トス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

往來通信ノ便否ハ社會進步ノ遲速ニ至大ノ關係アルノミナラス國防
 上ニ經濟上ニ寸時モ欠クヘカラサルノ必要アリ實ニ往來通信ノ便否
 ハ國運ノ隆替ニ關スト云フヘシ是レ何レノ邦國ヲ問ハズ往來通信ノ
 便路ヲ擴張スルト共ニ之ヲ保護スルニ努ムル所以ニシテ往來通信ヲ
 妨害スルノ所爲ハ直チニ社會ニ大害ヲ加フルモノナリ即チ社會ノ公
 益ヲ妨害スルモノナリ故ニ之ヲ罰セサルヘカラス是レ本節ノ規定ア
 ル所以ナリ

第一百六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ罪ハ即チ往來妨害ノ所爲ニシテ三條件ノ具備ニ因テ構成セラレ、モノトス

第一 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シタルコト

第二 損壞シタルニ因リ人馬船舶ノ往來ヲ妨害シタルコト

第三 人馬船舶ノ往來ヲ妨害スルノ目的ヲ以テ道路橋梁河溝港埠

ヲ損壞シタルコト

第一 道路橋梁河溝港埠トハ陸路ト水路トノ往來ニ關スル重要ノモノニシテ之ヲ損壞スルトキハ直チニ往來ヲ妨害ス故ニ本條ヲ適用スヘキモ人馬船舶ノ往來ヲ妨害スルハ是等ノ要處ヲ損壞スルノミニ止

ラス渡船場ノ棧橋ヲ損壞スルカ如キ又道路ニ大木巨石ヲ堆積スル等ノ所爲モ亦往來ヲ妨害スト雖モ是等ノ所爲ハ違警罪又ハ特別法ニ規定スヘキモノニシテ悉ク之ヲ刑法ニ規定スルハ至難タルノミナラス却テ錯雜ヲ來スノ恐レアリ故ニ本條ハ其重大ナルモノヲ列擧シタルニ過キサルヘシ而シテ本條ニ記載セサルモノヲ推壞シ又ハ損壞セシテ妨害シタルモノニ對シテハ明文ナキヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得ス唯々惡意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠ヲ壅塞スル所爲ハ假令損壞シタルニアラサルモ現ニ往來スルコト能ハサルノ點ヨリ論スルトキハ損壞ハ徑庭スル所ナレ故ニ此所爲ハ損壞ト看做シテ本條ヲ適用シテ可ナルモノト信ス

第二 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞スト雖モ人馬船舶ノ往來ヲ妨害スルニ至ラサルモノハ本條ヲ適用スルコトヲ得ス例ハ道路ノ片側ニ小

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三卷 解論ヲ害スル罪 第三百三十七
第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

坑ヲ穿チ又ハ河溝ノ沿岸ニ龜裂ヲ生セシメタルカ如キ是レナリ是等ノ所爲ハ惡ムヘシト雖モ未タ往來ヲ妨害スルニ至ラサルヲ以テ違警罪ノ規定ヲ以テ罰スヘキモ本條ヲ適用スルコトヲ得ス本條ハ必ス往來ヲ妨害スルコトヲ要ス

第三 人馬船舶ノ往來ヲ妨害スルニ足ルヘキ損壞ヲ加ヘタリト雖モ人馬船舶ノ往來ヲ妨害スルノ目的ニ出ルニアラス即チ無意犯ナルトキハ本條ヲ適用スルコトヲ得ス本條ハ罪ヲ犯スノ意アルコトヲ要ス假令往來ヲ妨害スルモ罪ヲ犯スノ意思ナク懈怠若クハ過失ニ出ルモノハ之ヲ罰セス故ニ往來ヲ妨害ノ意思ハ一般ノ往來ヲ妨害セントスルニ出ルト或ハ復仇等ノ爲メ一人ノ往來ヲ妨害セントスルニ出ルトト問ハス苟クモ往來ヲ妨害スルニ足ルヘシト認メタルノ所爲ハ本條ヲ適用シテ之ヲ罰スヘキモノト思考ス之ヲ要スルニ本條ハ往來ヲ妨害

スルノ惡意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シタルノ事實アルニアサレハ之ヲ罰セサナリ

第六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止

シタル者ハ亦前條ニ同シ

本條ハ偽計又ハ威力ヲ以テ郵便事務ヲ遲延若クハ阻滯セシメタル者ヲ罰スルノ規定ナリ偽計トハ道路損壞シ又ハ橋梁流失シタリト云フカ如キノ偽言ヲ以テ郵便脚夫ヲ欺キ爲メニ迂路ヲ取ラシムル等ノ所爲ヲ云ヒ威力トハ暴行脅迫ノ所爲ヲ以テ脚夫ノ通行ヲ阻止シタル等ノ所爲ヲ云フ是等ノ所爲ハ即チ通信ヲ妨害スルモノニシテ其害ハ往來ヲ妨害スルモノニ讓ラス故ニ前條ノ刑ヲ以テ之ヲ罰スルモノトス郵便妨害ノ所爲ハ偽計又ハ威力ヲ以テスルモノ、外妨害ト認ムヘキ場合ナシトスヘキ乎郵便馬車ヲ顛覆シ又ハ郵便箱ヲ破毀スル所爲ノ

如キモ亦郵便ヲ妨害スルモノト云ハサルヘカス然レモ本條其明文アラザレテ以テ之ヲ罰スルコトヲ得サルヘシ又次條ニ掲グル電信妨害ノ罪ハ損壞ヨリ成立スルモ其脚夫ニ對シテ偽計又ハ威力ヲ加ヘタル場合ヲ想像セス故ニ電信妨害ニ就テハ偽計又ハ威力ヲ罰スルコトヲ得ス實ニ本條及ヒ次條ハ不備ノ法文タルヲ免レス故ニ是等ノ條文ニ修正ヲ加フルニアラザレハ到底刑ノ權衡ヲ得セシムルコト能ハサルモノト思考ス

第六十四條 電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ爲スト雖モ不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

本條ハ電信妨害ノ罪ニ係リ第一項ハ即チ電信器械ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ妨害罪ヲ構成スルノ所爲ヲ明示シタルニ過キス此妨害罪ハ電氣ヲ不通ニ致シタルニ因テ成立スルハ法文ヲ一讀シテ明カナリト雖モ第二項ニ至テ電氣ノ妨害ヲ爲スト雖モ不通ニ至ラサルハ一等ヲ減ストアリ是レ第一項ノ所爲ハ其害大ニシテ第二項ノ所爲ハ其害稍ヤ少ナリ故ニ未遂犯ヲ以テ論スヘシト云フニ在ル乎若シ電氣ヲ不通ニ至ラシメントスルニアラス單ニ柱木ヲ損壞スル等ニ過キサレノ目的ヲ以テ之ヲ損壞シタルモノハ之ヲ既遂犯ト看做スヘキ乎將タ未遂犯ト認ムヘキ乎其既遂犯タルハ辯テ俟タサルナリ既ニ第二項ノ所爲ハ未遂犯ニアラスシテ一ノ既遂犯ト看做サルヘカラス然レモ其害第一項ノ所爲ニ比スレハ稍ヤ小ナルヲ以テ其刑ニ至テ一等ヲ減スルニ過キサレヘシ若シ第二項ハ未遂犯ヲ以テ論スヘシトセハ第七十條ノ規定アリ特ニ本條第二項ノ規定ヲ設クルノ必要アラサルナリ

第二編 及益ニ關スル罪輕罪 第三章 誣謐ヲ害スル罪
第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

爰ニ本條ノ罪ヲ以テ第六十二條ノ罪ニ比スレハ彼レハ往來妨害ニシテ是レハ電信妨害ナリ其間罪ニ輕重ノ差アルヲ觀サルニ拘ハラズ電信妨害罪ノ刑ハ往來妨害罪ノ刑ヨリ一尊重キモノハ何ソヤ道路河港等ヲ損壞スルノ罪ハ犯シ難フシテ防キ易キノ實アリ之ニ反シテ電信器械ヲ損壞スルノ罪ハ犯シ易フシテ防キ難シ是レ往來妨害罪ノ刑ハ輕フシテ電信妨害罪ノ刑ヲ重クスル犯罪豫防ノ効ヲ期スルニ外ナラス

第六十五條 瀛車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者ハ重懲役ニ處ス

本條ハ瀛車ノ往來ヲ妨害スルノ所爲ヲ罰スルノ規定ニシテ有意犯ナリ即チ瀛車ノ往來ヲ妨害セントスル惡意ヲ以テ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者ヲ罰スルナリ此規定ハ其當ヲ得

タルカ如シト雖モ猶ホ欠點アルヲ免レス何ソヤ故意ヲ以テ損壞又ハ障礙ヲ爲スト雖モ瀛車ノ往來ヲ妨害セントスルノ意思ニ出テサルモノハ之ヲ罰スルコトヲ得サル是レナリ例ヘハ田畝ノ妨害ト爲ルヘキ本根若クハ石等ヲ軌道ニ擲棄シタル所爲ノ如キ是等ノ所爲ハ往々ニシテ大危險ヲ招クヘキヲ以テ之ヲ罰シ以テ將來ヲ懲戒スルハ甚ダ必要ナルヘシト雖モ其所爲ハ瀛車ノ往來ヲ妨害セントスルノ意思ニ出テタルニアラサレハ之ヲ罰スルコトヲ得ス又第六十六條ニハ詐僞ノ標識ヲ點示シタル者ヲ罰スルノ明文アリ本條ニハ其明文アラサルヲ以テ詐僞ノ標識ヲ點示シ爲メニ瀛車ノ運轉ヲ誤ラシメ如何ナル危害ヲ惹起スルモ之ヲ罰スルコトヲ得サルヘシト論スル者アリ然レモ予ハ是等ノ所爲ハ其他危險云々ノ中ニ包含スルモノト思考ス危險ナル障礙ト云ヒハ木石等ヲ軌道ニ堆積シ以テ瀛車ノ顛覆ヲ致サシメン

トスル等ノ所爲ヲ云フニ在ルハ明カナリト雖モ危險ナル障礙ハ尙他ニ種々アルヘクシテ一々之ヲ列擧スルコトヲ得ス故ニ詐僞ノ標識ヲ點示スルノ所爲ノ如キモ亦其一ナリト云ハサルヘカラス然ルニ船舶ノ往來ヲ妨害スルノ所爲ニ就テハ特ニ詐僞ノ標識云々ト記載シ本條ニハ之ヲ掲ケサルモノハ他ナシ第百六十六條ニハ其他危險云々ノ明文ナキヲ以テ特ニ詐僞ノ標識ヲ記載スルノ必要アルノミナラス船舶ノ往來ハ瀛車ノ軌道ニ於ケルカ如ク必シモ一轍ノ線路ヲ往來セス多少線路外ニ傾斜スルコトアルヲ以テ詐僞ノ標識ヲ點示スルトキハ往々危險ニ陷ラシメ易ケレハナリ然レモ本條ハ要スルニ完全ノ規定ト云フヲ得ス故ニ多少ノ修正ヲ要スルハ論者ノ言ヲ俟タサルナリ

瀛車ノ往來ヲ妨害スルハ實ニ危險ナリ若シ爲メニ瀛車ニ顛覆ヲ致スニ至ラハ人命ニ關係アリ故ニ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル

障礙ヲ爲スノ所爲ハ未タ實害ヲ爲スニ至ラスト雖モ重刑ヲ科シ嚴ニ之ヲ懲ラサハルヘカラス是レ本條ノ罪ハ重罪ヲ以テ論スル所以ニシテ其當ヲ得タリトス然レモ人車ト貨車トヲ區別セズ其往來ヲ妨害スル者ハ總テ同一ノ刑ニ處スルハ權衡ヲ失スルノ嫌ヒナシトスル乎人車ト貨車トノ區別ヲ問フノ必要ナシ苟クモ其往來ヲ妨害スルノ所爲ハ皆危險アリトシテ等シク之ヲ罰スヘシ何トナレハ瀛車ハ頻々往來スルモノナルヲ以テ第一行ノ貨車既ニ顛覆スルトキハ第二行ノ人車モ亦顛覆スルノ危險アレハアリ故ニ瀛車ニ就テハ船舶ヲ覆没スルノ處刑ニ於テ人ヲ乗載シタルモノト否トヲ區別スルカ如キアルヲ要セサルナリ

第百六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐僞ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦

前條ニ同シ

本條モ亦是レ有意犯ニシテ船舶ノ往來ヲ妨害スルノ惡意ニ出ルヲ要ス然レモ本條ヲ適用スルニハ列記スル所ノモノヲ損壞シ又ハ詐僞ノ標識ヲ點示スルノ所爲アルヲ以テ足レリトス其果シテ妨害ヲ爲シタルト否トヲ問フ要セス又其妨害ニ因リ船舶ヲ覆没ニ致シタルトキハ第四百十九條又ハ第四百十六條ニ問フヘキモノニシテ本條ノ與カル所ニアラス

船舶ノ往來ヲ妨害スルノ所爲ハ本條ニ掲グル所ヲ以テ盡セリトスヘキ乎本條ノ規定ハ單ニ航海ノ船舶ヲ保護スルニ止マリ河川ヲ往來スル船舶ハ之ヲ度外ニ置クノ看ナキニアラス燈臺浮標ト云ヒ標識ト云ヒ皆是レ航路ニ要スルモノニシテ河川ニ屬セサルカ如シ而シテ船舶ノ往來ヲ妨害スル所爲ハ右等ノモノヲ損壞スルニ止ルモノトセハ河

川ヲ往來スル船舶ニ就テハ其通路ヲ妨害スルモ措テ問ハサルカ如ク又之ヲ罰スルコトヲ得サルカ如シ實ニ奇怪ナリト云ハサルヘカラス今日ハ河川ト雖モ唯々ニ小船ノ往來頻繁ナルノミナラス汽船ノ往來モ亦織ルカ如シ然ルニ其往來ヲ妨害スルノ所爲ニ關シテ何等ノ明文ヲモ掲ケサルハ予カ大ニ怪ム所ナリ況ンヤ河川ヲ往來スル船舶ニ對シテ妨害ヲ加ヘントセハ種々ノ惡手段アルニ於テオヤ例ヘハ川底ニ巨木大石ヲ投スルカ如キアラハ往々ニシテテ危險ヲ加フルニ至ルヘシ然ルニ本條其他航海ノ安寧云々ノ法文ヲ掲ケ其保護ヲ河川ノ船舶ニ及ホサ、ルカ如キノ看アラシムルハ亦是レ一ノ欠點タルヲ免レス予ヲ以テ觀レハ其他船舶ノ安寧ヲ妨害スルノ所爲又ハ船舶ノ危難ヲ招クヘキ所爲ト改ムルヲ以テ其當ヲ得タルモノト信ス

第六百六十七條 前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル官吏及ヒ雇

人職工自テ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ
前數條ニ記載シタル罪ハ其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工等自ラ之
ヲ犯ストキハ道德ニ背戾スルコト最モ甚シク且ツ之ヲ犯シ易フシテ
防キ難シトス是レ其刑ヲ加重スル所以ナリ

第六十八條 第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ
毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ之ヲ毆打創傷ノ各
本條ニ照シ重キニ從テ處斷スルハ至當ノ處分ナリト雖モ毆打創傷ノ
罪ハ時トシテハ第六十二條ノ罪ヨリ輕キ場合アリ即チ身躰ニ創傷
ヲ成シタルニ過キササル者ハ其刑十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス
ルニ過キス然ルニ第六十二條ノ罪ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ
罰金ノ附加アリ若シ第六十二條ノ罪ヲ犯スニ際シ人ヲ毆打創傷シ

其結果ハ第三百二條第二項ニ該當スルニ過キサルトキハ如何蓋シ數
罪俱發ヲ以テ論シ其重キニ從テ處斷スルノ例ニ照シ猶ホ之ヲ第六
十二條ノ本刑ヲ科シ毆打創傷ノ所爲ハ之ヲ不問ニ付スヘキ乎單純ニ
第六十二條ヲ犯ス者モ尙且ツ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處スヘ
シトセハ其犯罪ニ因テ人ヲ毆打創傷シタル者ハ一等加重シテ至當
ナルハ論ヲ俟タス然ルニ毆打創傷シタルノ故ヲ以テ却テ其刑ヲ輕カラ
シムルハ不權衡モ亦甚シト云ハサルヘカラス故ニ草案ニハ豫メ謀テ
人ヲ毆打創傷シタル例ニ照シ重キニ從テ處斷ストアリ斯ノ如ク規定
セハ前述ノ如キ不權衡ヲ來スノ憂ヒナク各其當ヲ得セシムルコトヲ
得ヘシト信ス要スルニ本條モ亦是レ修正ヲ要スルノ條文ナリトス

第六十九條 第六十五條第六十六條ノ罪ヲ犯シ因テ瀛車ヲ
顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シ

タル時ハ死刑ニ處ス

本條ノ罪ハ重大ナリ隨テ其刑重キハ至當ナリト雖モ第百六十六條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル所爲ニ就テハ第四百十五條ノ明文アルヲ以テ特ニ本條ノ如キ明文ヲ掲ルノ必要ヲ見ス第四百十五條ノ所爲ハ船中ノ犯罪ニ屬シ第百六十六條ノ所爲ハ船外ノ犯罪ニ屬スルヲ以テ本條ノ明文ヲ要スルカ如シト雖モ第四百十五條ニハ衝突其他ノ所爲ヲ以テ云々トアリ唯タニ船中ノ犯罪ノミニ止ラサルハ明カナリ故ニ本條ノ明文ハ蛇足ニ屬セリ予ハ第百六十六條ニ關スル明文ヲ削除シ唯タ其所爲ニ因リ危難ヲ生シタル場合ヲ規定スルヲ以テ足ルモノト信ス然ルニ本條ニハ危險ナル障礙ニ因リ瀛車ヲシテ線路ヲ脱セシメ往來ノ妨害ニ因リ船舶ヲシテ暗礁ニ乗上ケシメタル等ニ關シテハ何等ノ明文モナシ亦是レ一ノ欠點タルヲ免レス

第百七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル

者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ特ニ説明ヲ下スノ必要ナシ

改正草案者ハ往來通信ヲ妨害スル罪ヲ靜謐ヲ害スル罪ノ第五節ニ掲ケ數箇ノ修正ヲ加ヘ以テ現行法ノ欠點ヲ補充セントス現行法ニハ往來ヲ妨害スルニ關シ道路橋梁等ヲ損壞スル場合ヲ規定スルニ止リ其他道路橋梁等ヲ壅塞シテ往來ヲ妨害スル場合ヲ想像セス是レ一ノ缺點アリ改正草案者ハ之ヲ補修シ「惡意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シ又ハ壅塞シ云々」ノ法文ヲ掲ケントス此修正ハ甚ダ必要ナリト思考ス又瀛車ノ往來ヲ妨害スル罪ニ關シ現行法ハ鐵道及七標識ヲ損害シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル所爲ヲ罰スルモ詐僞ノ標識ヲ點示スル場合等ヲ想像セサルハ亦是レ缺點アリ改正草案

者ハ此點ヲモ補修シ其他危險ナル障礙ヲ爲シ云々トアルヲ修正シテ「瀛車ノ危難ヲ招ク可キ所爲ヲ行ヒタル者」トシ種々ナル妨害方法ヲ包含セシメントス而シテ船舶ノ往來ヲ妨害スル罪ニ就テモ現行法ノ規定ヲ以テ足レリトセス即チ河溝湖沼ニ往來スル船舶ハ幾ント保護外ニ置クモノ、如シ故ニ改正草案者ハ「其他航海ノ安寧ヲ保護スル云々」トアルヲ修正シ其他船舶ノ危難ヲ招ク可キ所爲ヲ行ヒタル者云々トシ以テ河溝湖沼ヲ往來スル船舶ニ對シテ妨害ヲ加フルノ所爲ヲモ包含セシメントス是等ノ修正モ亦甚ダ必要ニシテ其當ヲ得タリトス

又現行法ニ於テ瀛車船舶ノ往來ヲ妨害スルノ所爲ニ關シ單ニ惡意ニ出ルモノ、ミヲ罰シ妨害ノ意思ナキモノハ措テ問ハス是レ實ニ危險ヲ伏セシムルモノト云フヘシ何トナレハ故意ニ出ルモノト雖

モ爲メニ瀛車ヲ顛覆シ船舶ヲ覆没スルノ危險ヲ招クヘキヲ以テナリ故ニ苟クモ瀛車船舶ノ危險ヲ招クヘキノ所爲ヲ行ヒタル者ハ之ヲ罰シ以テ其危險ヲ豫防セサルヘカラス改正草案者ハ故意ニ出ルモノヲ罰センカ爲メ「故意ニ出ルト雖モ瀛車又ハ船舶ノ往來ヲ妨害スルノ意ナクシテ危難ヲ招ク可キ所爲ヲ行ヒタル者ハ云々」ノ明文ヲ掲ケントス故意ニ出ルニ止ルモノヲ罰スルハ酷ニ失スルカ如シト雖モ瀛車船舶ノ往來ニ關シテハ實ニ重大ノ危險アルヲ以テ已ムヲ得サルノ處分タルヘシ又現行法ハ往來ヲ妨害スルノ所爲ヲ罰スルニ止リ因テ危難ヲ生シタル場合ヲ想像セサルハ亦是レ欠點タリ改正草案者ハ更ニ「因テ危難ヲ生シタルハ各本刑ニ一等ヲ加ヘ人ヲ疾病死傷ニ致シタルトキハ豫メ人ヲ殺傷スルノ刑ニ擬シ重キニ從テ處斷ス」トノ明文ヲ掲テ又故意ニ出ルニ止ル場合ニモ因テ危難

ヲ生シタルトキハ一等加重シ人ヲ疾病死傷ニ致シタルトキハ毆打
創傷ヲ以テ論シ其重キニ從テ處斷スルノ規定ヲ設ケントス是レ亦
當テ得タルノ修正ナリト信ス何トナレハ往來妨害ノ所爲ニ因テ危
難ヲ生シタルモノト否トチ問ハス同一ノ刑ニ處スルハ其權衡ヲ失
スレハナリ故ニ右等不備ノ點ニ補修ヲ加フルハ必要アリ

第七節 人ノ住居ヲ侵ス罪

人ノ住居ヲ侵スノ所爲ハ人ノ安寧自由ト所有權トヲ害スルモノナリ
人民保護ノ上ニ於テ之ヲ罰セサルヘカラス家宅ハ吾人ノ城郭ナリ正
當ノ理由ナクシテ入ル者ハ即チ吾人ノ安寧自由ヲ妨害スルモノナリ
然ルニ若シ之ヲ罰セズンハ謀殺若クハ暴行ヲ加ヘントシテ侵入スル
者ト雖モ其意思ヲ實行セサル間ハ之ヲ制スルコトヲ得ヌ又々強盜盜
ヲ行ハントシテ侵入スル者アルモ亦其罪ヲ犯サ、ル間ハ之ヲ制スル

コトヲ得ヌ吾人ノ所有權ハ往々ニシテ侵害セラル、ニ至ルヘシ故ニ
吾人ノ安寧自由ヲ保護シ吾人ノ所有權ヲ安全ナラシムルカ爲メ家宅
侵入ノ所爲ハ之ヲ罰セサルヘカラス

家宅安居ノ權利ハ吾人カ國民トシテ享有スル最モ貴重ノ權利ナリ故
ニ住居ノ侵スヘカラサルハ各國管マニ之ヲ刑法上ニ規定スルノミナ
ラス憲法上ニモ之ヲ規定セリ我憲法モ亦其第二十五條ヲ以テ之ヲ規
定セリ本節ノ規定ハ即チ家宅安居ノ權利ヲ保護スルニ在ルヲ以テ苟
クモ正當ノ理由ナクシテ人ノ家宅ニ入ル者ハ暗殺若クハ強盜盜又ハ
暴行若クハ強姦等ヲ行ハントスルヤ否ヤハ未タ判然セサルトキト雖
モ一罪トシテ之ヲ罰スルナリ若シ右等ノ罪カ未遂犯ニ屬スルトキハ
之ヲ家宅侵入罪ニ問ハス其罪ノ未遂犯ヲ以テ罰スヘキハ論ヲ俟タヌ
第七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタ

ル建造物ニ入りタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ左ニ記載シタル所爲アル時ハ一等ヲ加フ

- 一 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時
- 二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入りタル時
- 三 暴行ヲ爲シテ入りタル時
- 四 二人以上ニテ入りタル時

本條ヲ解説スルニ先チ聊カ憲法上ノ關係ト刑法上ノ關係トニ就テ略
説スヘシ人ノ住所ヲ侵スノ罪ハ憲法上ノ原則ヨリ轉來スルモノ、如
クニ思惟スル者アリト雖モ法理上決シテ然ルニアラス各國ノ憲法上
他人ノ財産ハ害スヘカラス他人ノ住所ハ侵スヘカラサルノ原則ヲ揭
ルト雖モ此原則ハ政府ト國民トノ間ヲ規定シタルモノニシテ人民相
互ノ權利義務ニ關シテ規定シタルモノニアラス故ニ此原則アルニモ

拘ハラス一國政府ハ一個人ノ上ニ在ル多數ノ利益ノ爲メニハ少數ノ
利益ヲ制スト云ヘル原則ニ依リ社會ノ利益ヲ名トシテ人ノ住所ヲ侵
スコトナシトスヘカラス故ニ人ノ住所ヲ侵スノ罪ハ憲法上其住居權
ヲ保護スルニ拘ハラス刑法上之ヲ規定セサルヘカラス是レ本條及ヒ
次條ノ規定アル所以ナリ若シ強ヘテ人ノ住所ヲ犯スノ罪ハ憲法上ノ
原則ヨリ轉來スルモノトセハ他人ノ財物ヲ盜ムノ罪モ亦憲法上ヨリ
轉來スト云ハサルヘカラス豈ニ此ノ如キ理由アラシヤ故ニ本條及ヒ
次條ノ規定ハ憲法上ノ原則ニ對スル制裁法ニアラスシテ吾人相互ノ
權利ヲ妨害スルノ行爲ヲ罰スルニ外ナラス
本條ハ晝間人ノ住所ヲ侵スノ所爲ヲ罰スル規定ニシテ晝間トハ何時
ヨリ何時マテノ間ヲ云フヤ季節ニ因リ晝夜ニ長短ノ差ヲ生スルヲ以
テ其時間ヲ限定スルコトヲ得ス故ニ晝間トハ日出ヨリ日没マテノ間

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪 第三章 靜謐ヲ害スル罪 三百五十七
第七節 人ノ住居ヲ侵ス罪

ナ云ヒ夜間トハ日没ヨリ日出マテノ間ヲ云フモノト思考セサルヘカ
 ラス然レモ晝間ト夜間トノ區別ニ因リ罪ニ輕重ノ差ヲ生スルヲ以テ
 裁判官ハ其區別ノ認定ニ注意ヲ加フルハ肝要ナルヘシ
 故ナク人ノ住居スル邸宅又ハ人ノ看守スル建造物ニ入ルトハ蓋シ正
 當ノ理由ナクシテ入ルノ謂ヒタルニ外ナラス故ニ正當ノ理由アリテ
 入ル者ハ其主人ト相識ルト否トヲ問ハス本條ノ罪ハ成立セス本條ノ
 罪ハ故ナクシテ入ルト其入りタル邸宅又ハ建造物ハ人ノ住居又ハ看
 守スルモノナルトノ二條件ノ具備ヲ以テ構成ス然レモ故ナクシテ入
 ルノ條件ハ直チニ成立スルニアラス其入りタル理由ヲ詰問セラレテ
 辯疏スルコト能ハサルニ於テ成立ス之ヲ換言スレハ其入りタルハ正
 當ノ理由ニ出ルモノト認ムルコトヲ得サルニ於テ本條ヲ適用スヘシ
 ト云フニ外ナラス故ニ假令種々ノ辭柄ヲ設クルモ裁判官認メテ以テ

理由ト爲スニ足ラストセハ本條ノ罪ヲ免レス

〔故ナク〕ト云ヘル解釋ニ就テハ嚴格ニ解釋スヘキニアラス若シ之ヲ嚴
 格ニ解釋スルトキハ正當ノ理由アルモ恥辱ニ關スル情狀アルニ因リ
 其辯疏ニ逡巡スル場合等ニ於テ無罪ヲ罰スルノ結果ヲ來スノ恐レア
 リ例ヘハ人ノ僕隸タル者ト情ヲ通スル婦女カ其情夫ノ使役セラル、
 家ニ入りタル場合ノ如キ是レナリ是等ノ場合ハ婦女ノ身トシテ明カ
 ニ辯疏シ得サルハ人情ノ常ナルヲ以テ之ヲ恕セサルヘカラス故ニ故
 ナクシテ入ルト雖モ危險ノ存セサル場合ニハ本條ヲ適用スヘキニア
 ラス假令其理由ヲ辯疏セサルモ毫モ危險ノ存セサルトキハ本條ヲ適
 用スルノ限リニ在ラス立法者ノ意思モ亦蓋シ此ニ在リテ存スルモノ
 ト思考ス

本條ニ所謂人ノ住居シタル邸宅トハ現ニ人ノ住居ニ供セラル、邸宅

ノ謂ヒナルヲ以テ偶々住居スルハ不在ナルトキト雖モ亦現ニ人ノ住居スルモノト看做サ、ルヘカラス又人ノ住居シタル邸宅ニハ船員ノ乗込ミタル船舶ヲモ包含スルハ勿論タルヘシ又人ノ看守スル建造物トハ一個人ノ所有ニアラサルモノ、意味ヲ包含シ學校、病院、博物館、圖書館等多少ノ圖書器具財物等ヲ藏シ看守人ヲ附シテ看守セシムル場所ヲ謂フ又一個人ノ所有ニ屬スルモノト雖モ倉庫納屋等ニシテ苟クモ看守人アルモノニ就テハ本條ヲ適用スヘキハ勿論タリ然レモ社寺ノ如キ何人ト雖モ參詣スルコトヲ許スモノニ就テハ看守人アルモ直チニ本條ヲ適用スルコトヲ得サルヘシ唯々通常參詣者ノ入ルヘカラスル場所即チ神社ノ奥殿又ハ寺院ノ便室ニ入りタルトキノ如キハ本條ヲ適用シテ可ナリト信ス之ヲ要スルニ本條ノ精神ハ危險ヲ豫防スルニ在ルヲ以テ殺人盜財幼者略取又ハ姦通等ノ意思アリテ侵入シタ

ルモノト認ムル場合ニ於テ之ヲ適用スルニ過キス
 當該官吏ハ犯罪檢證犯人搜索ノ爲メ住居スル邸宅又ハ人ノ看守スル建造物ニ入ルコトヲ得ルト雖モ刑事訴訟法第七十八條第七十九條及ヒ第四百條ノ規定ニ從ハサルヘカラス若シ此規定ニ從ハス恣マニ人ノ住居スル邸宅又ハ人ノ看守スル建造物ニ入りタルトキハ本條ヲ適用スヘキ乎其官吏ニシテ果シテ職務ヲ行フカ爲メナルコト明瞭ナルトキハ假令刑事訴訟法ノ手續ヲ履行セサルモ本條ヲ適用スルコトヲ得ス唯々官吏懲戒例ニ照シテ處分スルニ過キサルヘシ是レ他ナシ犯罪ノ意思ナキモノハ之ヲ罰スルコトヲ得サレハナリ
 第二項ノ場合ハ人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ侵入スルニ門戶牆壁ヲ踰越若クハ損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キ又ハ兇器ヲ携帶シ又ハ暴行ヲ爲シ又ハ二人以上ノ共謀ニ出ル場合ニシテ是等ノ所

爲ハ單純ニ侵入スルモノニ比スレハ其罪狀一層重キヲ以テ其刑モ亦一等重クシム而シテ門戶牆壁トハ家宅ノ上下四方ヲ限界スル人工若クハ天然ノ防圍ヲ云ヒ踰越トハ防圍ノ下邊若クハ虛隙等ヨリ潛入スルモノヲモ包含シ又鎖鑰ヲ開クトハ僞鑰ヲ用ヒ其他ノ手段ヲ以テ人ノ閉鎖シタル場所ヲ開クヲ云ヒ兇器其他犯罪ノ用ニ供スヘキ物品トハ性質上ノ兇器ト用方上ノ兇器トノ謂ヒニシテ性質上ノ兇器ハ銃、劔刀槍、其他ノ兵器ヲ云ヒ用方上ノ兇器トハ菜刀、棍棒、其他用方ニ因リ人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物具及ヒ人ヲ威嚇スルニ足ルヘキ爆發物及ヒ燃燒物等ヲ云フ而シテ性質上ノ兇器ニ就テハ證明ヲ要セサルモ用方上ノ兇器ニ就テハ検査官之ヲ證明セサルヘカラサルモノトス

第七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所爲アル時ハ一等ヲ加フ前條及ヒ本條ニ規定シタル家宅侵入罪ハ晝間ニ在リテハ犯スニ難クシテ防クニ易シト雖モ夜間ハ之ニ反シ人ノ安息ヲ要スル時間ナルヲ以テ犯スニ易クシテ防クニ難シ且ツ夜間ニ侵入スル者ハ概シテ他罪ヲ犯スノ意思アルモノト推測セサルヘカラス是レ夜間侵入ノ所爲ヲ罰スルニ一等加重スル所以ナリ

第七十三條 故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵内ニ入りタル者ハ前二條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ

本條ハ皇室ノ尊嚴ヲ保護スルカ爲メ特ニ設ケタル規定ニシテ其普通ノ人家ニ侵入シタル者ノ刑ヨリ一等加重スルモノハ即チ皇室ノ尊嚴ヲ保護スルニ外ナラス

(改正草案)家宅侵入罪ノ性質ニ就テハ第一編ニ於テ既ニ講述シタル

所アルヲ以テ讀者ハ解了セザレタルヘシト雖モ此罪ヲ以テ靜謐ヲ害スル罪ニ屬セシムルハ蓋シ其當ヲ得タルモノト云フヲ得ス何トナレハ家宅侵入ハ一個人ニ對スル罪ニシテ公衆一般ノ利害ニ關係スルモノニアラサレハナリ故ニ改正草案者ハ此罪ヲ第二編ヨリ削除シテ更ニ之ヲ第三編第五章ニ規定セリ犯罪ノ性質ヨリ論スルトキハ之ヲ第三編中ニ掲ルハ蓋シ其當ヲ得タルモノト思考ス

改正草案者ハ家宅侵入罪ノ編次順序ヲ變更スルト共ニ修正ヲ加ヘント欲シテ曰ク「現行法ハ單ニ人ノ家宅ニ侵入シタルノミノ所爲ヲ罰スト雖モ犯人潜伏スルトキ又ハ家人若クハ看守人ノ不在ニ際シテ侵入シタルトキヲ除クノ外單ニ侵入シタルノミノ所爲ヲ罪トシ論スルハ稍ヤ嚴ニ過ルノ嫌ヒアリ何トナレハ單ニ侵入シタルニ止ルモノハ未ダ何等ノ危害ヲモ生セサレハナリ故ニ家宅侵入罪ニ就

テハ家人ノ制止ヲ受クルモ退去セサルヲ以テ必要條件ト爲サ、ルヘカラス」ト此說亦理アリ單ニ侵入スルモノニ就テハ窮困ニ迫テ救恤ヲ乞ヒ又ハ錯誤ニ出ル場合等モ往々之レアルヘキヲ以テ單ニ侵入シタルモノニ就テハ制止ヲ受ケテ退去セサルヲ以テ必要條件ト爲スハ至當ノ修正ナリト信ス

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

法律規則ノ實施又ハ結果ニ因リ官署ニ於テ不動産又ハ動産ニ對シ特別ノ封印ヲ施スヲ要スル場合アリ此封印ハ危害ノ防止ニ出ルト權利ノ保護ニ係ルトナ問ハス之ヲ破棄スル者ハ罪トシテ之ヲ罰セサルヘカラス何トナレハ封印ハ破棄シ易キヲ以テ若シ之ヲ罰セサルトキハ唯マニ官ノ威嚴ヲ毀損スルノミナラス法律規則ノ効力ヲ依全スルコトヲ得サレハナリ是レ本節ノ規定ヲ設テタル所以ナリ

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

本條ハ官署ノ處分ニ因リテ施シタル封印ヲ破棄シタル所爲ヲ罰スル規定ニシテ官署ノ威嚴ト保護ノ効力トヲ保全スルノ旨趣ニ出ルニ外ナラス而シテ官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印トハ收稅吏カ脫稅ノ嫌疑アルカ爲メ造酒器具ニ封印ヲ施シ又ハ執達吏カ差押ヘタル不動産又ハ動産ニ施シタル封印又ハ豫審判事ノ命令ニ因リ警察官吏若クハ裁判所書記カ犯罪ノ用ニ供シ若クハ犯罪ニ因テ得タルモノト認ムル物件ニ施シタル封印又ハ相續上ノ爭訟ニ係ル物件ニ施シタル封印又ハ市町村吏カ其保管ニ係ル物件ニ施シタル封印等ノ謂ヒタルニ外ナラス是等ノ封印ハ之ヲ破棄セントセハ

容易ニ破棄シ得ヘキヲ以テ其危險ヲ豫防セサルヘカラス是レ本條ノ規定アル所以ナリ

此特別ト云ヘル文字ヨリ解釋スルトキハ官署ノ處分ニ因リテ施ス封印ニハ特別ナルモノト特別ナラサルモノトノ區別アリテ其破棄ヲ罰スルハ特別ナルモノニ止マリ其他ハ問ハスト云フカ如キノ意味タルカ如シ然レモ官吏公吏ノ法律ニ從ヒテ施シタルノ謂ヒタルニ過キヌシテ官署カ秘密ヲ要スルカ爲メニ自ラ其文庫又ハ箆笥等ニ施シタル封印又ハ人民カ自ラ施シタル封印ノ如キハ之ヲ包含セサルモノト思考ス何トナレハ右等ノ封印ハ法律ニ從テ施シタルモノニアラス之ヲ要スルニ自己ノ便宜ニ出ツルニ過キサレハナリ然ルニ單ニ官署ノ處分ニ因リ施シタル封印云々ト記載シタルトキハ法律ニ從ヒタルモノト否トノ區別ヲ問ハス等シク本條ヲ適用セサルヘカラサルノ不都合

が來シ易シ蓋シ是レ特別ノ二字ヲ挿入シ以テ法律ニ從ヒタルモノト
否トノ區別アルコトヲ明示シタル所以ナリ

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタ
ル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

本條ハ官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ數罪
俱發ヲ以テ論シ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷スヘシ
ト云フニ過キスシテ特ニ説明ヲ要スルノ點ナシ唯タ毀壞ノ場合ニ於
テ其刑却テ封印破棄罪ノ刑ヨリ輕キコトアリ此場合ニ於テハ毀壞ノ
爲アルニ拘ハラズ猶ホ前條ヲ以テ罰スヘキハ疑ヒテ容レサルヘシ

第七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜
取毀壞スル犯人アルコトヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス

本條ハ無意犯ニシテ懈怠ノ結果ヲ罰スルニ過キス若シ有意犯ナルト
キハ第七十四條第二項ニ問フヘキハ勿論ナリ

(改正草案)改正草案者ハ本節ノ規定ヲ官吏公吏ノ監視ニ係ル文書ヲ
竊取毀壞スル罪中ニ掲ケ現行法ニ「官署ノ處分ニ因リ特別ニ云々」ト
アルヲ修正シテ「官吏公吏ノ法律ニ從ヒ云々」トシ又本節ノ未遂犯ヲ
罰スル規定ヲ設ケントス現行法ニ「官署ノ處分ニ因リ特別云々」ト
ルハ其意味明瞭ナラスシテ往々疑義ヲ生シ易シ故ニ之ヲ修正スル
ハ可ナリト雖モ本節ノ未遂犯ヲ罰スルハ其可ナルヲ知ラス何トナ
レハ封印破棄罪ニ關スル未遂犯ハ果シテ犯罪ノ意思アルヤ將タ過
失ニ出ルヤ之ヲ判知シ難キノミナラス毫モ實害ヲ加ヘタル所爲ニ
アラサレハ之ヲ罰スルハ酷ニ失スルノ嫌ヒナキニアラス故ニ其未
遂犯ハ之ヲ恕シテ可ナリト思考ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

本節ノ罪ハ所謂不行犯ニシテ官吏公吏ト通常人トヲ問ハス法律ノ規定又ハ命令ニ從ヒ當サニ行フヘキ公務ヲ拒ンテ行ハサズ所爲ヲ罪トシ論スルナリ公務ヲ行フヲ拒ムト云フハ他ヨリ公務ヲ行フ者ニ對シテ之ヲ行ハシメサルノ所爲タルカ如シト雖モ決シテ然ラス行務ノ責任アル者自ラ拒ンテ之ヲ行ハサルノ謂ヒナリ此所爲ハ當タニ社會ノ秩序安寧ヲ妨害スルノ結果ヲ來スノミナラス時トシテハ人ノ權利ヲ鳥有ニ歸セシムルノ害アルヲ以テ其制裁ナカルヘカラス是レ本節ノ設定アル所以ナリ

第七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ニ應セサルノ所爲ヲ罰スルノ規定ニシテ此所爲ハ國事犯又ハ暴動等ノ場合ニ際シ爲メニ國安ヲ妨害セシムルニ至ルヘクシテ本節中最モ重大ナルモノナリ故ニ保安上必要トシテ之ヲ罰セサルヘカラスハ論ヲ俟ヌスト雖モ若シ陸海軍ノ將校タル者故ナクシテ出兵ヲ拒ミタルノ所爲ニシテ内亂犯人ト通謀シタルニ出ルトキハ其共犯ヲ以テ論スヘキノミ特ニ本條ノ規定ヲ設ルノ必要ナシ蓋シ本條ハ内亂犯人ト通謀セサル場合ヲ想像シタルニ在ルヘシト雖モ陸海軍ノ將校タル者カ其職務ニ關シテ罪ヲ犯シタルノ所爲ハ普通刑法ヲ以テ處分スヘキモノニアラム即チ陸海軍刑法ノ存スルアリ依テ以テ之ヲ罰スヘシ今日ハ本條ヲ存スト雖モ實際之ヲ適用スヘキノ場合ナク實ニ蛇足タルヲ免レス故ニ改正草案者ハ斷然之ヲ削除セントス

予モ之ヲ削除シテ可ナリト信ス

第七十八條 陸海軍ノ徴兵ニ編入セラル可キ者身ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徴募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徴募ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ陸海軍ノ徴兵ニ編入セラルヘキ者カ詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖ルノ罪及ヒ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徴募ニ應セシメタル者併ニ其囑託ヲ受ケテ徴募ニ應シタル者ノ罪ヲ規定シタルニ在リ兵ハ護國上欠クヘカラサル要具ニシテ其徴募ニ應スル國民ノ重大義務ナリ故ニ詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖ル者ノ如キハ固ヨリ罰セサルヘ

カラスト雖モ今日ハ之ヲ徴兵令ニ規定シテ細大漏ス所ナシ元來徴兵事項ノ如キハ之ヲ特別法ニ讓ルヲ以テ至當トス故ニ本條モ亦前條ト同シク削除シテ可ナルモノト思考ス

第七十九條 醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

醫師化學家ハ官吏ニアラサルモ官署ノ命令ニ因リ解剖又ハ分析ヲ爲シ其他職業ニ因リ鑑定ヲ命セラレテ鑑定ヲ爲スヘキ場合アリ例ヘハ殺人罪ノ嫌疑ニ因リ醫師ノ解剖ヲ要シ金屬物偽造ノ場合ニ於テ化學者ノ分析ヲ要シ偽書偽印ノ場合ニ於テ古筆家又ハ彫刻師ノ鑑定ヲ要スルカ如キ是レナリ是等ノ事項ハ學證上最モ重要ナルヲ以テ官吏ニアラサル者ト雖モ之ヲ爲スノ義務ヲ負擔シ正當ノ理由ナクシテ之ヲ

拒ム者ハ之ヲ罰セサルヘカラス本條ハ即チ此義務ヲ行フコトヲ拒ミ
 ダル者ニ對スル制裁ヲ規定シタルニ外ナラス鑑定ニ就テハ民事訴訟
 法第三百二十八條及ヒ刑事訴訟法第三百三十六條ニ其規定アルヲ以テ
 特ニ本條ヲ設定スルノ必要ナキカ如シト雖モ本條ニ官署トアルヲ以
 テ視レハ單ニ司法官署ノ命令ニ違背シタル場合ノミナラス行政官署
 ヨリ命セラレタル場合ニ於テモ亦本條ヲ適用スヘキハ勿論ナリ且ツ
 化學者ヲシテ分析ヲ爲サシムル場合ノ如キハ鑑定中ニ包含スト雖モ
 民刑兩訴訟法ニ之ヲ罰スルノ明文ナシ故ニ本條ノ規定ハ一般鑑定ノ
 陳述ヲ肯ンセサルノ所爲ヲ罰スルノ原則トシテ之ヲ掲ケタルニ過キ
 ス

第一百八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルコトヲ命セラ
 レタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ亦前條ニ同シ

人證ニ就テハ民事訴訟法第二百九十四條第三百二條及ヒ刑事訴訟法
 第一百十八條ノ規定アリ故ニ證人呼出ニ應セサルトキハ民事訴訟法及
 ヒ刑事訴訟法ノ規定ニ從テ處分スヘキハ勿論タリト雖モ出廷シテ證
 言ヲ陳述セサル者ニ對スル制裁ハ之ヲ刑法ニ規定セサルヘカラス是
 レ本條ノ設定アル所以ナリ
 前條及ヒ本條ノ所爲ハ同ク是レ重大ノ義務ニ關シ其陳述ヲ爲スト否
 トニ因リ罪ノ有無ヲ定ムル場合アルヲ以テ證人ニシテ其陳述ニ肯ン
 セサルノ所爲ハ之ヲ罰セサルヘカラス然レモ本條ノ罪モ亦前條ト同
 一ノ刑ニ處スルハ恐ラク權衡ヲ失スルノ嫌ヒナシトスヘキ乎予ヲ以
 テ視レハ本條ノ罪ハ前條ノ罪ニ比スレハ一層重シトスルノ看ナキニ
 アラス何トナレハ鑑定人ハ甲肯ンセサルキハ乙ヲシテ之ヲ爲サシム
 ルモ可ナリ證人ハ然ラス其證言ハ指名人ニ限ルヘクシテ乙ヲシテ甲

ニ代ハラシムルコトヲ得サレハナリ然レモ民刑訴訟法ノ規定ニ依レ
 ハ證人ヲ命セラレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セサルトキハ
 勾引狀ヲ發スルコトヲ得ルモ鑑定人ニ對シテハ勾引狀ヲ發スルコト
 ヲ得ス是レ鑑定人ト證人トノ差アル所ニシテ既ニ呼出ニ應シテ出廷
 シタル以上ハ其陳述ヲ肯ンセサルニ因テ裁判上ニ不利ヲ與フルノ度
 ハ彼是軒輕スル所アラサルヘシ蓋シ是レ本條ノ罪ト前條ノ罪トハ同
 一ノ刑ニ處スル所以ナル乎

第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スル
 ニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルコトヲ命
 セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下
 ノ罰金ニ處ス

獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

醫師ハ技術ノ性質上ニ於テ治療ヲ乞フ者ノ爲メニ其業務ヲ行フノ責
 務アルノミナラス公衆ノ病患ヲ豫防スル衛生上ノ責務ヲモ負フ者ナ
 リ若シ醫師ニシテ此責務ヲ行フコトヲ肯ンセサルモ可ナリトセハ惡
 疫流行ニ際シテ言フヘカラサル災害ヲ社會ニ加フルニ至ルヘシ然レ
 モ其加害ノ點ニ至テ人類ト獸類トハ同視スヘキニアラス是レ獸醫ノ
 公務不行ヲ罰スルニ一等ヲ輕減スル所以ナリ

(改正草案)改正草案者ハ現行法第百七十七條第百七十八條及ヒ第百
 八十一條ヲ削除シ第二編第六章ニ裁判事務ヲ妨害スル罪ヲ規定シ
 其第一節公務ヲ行フヲ拒ム罪ニ現行法第百七十九條及ヒ第百八十
 條ノ二條ヲ存シテ之ヲ掲ケラレタリ其説明ニ據レハ現行法第百七
 十七條及ヒ第百七十八條ハ陸海軍々人ニ關スル罪ナルヲ以テ普通
 刑法ノ以テ處分スヘキニアラス宜ク陸海軍刑法ニ依ルヘキモノト

ス故ニ之ヲ削除スヘシ又第百八十一條ハ專ラ衛生上ニ關スル罪ニシテ是等ノ所爲ハ特別法タル規則違犯タルニ過キス故ニ又之ヲ刑法ニ存セシムルノ必要ナシト該三條ハ實ニ之ヲ存セシムルノ必要ナシ今日之ヲ削除スルハ寧ロ法律ノ錯雜ヲ避ルニ於テ益アリトス又現行法第百七十九條ニハ醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ云々トアルヲ以テ何レノ官署ヨリ命セラル、モ肯ンセサルヲ得サルカ如シ蓋シ鑑定ハ裁判上ニ要スルモノニシテ其他ハ必シモ之ヲ要スルニアラス然ルニ唯タ官署ノ命ニ從ハスト云フヲ以テ之ヲ罰スルハ時トシテ酷ニ失スルノ嫌ヒヲ免レサルノミナラス其範圍漠然トシテ限界ナキハ成文其宜キヲ得タルモノト云フヲ得ス故ニ改正草案者ハ「官署ヨリ」トアルヲ修正シテ「裁判所ヨリ」ト改メラレントス亦是レ至當ノ修正タリ斯ノ如ク修正セハ其範圍ハ劃然トシテ復タ

疑義ヲ招クノ憂ヒナカルヘシト信ス

第四章 信用ヲ害スル罪

本章題シテ單ニ信用ヲ害スル罪ト云フ其所謂信用トハ一私人ノ信用ヲ指ス乎將タ社會一般ノ信用ヲ指ス乎聊カ疑ヒナキニアラスト雖モ本章ニ包含スル數種ノ罪ハ皆社會一般ノ信用ヲ害スルモノニアラサルハナシ即チ貨幣偽造罪ト云ヒ官印偽造罪ト云ヒ官文書偽造罪ト云ヒ私印私書偽造ト云ヒ其他皆公ノ信用ヲ害スルモノニ屬セリ本章ニ所謂信用トハ一私人ノ信用ノ謂ヒニアラスシテ社會一般ノ信用ノ謂ヒタルハ明カナリ故ニ佛文草案ニハ「コンフィアンス」即チ公ノ信用ナル文字ヲ用ヰテ其一私人ノ信用ノ謂ヒタラサルコトヲ明示セリ現行法文成人ニ及ンテ公ノ一字ヲ削除セラレタリト雖モ其精神ハ依然トシテ存セシメタルモノト信ス

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

貨幣偽造罪ハ信用ヲ害スルコト最モ重大ナルモノナリ一タヒ偽造貨幣ノ世ニ出ルヤ止マニ之ヲ取受スル者ニ損害ヲ加フルノミナラス之カ爲メ世人ヲシテ真正ノ貨幣ニマテ疑念ヲ挾マシムルニ至リ一般ノ經濟上ニ影響ヲ及ホスノ恐レアリ故ニ貨幣偽造罪ヲ以テ信用ヲ害スル罪ノ第一ニ置カレタリト雖モ此罪ニ就テハ刑法學上其說甚々多ク隨テ種々ノ難問ヲ生スル場合アリ請フ先ツ之ヲ論セン

抑モ貨幣偽造罪トハ如何ナル性質ヲ有スル罪ナルヤ之ヲ公罪トシテ論スレハ公罪タルカ如ク之ヲ私罪トシテ論スレハ亦私罪タルカ如ク貨幣偽造ノ所爲タルヤ政府ノ特權ヲ以テ製造スル通用物ヲ偽造シ以テ人ヲ欺キ己レチ利セントスルニ在ルヲ以テ其情狀他罪ニ比スレハ甚々重ク隨テ其刑モ亦重カラシメサルヘカラスト雖モ純然タル公罪

ノ性質ヲ具備スルモノト云フヲ得ス何トナレハ貨幣偽造者ノ目的ハ因テ以テ不正ノ利ヲ得ント欲スルニ過キスシテ之ヲ換言スレハ偽造貨幣其物ヲシテ遍ク公衆ノ間ニ融通セシメントスルニアラス唯々之ヲ以テ他人ノ財物ヲ騙取セントスルニ外ナラサレハナリ由テ觀レハ貨幣偽造ノ所爲ハ一私人ノ財物ヲ騙取スルノ手段タルニ過キスシテ詐僞取財ノ方法タルモノ、如ク是レ貨幣偽造罪ハ私罪トシテ之ヲ論スレハ亦私罪タルカ如シト云フ所以ナリ

我刑法ハ貨幣偽造罪ヲ第二編ニ掲ケタルヲ以テ觀レハ我立法者ハ貨幣偽造罪ヲ私罪トセス純然タル公罪ト看做シタルハ明ニシテ其公罪ト爲スノ理由ニハ二箇ノ區別アリ即チ其一ハ君主又ハ政府ノ特權ヲ侵害スト云フヲ以テ公罪ト爲シ他ノ一ハ公衆ノ信用ヲ妨害スト云フヲ以テ公罪ト爲ス是レナリ二者同ク是レ公罪ト爲スノ理由メラシム

ルコトヲ得ヘシト雖モ孰レカ最モ罪ノ性質ニ適合スルヤハ法ヲ學フ者ノ宜ク研究スヘキ所ナリ

古昔羅馬ニ於テハ第一ノ理由ヲ採リ即チ貨幣偽造罪ヲ以テ君主ニ對スルノ罪トシテ之ヲ論セリ貨幣製造ノ權ハ君主ノ特有ニ屬セリ其貨幣ヲ偽造スルノ所爲ハ即チ君主ノ特權ヲ侵害スルモノナリ故ニ嚴刑ニ處セサルヘカラストシテ死刑ニ處セリ歐洲諸邦ハ概シテ刑法ノ模範ヲ羅馬法ニ採リタルヲ以テ貨幣偽造罪ヲ罰スルニハ苛酷ノ刑ヲ以テシ死刑ヲ以テセサルモノト雖モ其刑ハ無期刑ヨリ下ラシメス其理由トスルヲ所チ問ヘハ君權ヲ侵害シタリト云フチ是認セスト雖モ國權ヲ害スルノ所爲タリト云フチ以テ之ヲ嚴罰スルノ理由ダラシメタルカ如シ即チ貨幣製造ノ權ハ獨リ政府ニ屬セリ唯タ夫レ政府ノ特權ニ屬スルカ故ニ聲價ニ對スル實價ナキモノヲ以テ流通セシムルコト

ヲ得ヘキノミ然ルニ之ヲ偽造スルノ所爲ハ國權ヲ蔑如スト云フヨリハ國權ヲ奪略スト云フモ可ナリ故ニ貨幣偽造罪ハ國家ニ對スル罪ト之ヲ論セサルヘカラスト既ニ國家ニ對スル罪ト爲サンカ社會ハ其秩序シテ安寧ヲ保維スルカ爲メ之ヲ嚴刑ニ處セサルヘカラスト是レ其公罪トシテ嚴刑ヲ科スルノ理由トスル所ナリ然レトモ此說ヤ其當ヲ得タルモノト云フヲ得ス元來貨幣ハ物價ノ代表物タルニ過キス故ニ其命價ト實價トヲシテ適合セシムルニトチ努メサルヘカラスト聲價ト實價ト適合セサルモノハ真正ノ貨幣ト云フヲ得ス我貨幣ノ如キハ一圓銀ノ量目七匁餘ニシテ其品位ハ銀九銅一ノ制ナリ即チ一圓ト云ヒルハ其命價ニシテ品位及ヒ量目ハ其實價ナリ此二者具備シテ相適合スルヲ以テ真正ノ貨幣トス是レ獨リ我貨幣ノミナラス歐洲今日ノ貨幣ハ皆命價ト實價トヲ適合セシメサルハナシ然ルニ往昔ノ貨幣ハ粗惡

ニシテ聲價ト實價トノ適合ヲ得ス即チ物價ノ代表物タルノ價值ナキモノヲシテ政府ノ特權ニ因リ強ヘテ之ヲ通用セシメタルモノナリ故ニ當時ハ容易ニ貨幣ヲ偽造シ得ヘキヲ以テ國家ニ對スル罪トシ之ヲ嚴刑ニ處スルノ必要アリタルヘシト雖モ是レ正理ニ悖戾スルモノト云ハサルヲ得ス況ンヤ貨幣ハ其聲價ト實價ト適合スルモノニアラサレハ真正ノ貨幣ト看做サ、ル今日ニ於テオヤ又弊害豫防ヲ以テ貨幣偽造罪ニ嚴刑ヲ科スルノ一理由ト爲スノ說アリ其說ニ曰ク「學術ノ進歩スルニ從ヒ百般ノ工藝其精巧ヲ致スヲ以テ貨幣製造法ノ如キハ其偽造ヲ防クカ爲メ極メテ精密ナラシムト雖モ尙且ツ偽造罪ヲ犯シ易シ故ニ嚴刑ヲ科シテ未來ノ弊害ヲ豫防セサルヘカラス」ト然レモ刑法ノ本旨ハ實害ヲ爲ス者ヲ罰シテ之ヲ懲スニ在ルヲ以テ未來ノ弊害ヲ豫防スルカ爲メ嚴刑ヲ科スヘシト云フカ如キハ亦是レ法理ニ悖戾ス

ルモノト云ハサルヘカラス

貨幣偽造罪ヲ以テ公罪ト爲スノ第二ノ理由ハ即チ公衆ノ信用ヲ妨害スルニ基因セリ貨幣製造ノ權ハ一ニ政府ニ屬スルヲ以テ之ヲ偽造スルノ所爲ハ政府ノ特權ヲ侵害スルノ責メヲ免レスト雖モ其目的ハ以テ不正ノ利ヲ騙取スルノ一方法タルニ過キササルハ亦猶ホ詐僞取財ノ方法トシテ官印ヲ偽造スルノ類ナルニ異ナラス故ニ其性質上ヨリ之ヲ論スルトキハ國家ニ對スル罪トシテ之ヲ論スルハ固ヨリ非ナルノミナラス一種ノ私罪トシテ之ヲ論スルヲ至當トスヘシ然レモ其實害ノ及ホス所如何ヲ問ヘハ私罪トシテ論スルコトヲ得ス即チ偽造貨幣ノ出ルヤ其流通ハ迅速ニシテ忽チ公衆ノ信用ヲ害スルノミナラス之カ爲メ一般ノ經濟ト商業トニ至大ノ影響ヲ及ホシ真正ノ貨幣ニモ亦疑念ヲ挾ミ容易ニ受授セサルヲ以テ物品交換ノ途ヲ妨碍シ社會ノ公

益ヲ害スルヤ大ナリト云ハサルヘカラス斯ノ如ク罪ノ性質ハ私罪ニ
屬スト雖モ社會ノ公益ヲ害シ易キノ性質ヲモ有スル以上ハ情狀最モ
重キモノニ就テ其罪性ヲ定メサルヘカラス蓋シ是レ歐洲諸邦ノ現行
刑法ニ於テ貨幣偽造罪ヲ以テ公罪中ニ編入スルニ至レル所以ナリ我
立法者モ亦蓋シ前述ノ弊害ヲ以テ公罪ト爲スノ理由トシ之ヲ信用ヲ
害スル罪ノ一トシテ之ヲ第二編ニ掲ケタルモノト信ス

各國ノ刑法古昔ハ貨幣偽造罪ヲ死刑ニ處シタルハ既ニ略說シタルカ
如ク羅馬法ノ波及ニ係ルヲ以テ中古以降ハ其罪ノ性質信用ヲ害スル
罪ヲ屬スルノ理ヲ覺知スルト同時ニ其刑ノ苛酷ニ過クルヲ認知シ漸
次之ヲ輕減シ復タ之ヲ死刑ニ處スルノ邦國ナシト雖モ猶ホ其既遂ヲ
罰スルニ無期刑ヲ以テスルハ各國一轍ニ出ルカ如シ然レモ或ル論者
ハ貨幣偽造罪ヲ以テ一種ノ私罪ト看做スノミナラス此罪ハ竊盜罪ヨ

リ輕シト爲シ其刑モ亦一等輕減セサルヘカラス之ヲ罰スルニ重罪ノ
刑ヲ以テスルハ酷ニ過クルト主張シタル者アリ蓋シ論者ノ意ハ偽造
貨幣ハ公益ヲ害スト云フト雖モ偽造者ハ其果シテ何人ニ加害シタル
ヲ知ラス若シ其貨幣ハ真正ノ貨幣ト品位及ヒ量目ヲ同フスルトキハ
圓滑ニ流通シ毫モ實害ヲ加ヘサルヤモ亦未ダ知ルヘカラス故ニ其刑
ヲハ多少ノ實害ヲ加ヘタル竊盜罪ヨリ輕減セシメテ可ナリトスルニ
外ナラス此說一理アルカ如シト雖モ其人ヲ欺キタルノ責ハ免レス假
令真正ノ貨幣トシ其受授ニ疑ヒテ生セシメサルモ其真正ノ貨幣ト認
メシメタルモノハ即チ欺騙ノ結果ニ屬スト云ハサルヘカラス故ニ其
罪ハ竊盜罪ト同視スヘカラスナルノミナラス其刑モ亦重カラシメサル
ヘカラサルノ理由アリ例ヘハ數箇ノ貨幣ヲ偽造シタルニ過キサシモ
ノハ其害少ナリト雖モ數千百萬ノ貨幣ヲ偽造シテ之ヲ行使シタルト

キハ如何其害大ナリト云ハサルヘカラス貨幣偽造ハ實ニ此大危険ヲ存スルヲ以テ其刑ハ重カラシメサルヘカラス然ラサレハ往々ニシテ大害ヲ爲スニ至ルハ實例ヲ待テ後ヲ知ラサヨナリ是レ各國此罪ヲ罰スルニ嚴刑ヲ以テスル所以ナリ然レモ實際上ヨリ之ヲ觀レハ數千百萬ノ貨幣ヲ偽造シ悉ク之ヲ行使シ盡スカ如キハ希有ナルヘキヲ以テ其刑ハ實害ト權衡ヲ得セシムルノ程度ニ於テ之ヲ定メ且ツ情狀如何ニ因テ其刑ニ輕重アラシムルハ立法者ノ當サニ勗ムヘキ所ナルヘシト思考ス

我刑法ハ此罪ヲ罰スルニ先ツ五箇ノ區別ヲ爲セリ第一貨幣ノ性質ヲ區別ス(金銀貨及ヒ紙幣ト銅貨トヲ區別ス)第二貨幣ノ通用ニ就キ法律上ノ通用ト任意上ノ通用トヲ區別ス、第三偽造ト變造トヲ區別ス、第四偽造變造ト行使トヲ區別ス、第五偽造變造ノ貨幣輸入、外國通用ノ貨幣

偽造變造及ヒ行使其他職工雇人等ニ就テモ亦之ヲ區別セリ是レ實害ト刑トノ權衡ヲ得セシムルノ精神ニ出ルコト明カニシテ其當ヲ得タルモノト信ス

第八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

本條第一項ノ偽造罪ヲ構成スルニ左ノ四箇ノ元素ノ具備セサルヘスラス

- 第一 犯意アルコト
- 第二 金銀貨若クハ紙幣ニシテ眞貨幣ニ摸擬シタルコト
- 第三 日本國內ニ法律上通用スヘキ金銀貨若クハ紙幣ヲ偽造シタルコト